

* 0031952001 *

0031952-001

47-149

国勢年鑑

勢グラフ」編集部・編

社

11至13年

1至13

AFA

列國々勢年鑑

國勢社發行
昭和十一年

47
149

列國勢年鑑

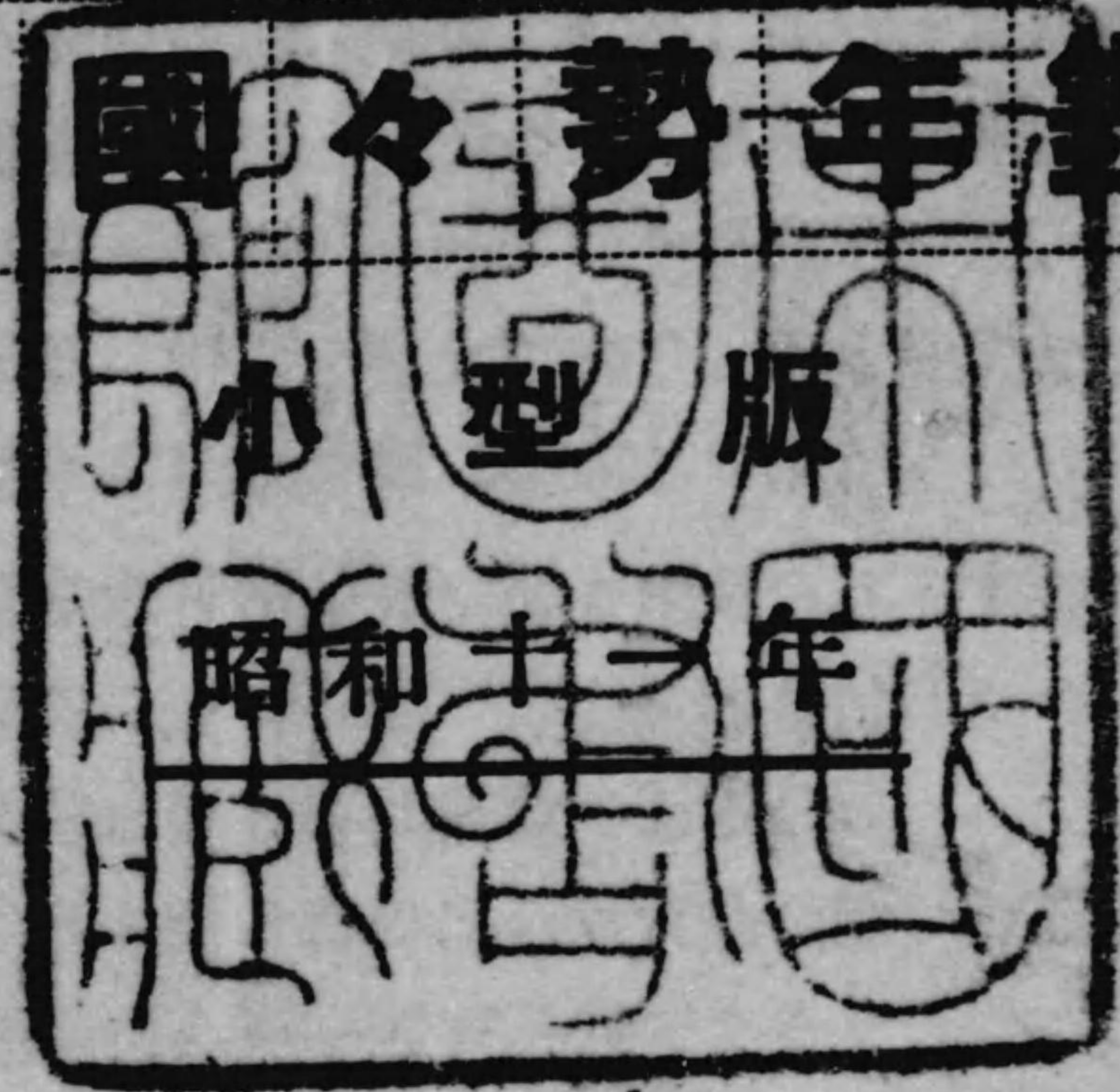
昭和十一年

東京・京橋

國勢社版

「國勢グラフ」編輯部

列國々勢年鑑



東京 東橋

國



版

647-149

(1)

は し が き

- 本年鑑は各國の政治、産業、貿易、通貨、軍事等に就き簡約要領よき記述と且つ最新の事例及數字を掲げたる點等を特徴とするが、既に回を重ねる四回、此間内容の改善刷新に絶えず努力を拂ひ、而も簡約なるがために往々落入る杜撰を常に警戒して來た。
- 人口は大體國際聯盟調査に據り尙足らざるものは信用ある他の資料によつて補つた。* 印を付けたのは國勢調査人口で他は推計亦は概數である。
- 貿易額に* 印を付けたのは金銀貿易を除いた商品貿易で、他は之を含んだ一般貿易額である。
- 資料は年一年と潤澤さを加へてゐる。今その主なものを示せば次の如くである。
The China Year-Book; The Statesmans Year-Book; The World Almanac; Statistical Year-Book of the League of Nations; Armament Year-Book
Annuaire International d'Agriculture; Recueil de statistique de L'Institut International du Commerce
海外經濟事情(外務省)、日本外國貿易年表(大藏省)、拓務要覽、滿洲帝國年報(國務院)、中國年鑑、南支及南洋事情、外交時報、國際知識。

昭和十一年

列國々勢年鑑

目次

統計圖

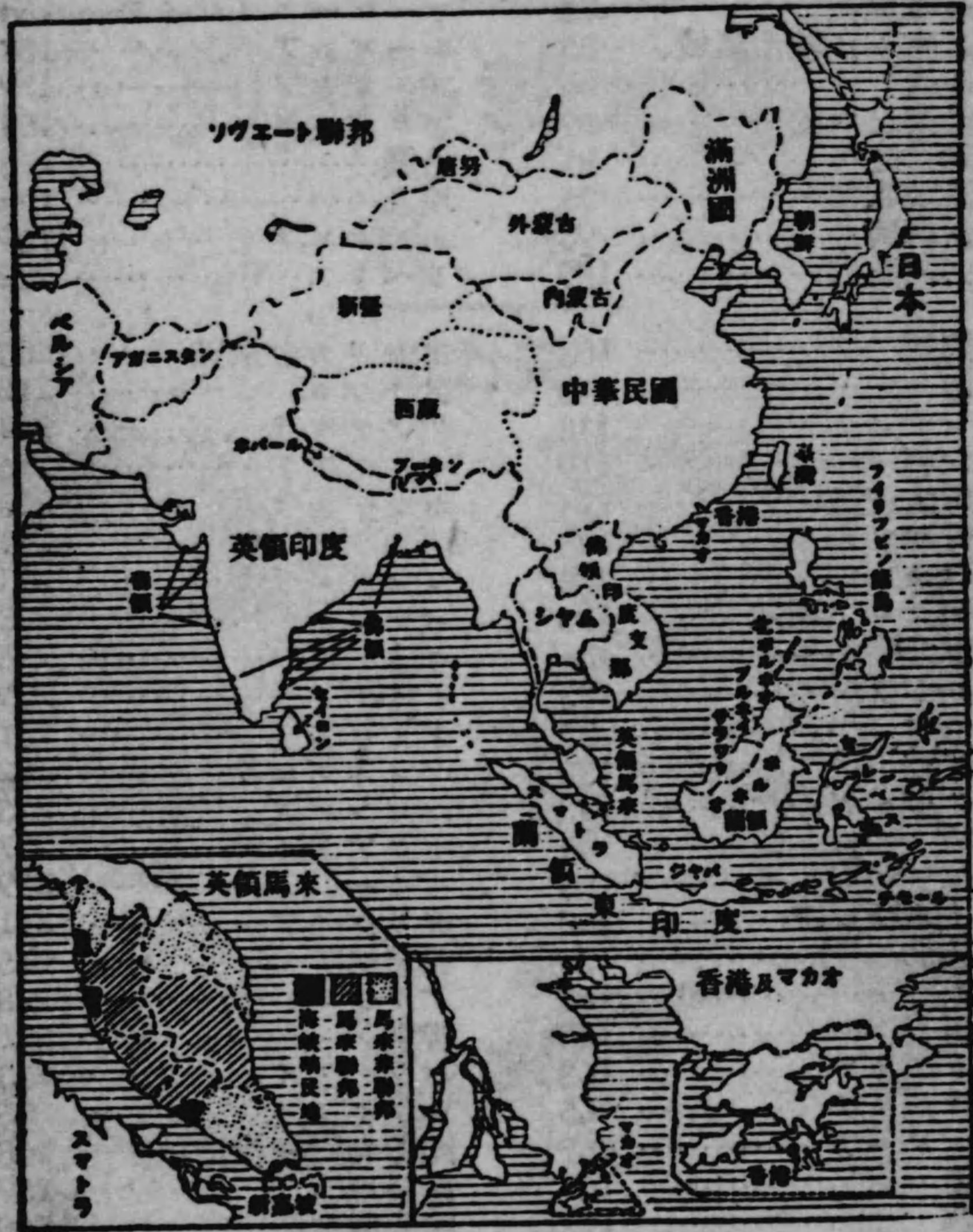
地圖(亞細亞洲)..... 4	列國の漁獲高.....16
地圖(歐羅巴洲)..... 5	世界鉄、鋼産額.....17
地圖(阿弗利加洲)..... 6	世界原油産額.....18
地圖(中北亞米利加洲)..... 7	列國の工産指數.....19
地圖(南亞米利加洲)..... 8	世界貿易割合.....20
地圖(大洋洲)..... 9	日、英、米海軍比較.....21
大陸の面積と人口.....10	列國の財政.....22
列國の人口密度.....11	列國の鐵道.....23
列國の海外移民.....12	世界商船噸數.....24
列國の土地利用.....13	列國のラヂオ聴取者.....25
世界棉花、羊毛産額.....14	經濟ブロック.....26
世界珈琲産額.....15	

記事

日本.....27	ネパール.....62
滿洲國.....45	アフガニスタン.....63
中華民國.....50	イラン(ペルシア).....64
シヤム.....58	イラーク.....26
比律賓.....60	トルコ.....67
ブータン.....62	アラビア諸國.....69

大英帝國.....70	洪牙利..... 179
英本國.....71	チエツコスロヴァキア 181
直轄屬領.....76	ユーゴスラヴィア... 184
直轄委任統治區域.....85	ルーマニア..... 187
印度.....86	ブルガリア..... 189
愛蘭自由國.....89	アルバニア..... 191
加奈陀.....91	希臘..... 193
濠洲聯邦.....95	埃及..... 196
新西蘭.....98	エチオピア..... 199
南阿聯邦..... 100	リベリア..... 202
佛蘭西..... 103	アメリカ合衆國..... 203
獨逸..... 113	メキシコ..... 212
ダンチヒ..... 118	グアテマラ..... 214
伊太利..... 119	サルヴァド..... 216
羅馬法王國..... 124	ホンヂュラス..... 218
サンマリノ..... 125	ニカラグア..... 219
モナコ..... 125	コスタ・リカ..... 221
ソヴェート聯邦..... 125	パナマ..... 223
西班牙..... 131	キューバ..... 226
アンドラ..... 135	ハイチ..... 229
葡萄牙..... 135	ドミニカ..... 231
白耳義..... 139	ヴェネズエラ..... 232
ルクセンブルグ..... 143	コロンビア..... 235
和蘭..... 144	エクアドル..... 237
丁抹..... 150	ペルー..... 239
アイスランド..... 153	ボリヴィア..... 241
瑞典..... 155	亞爾然丁..... 245
諾威..... 157	ブラジル..... 248
芬蘭..... 160	智利..... 251
ラトヴィア..... 163	パラグアイ..... 253
エストニア..... 165	ウルグアイ..... 256
リトニア..... 167	國際共同統治地域..... 258
波蘭..... 169	南極地方..... 259
瑞西..... 172	國際聯盟..... 260
リーヒテンシュタイン... 175	索引..... 265
奧地利..... 176	

亞細亞洲



歐羅巴洲

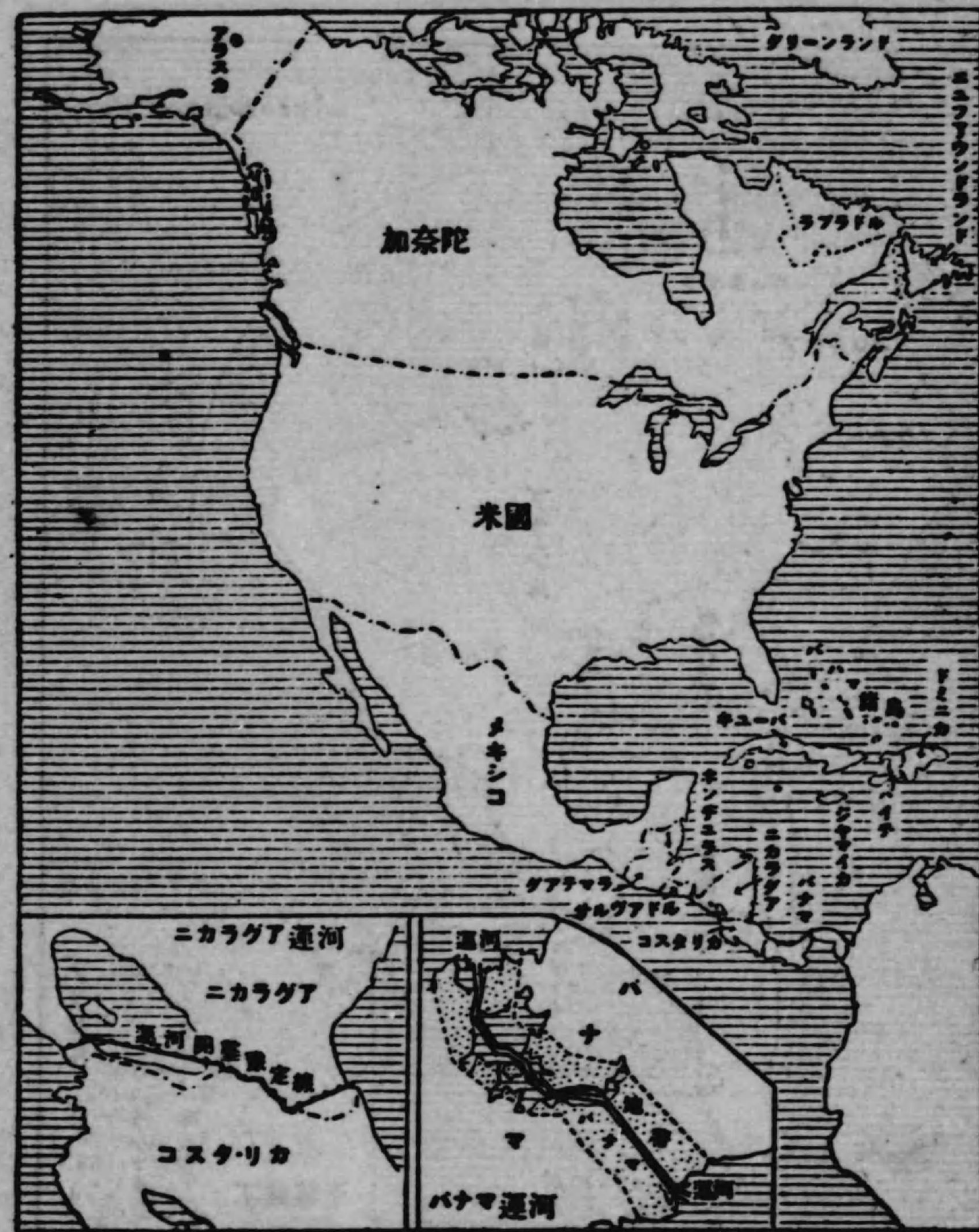


阿弗利加洲



- 1. ベチニアナランド
- 2. バストラランド
- 3. スワヂラランド

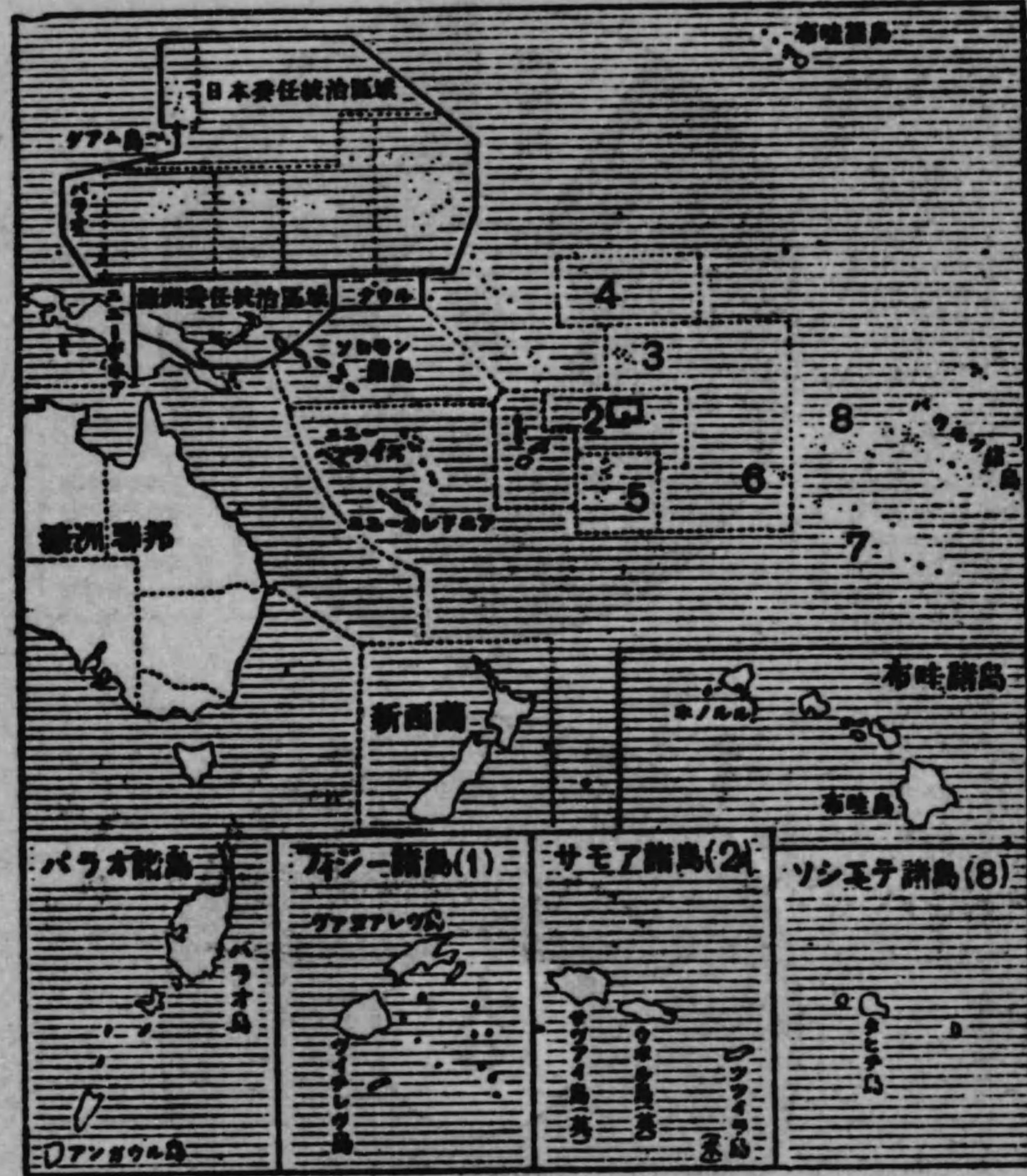
北亞米利加洲



南亞米利加洲

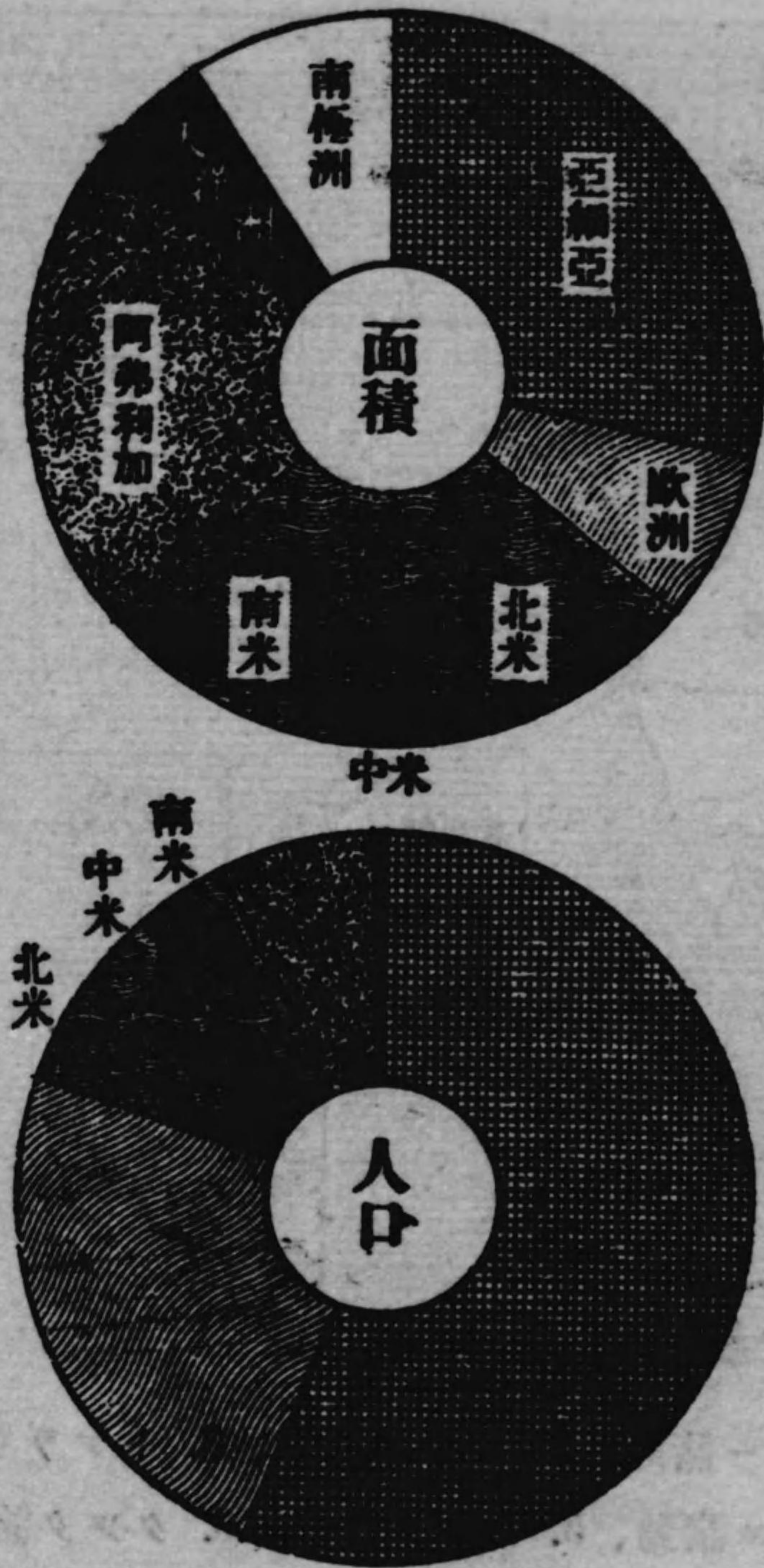


大洋洲



1. フィジー諸島、2. サモア諸島、3. トケラウ諸島、4. フェニクス諸島、5. トンガ諸島、6. クツク諸島、7. ツブアイ諸島、8. ソシエテ諸島

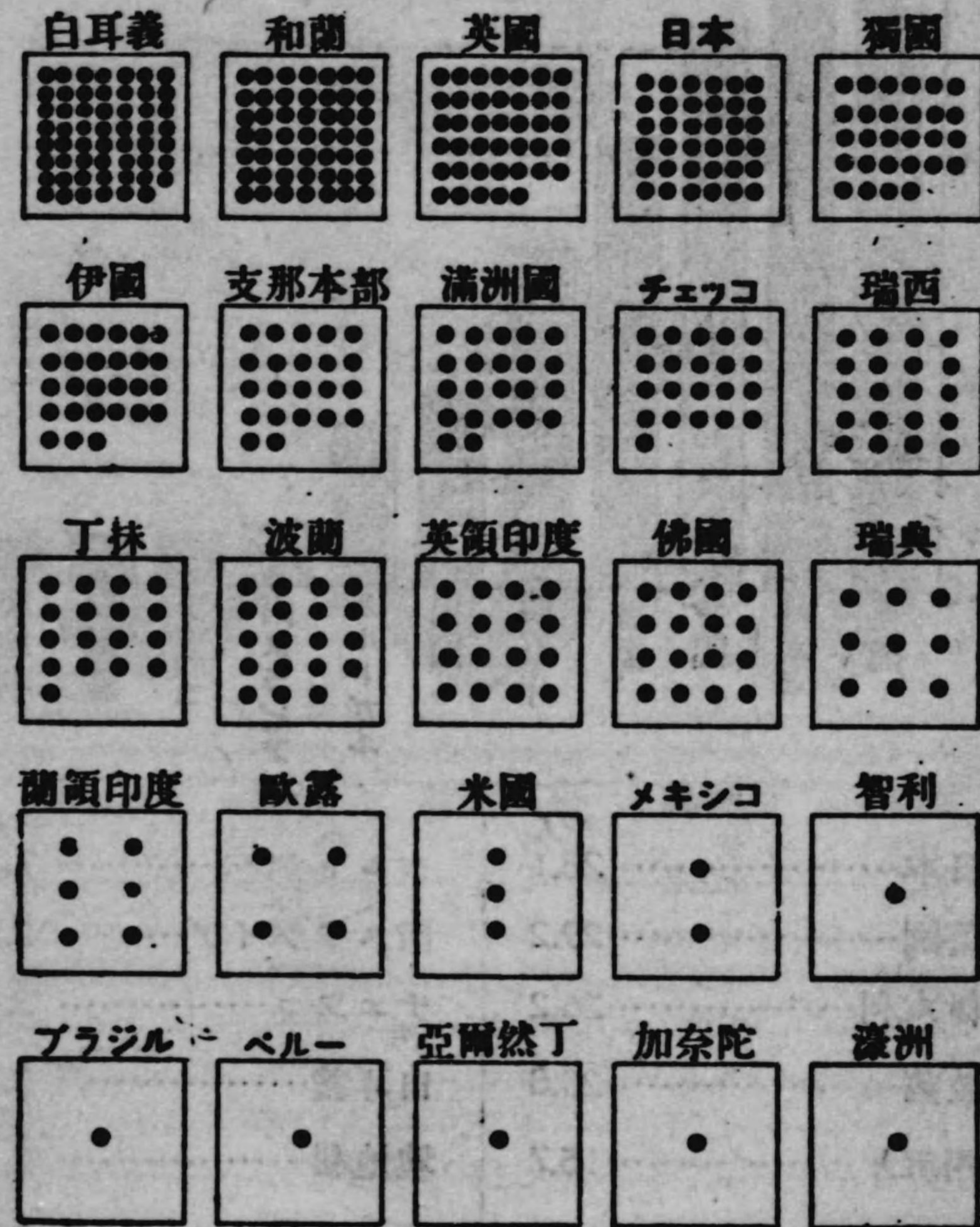
大陸の面積と人口



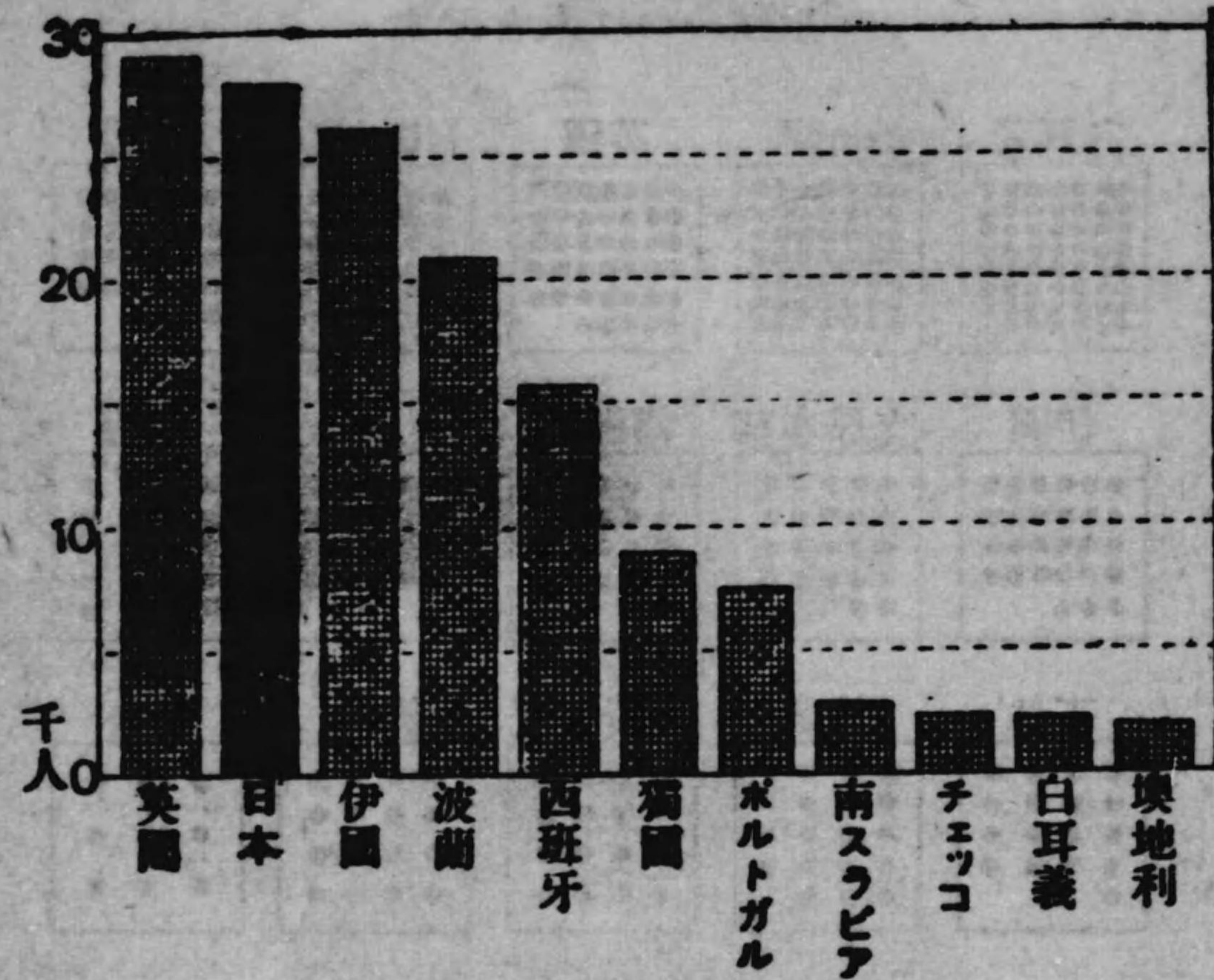
列國の人口密度

(昭和9年初)

黒點一つは人を示す

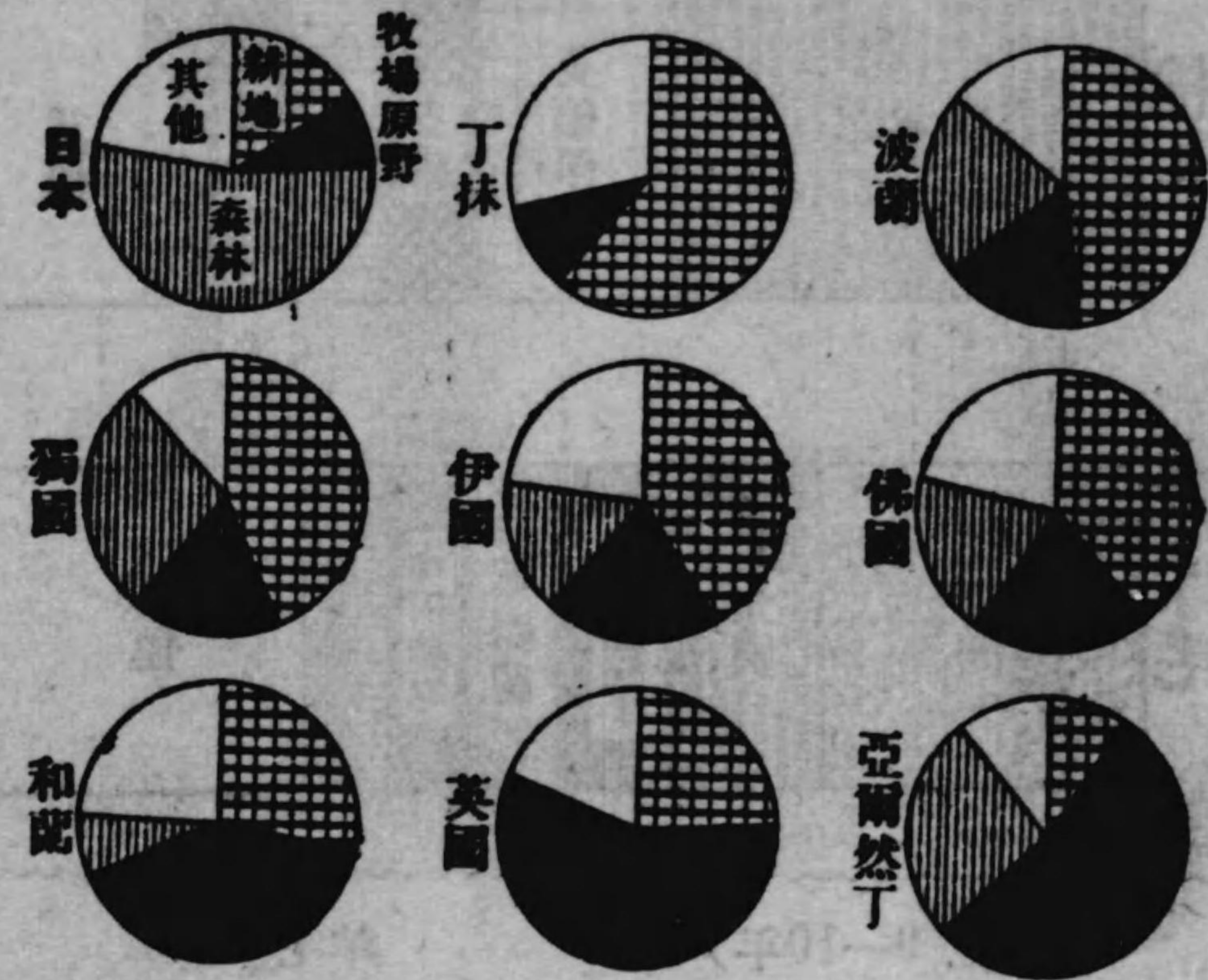


列國の海外移出民 (昭和9年)



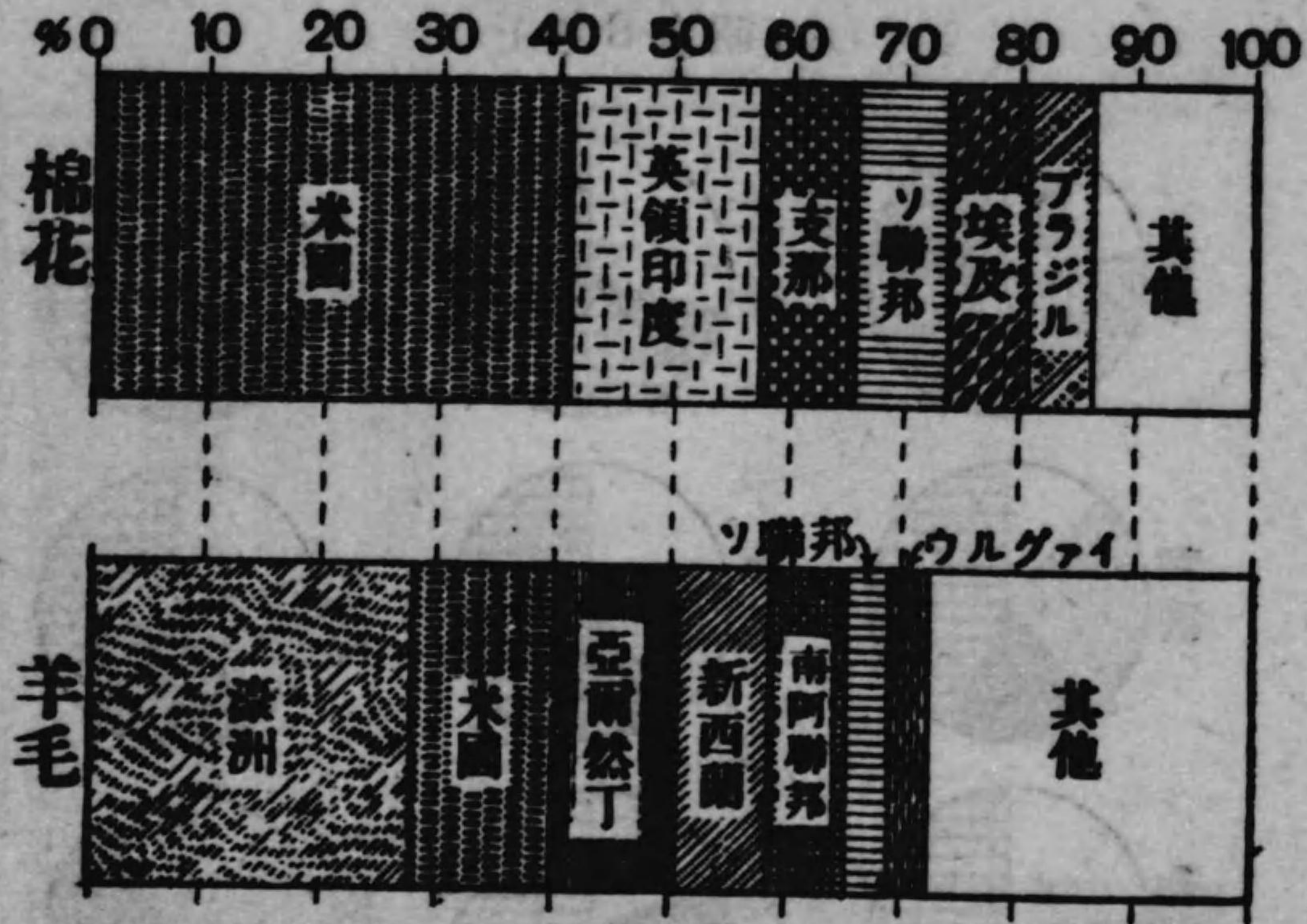
國名	千人	國名	千人
日本	28.1	ホルトガル	7.5
英國	29.2	南スラヴィア	2.9
伊太利	26.2	チェツコ	2.4
波蘭	20.8	白耳義	2.3
西班牙	15.7	埃地利	2.1
獨逸	13.9	リトワニア	1.5

列國の土地利用 (昭和8年)



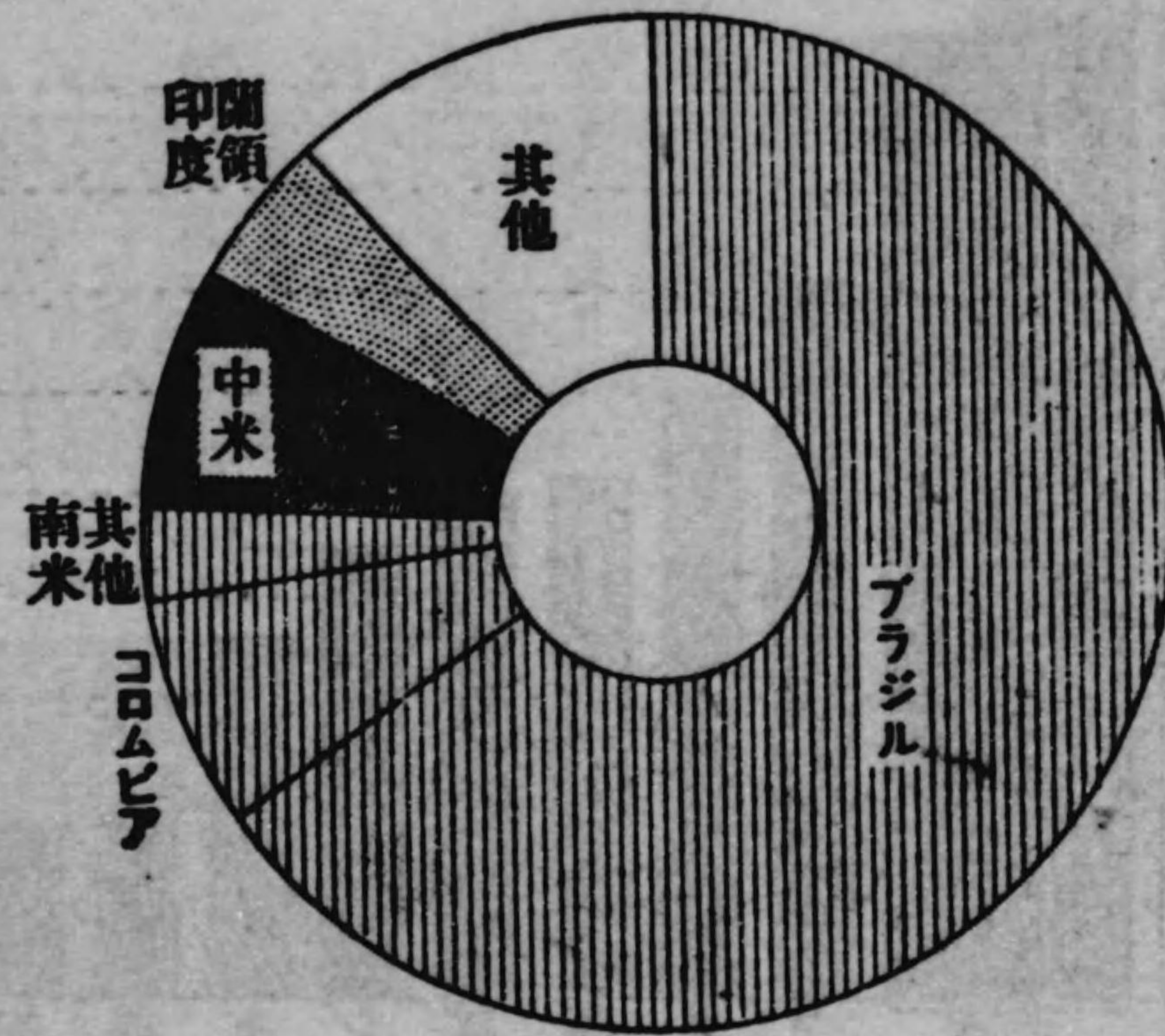
國名	耕地 %	牧場原野 %	森林 %	其他 %
日本	15.6	8.3	53.8	22.3
丁抹	61.2	10.2		28.6
波蘭	47.7	16.7	21.4	14.2
獨逸	43.7	17.4	27.3	11.6
伊太利	41.4	19.9	16.0	22.7
佛國	39.1	20.4	19.1	21.4
和蘭	27.8	40.3	7.4	24.5
英國	24.2	57.2		18.6
亞爾然丁	9.3	53.4	26.5	10.8

世界棉花及羊毛産額



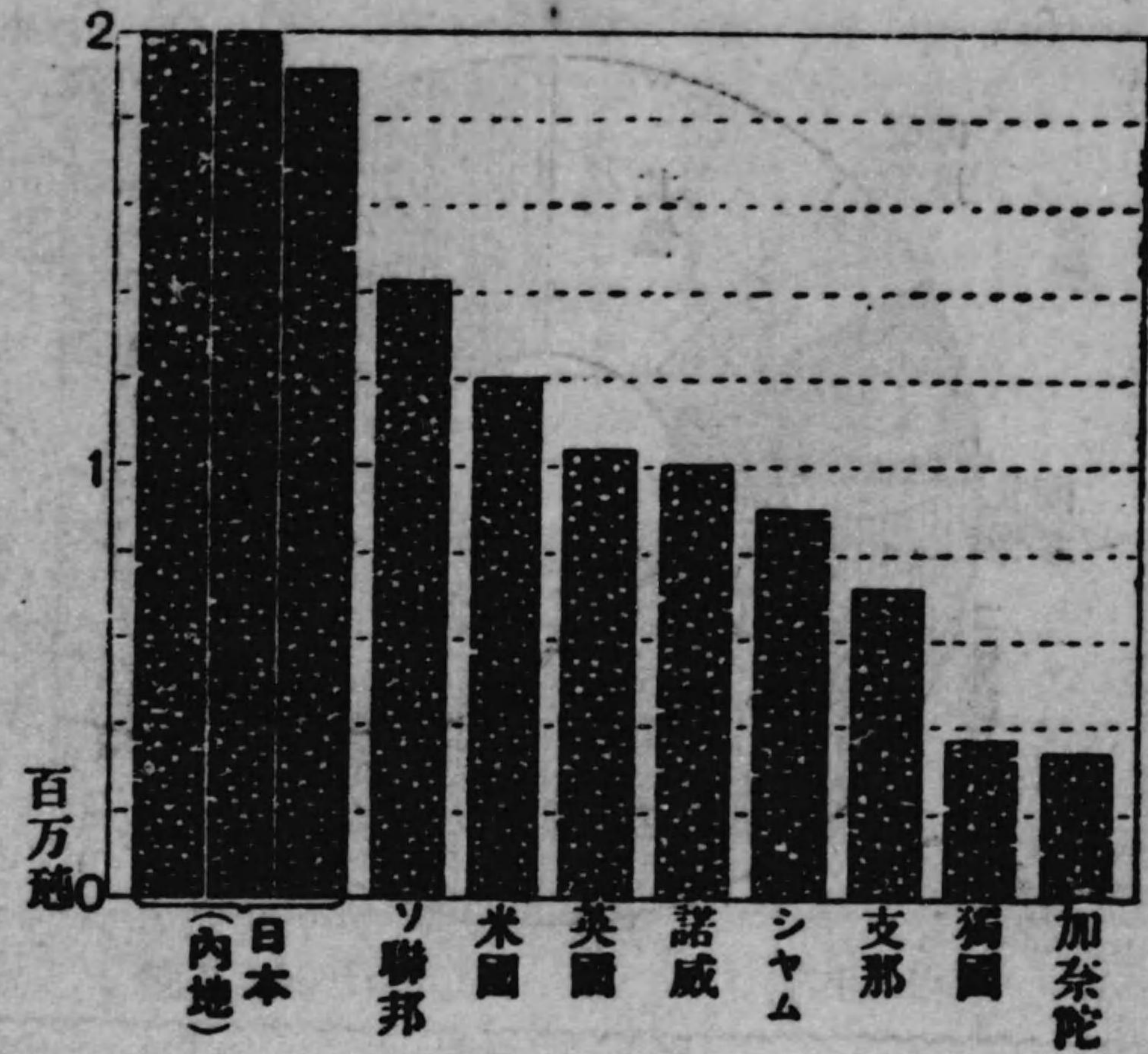
棉花(9—10年)		羊毛(9年)	
	千噸		千噸
米國	2 089	濠洲	463
英印	825	米國	199
支那	677	亞爾然丁	172
ソ聯邦	418	新西蘭	133
埃及	351	南阿聯邦	113
ブラジル	280	ソ聯邦	64
		ウルグアイ	59
世界計(其他共)	5 100	世界計(其他共)	1 659

世界珈琲産額



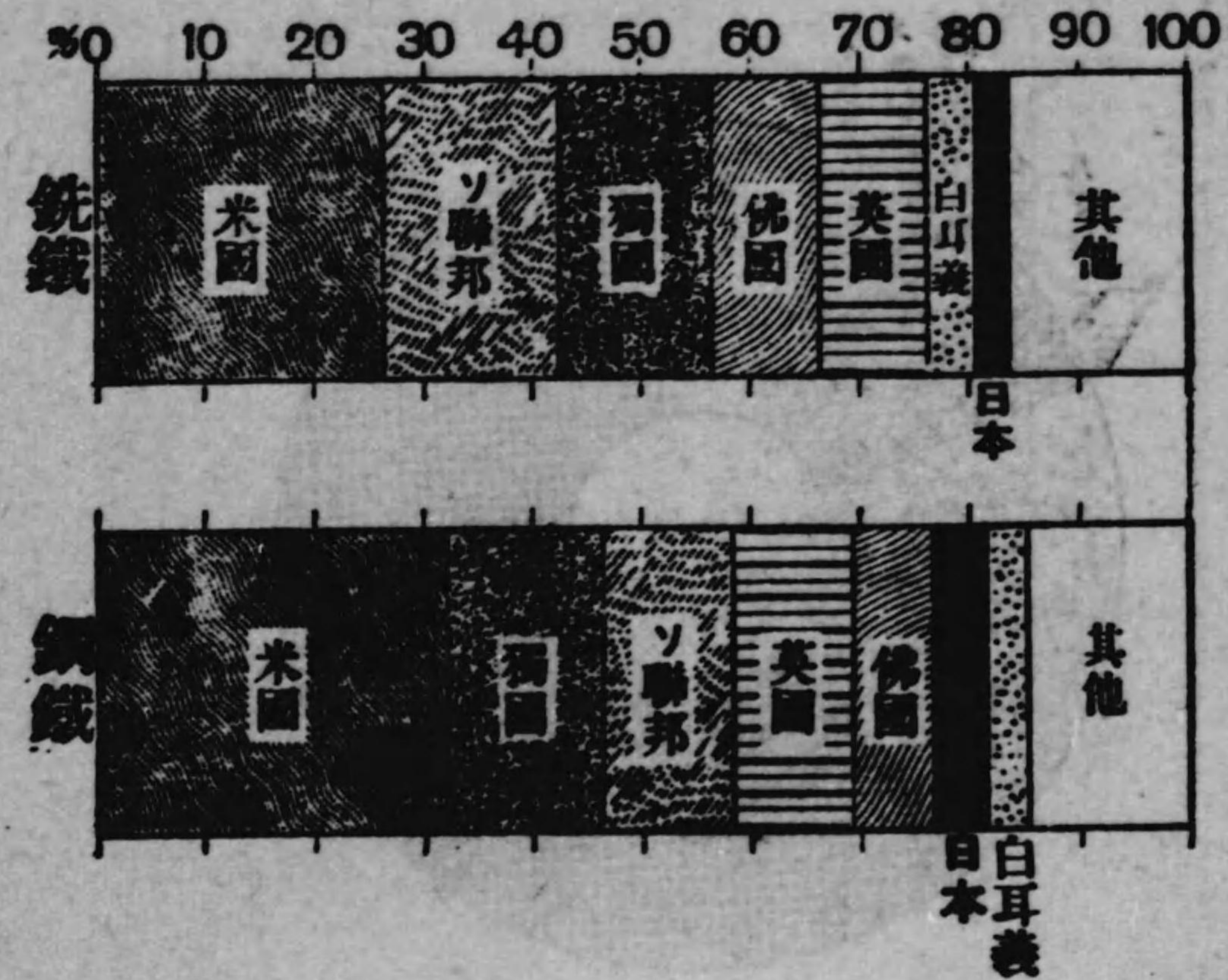
	昭和8年	昭和9年
	千噸	千噸
南米		
{ ブラジル	1 536	1 777
{ コロンビア	220	203
{ 計	1 837	2 072
中米	274	210
アジア	155	130
(蘭印)	133	106
世界計	2 362	2 498

列國漁獲高



國名	千噸	國名	千噸
日本内地	3291	シヤム	900
ソ連邦	1428	支那	723
米國	1205	獨逸	371
英國	1042	カナダ	342
ノルウエー	1004	西班牙	309

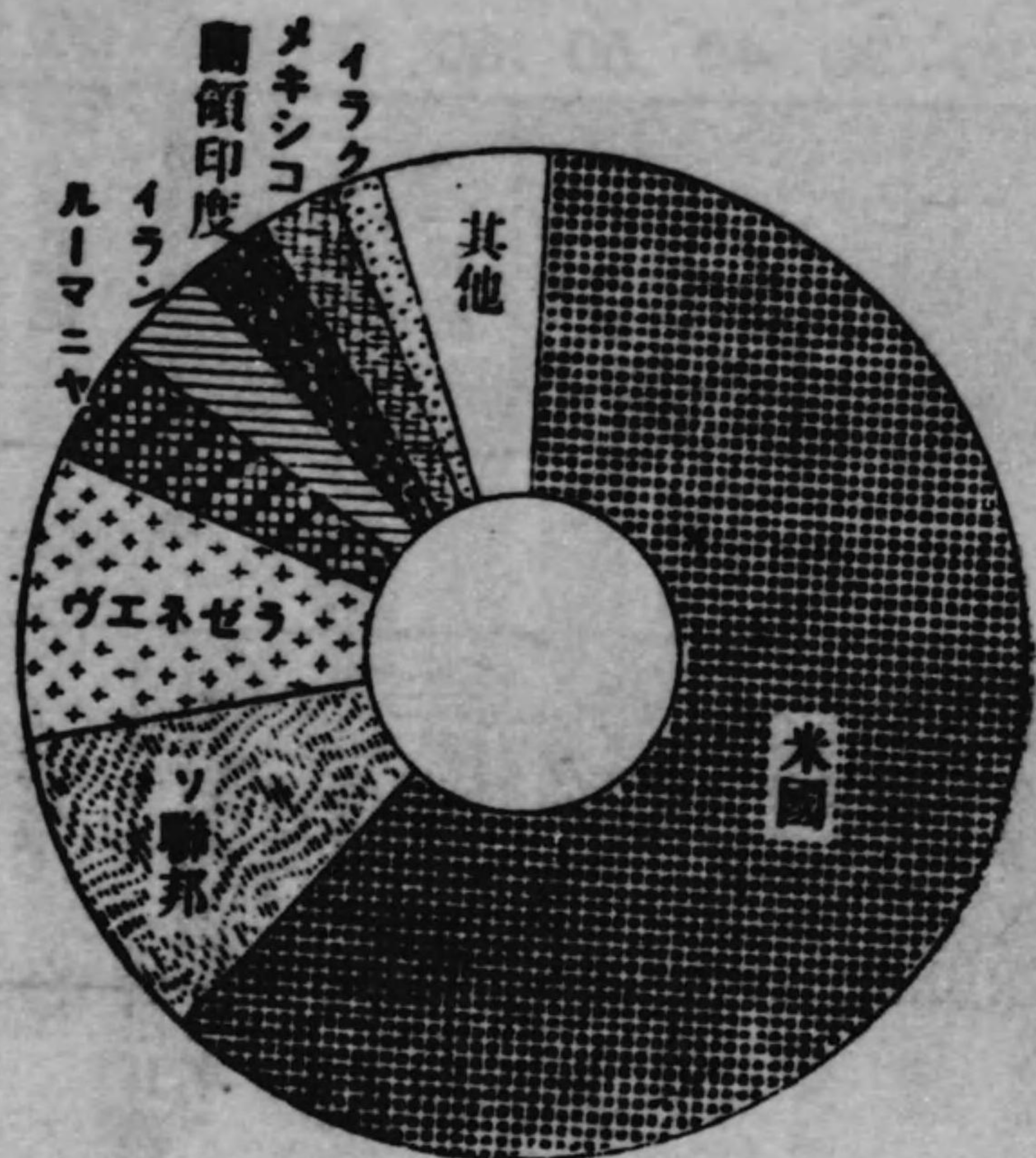
世界銑鐵鋼鐵產額



國名	千噸	千噸
日本内地	1728	3843
米國	16300	26370
ソ連邦	10400	9600
佛國	6155	6147
獨逸	8742	11886
英國	6074	9002
白耳義	2907	2948
世界計(其他共)	62600	81850

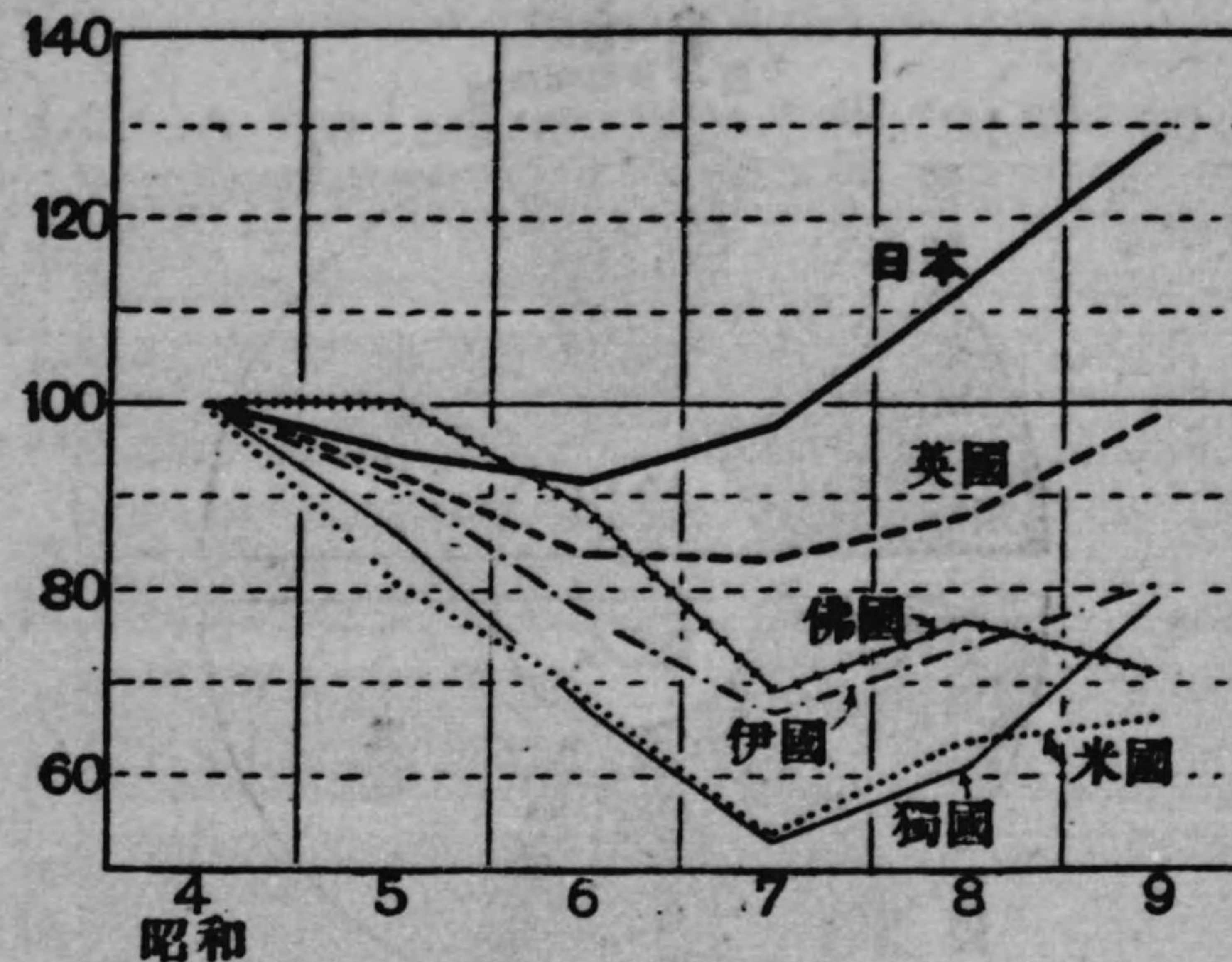
世界原油産額

(昭和10年)



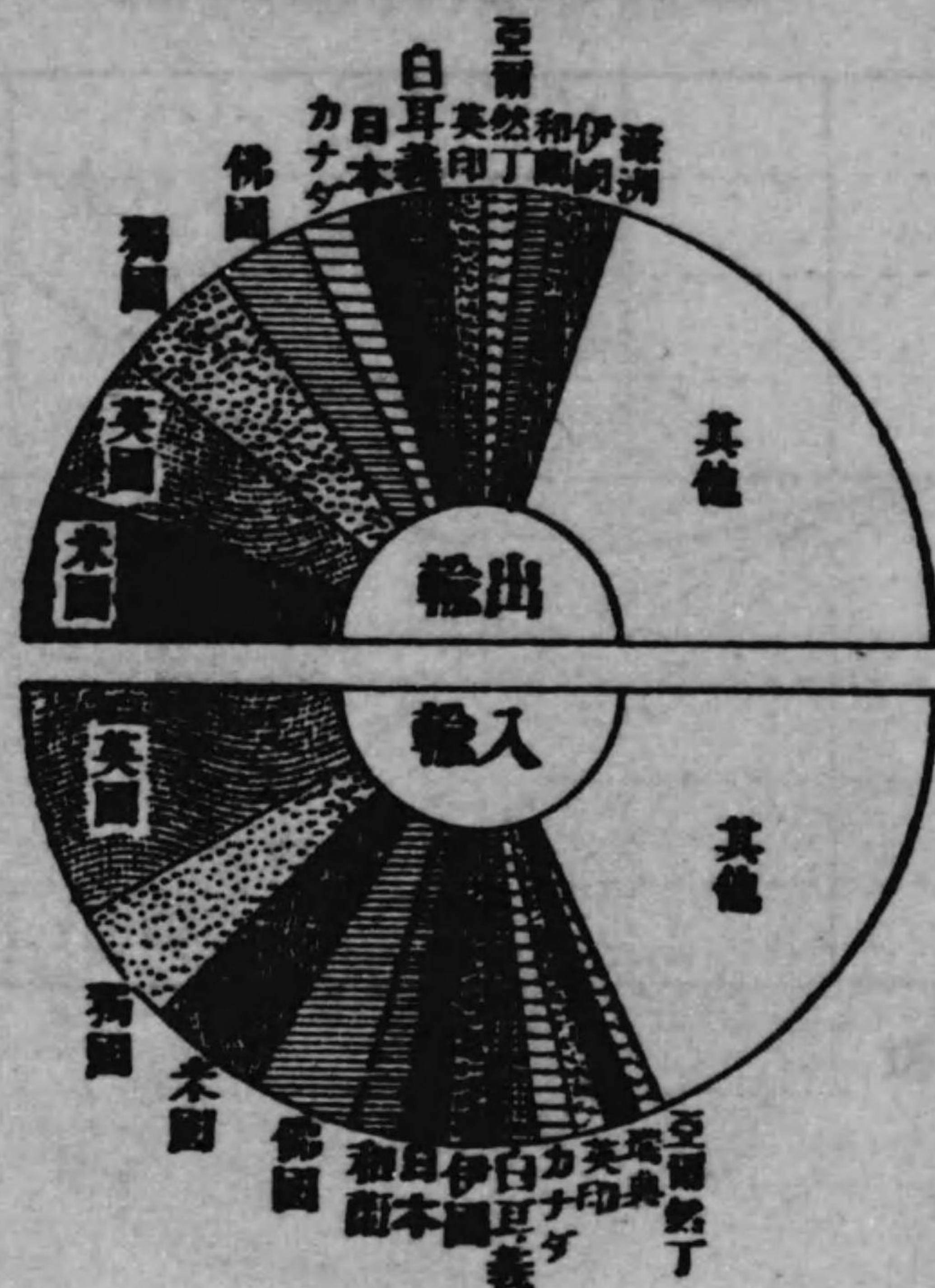
百万バレル	百万バレル
日本内地..... 2	蘭印..... 43
米國..... 982	メキシコ..... 40
ソ聯..... 168	イラーク..... 25
邦ヴェネズエラ..... 149	
ルーマニア..... 61	世界計..... 1610
イラン..... 51	(其他共)

世界工業生産指數



	昭和 7	" 8	" 9
日本.....	97.8	113.2	128.7
米國.....	53.8	63.9	66.4
英國.....	83.5	88.2	98.8
佛國.....	69.0	76.7	71.0
獨逸.....	53.3	60.7	79.8
伊太利.....	66.9	73.7	80.9

世界貿易輸出入國別 (昭和9年)

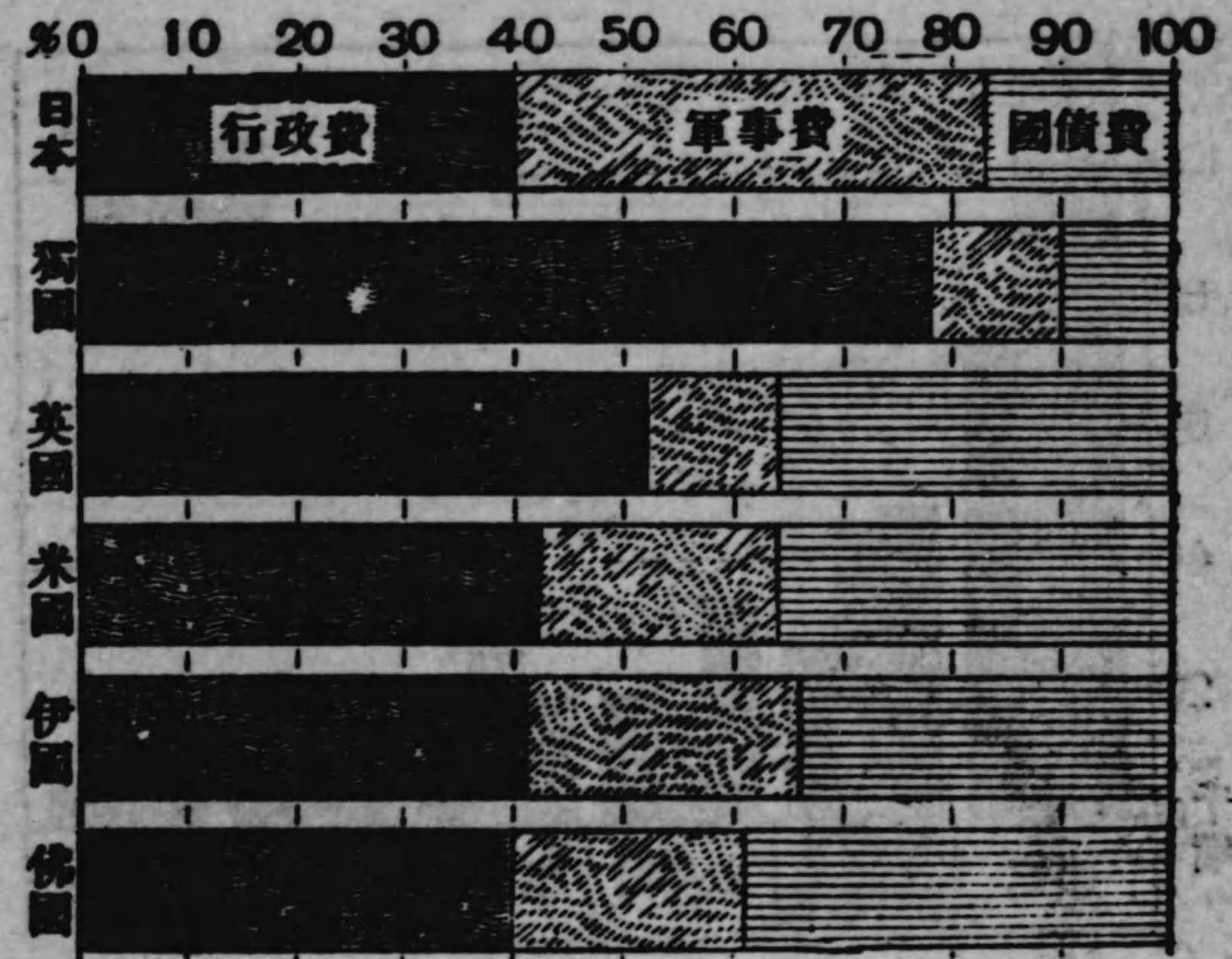


輸 出		輸 入	
米國.....	1 253	和蘭.....	286
英國.....	1 190	伊太利...	267
獨逸.....	980	濠洲.....	233
佛國.....	699	世界計...	11 364
カナダ...	453	英 國.....	2 048
日本.....	377	獨逸.....	1 046
白耳義...	374	米國.....	975
英印.....	335	佛國.....	904
亞爾然丁	288	和蘭.....	417
		日本.....	398
		伊太利...	391
		白耳義...	381
		カナダ...	312
		英印.....	283
		瑞西.....	273
		亞爾然丁	222
		世界計...	12 011

(單位 百萬米國舊弗)

列國の歳出内訳

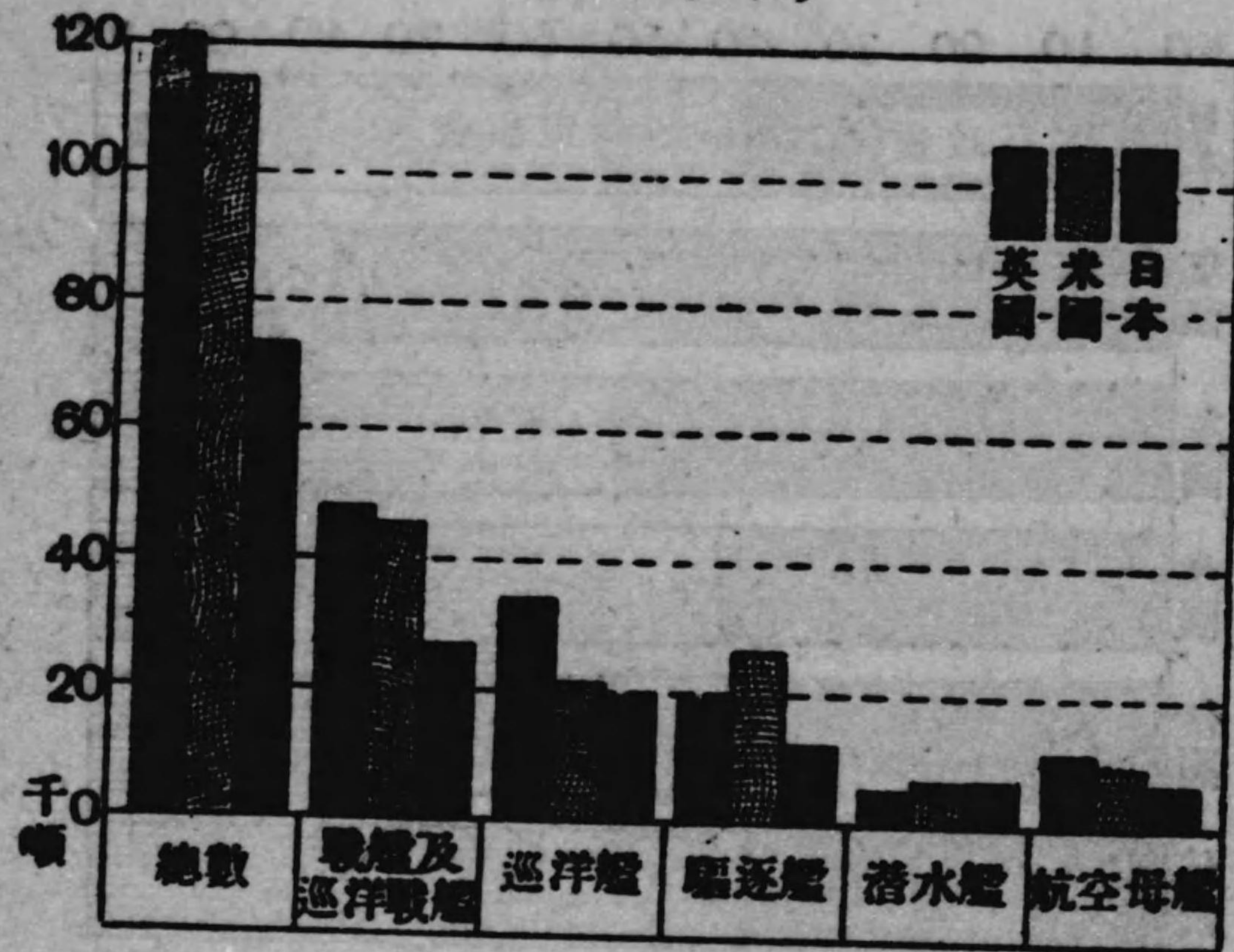
(昭和9年前後)



	行政費 %	軍事費 %	國債費 %
日本.....	40	43	17
米國.....	42	22	36
英國.....	52	12	36
獨逸.....	78	12	10
佛國.....	40	21	38
伊太利.....	41	25	34

日英米海軍勢力比較

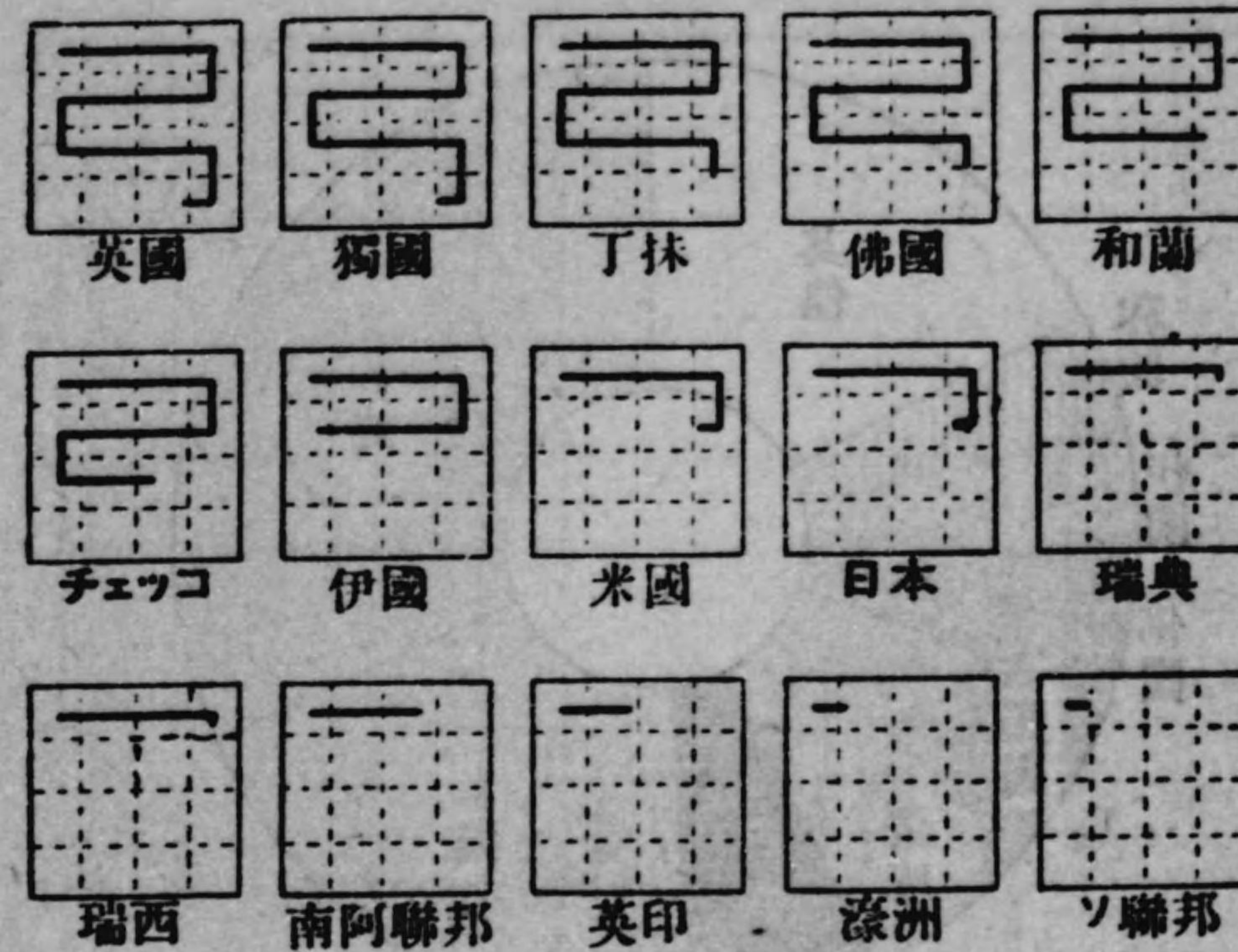
(昭和10年5月)



	日本 千噸	英國 千噸	米國 千噸
戰艦	272	445	455
巡洋艦	198	351	213
驅逐艦	117	199	259
潛水艦	67	57	69
航空母艦	69	115	92
計	753	1209	1146

列國の鐵道

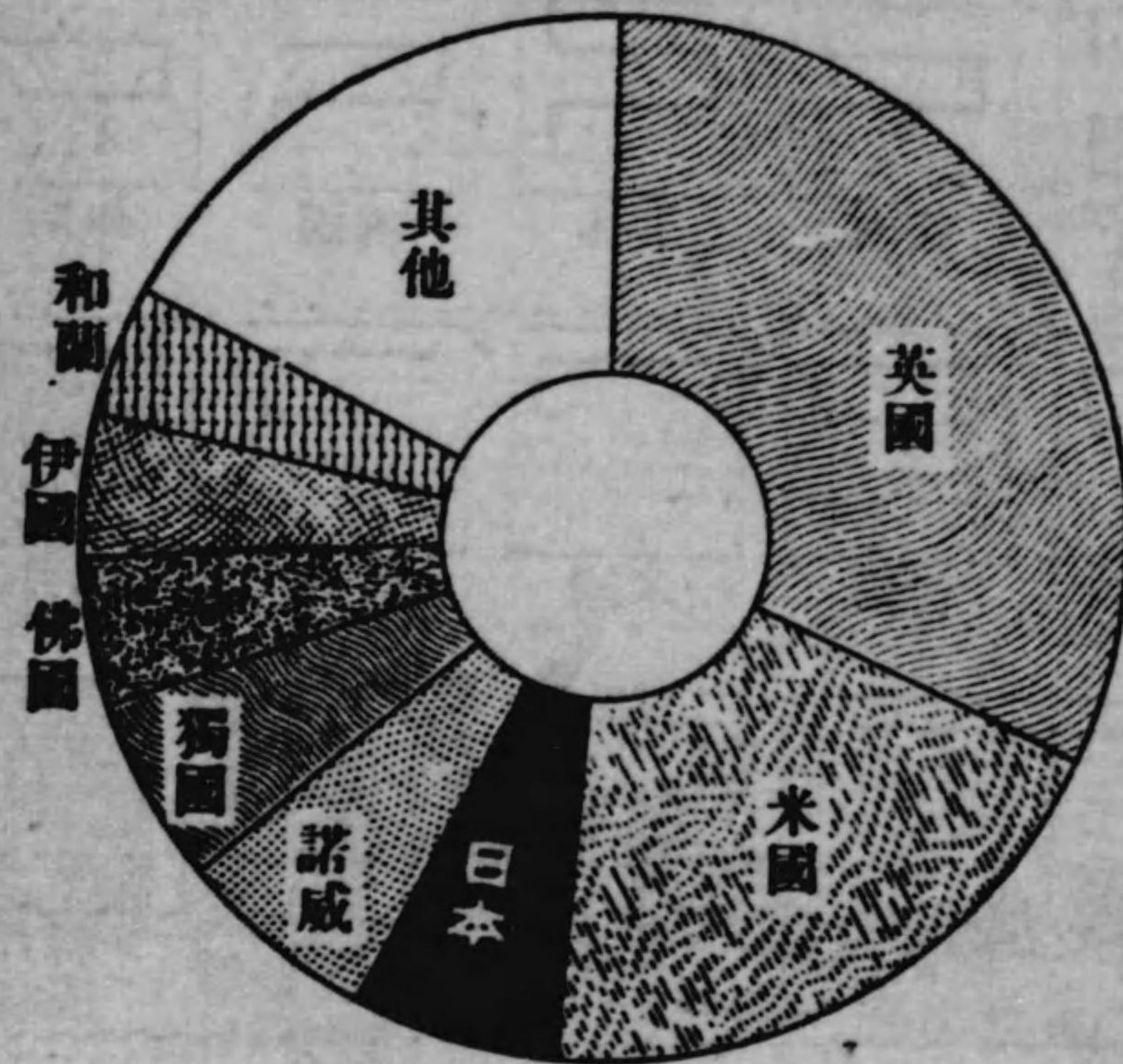
(昭和8年)



國名	百方軒に付 軒	國名	軒
日本	4.3	米國	4.4
英國	12.6	瑞西	3.2
獨逸	12.5	西班牙	3.2
丁抹	11.7	南阿聯邦	1.7
佛國	11.6	英印	1.3
和蘭	10.7	濠洲	0.6
チェッコ	9.8	ソ聯邦	0.4
伊國	6.8		

世界商船噸數

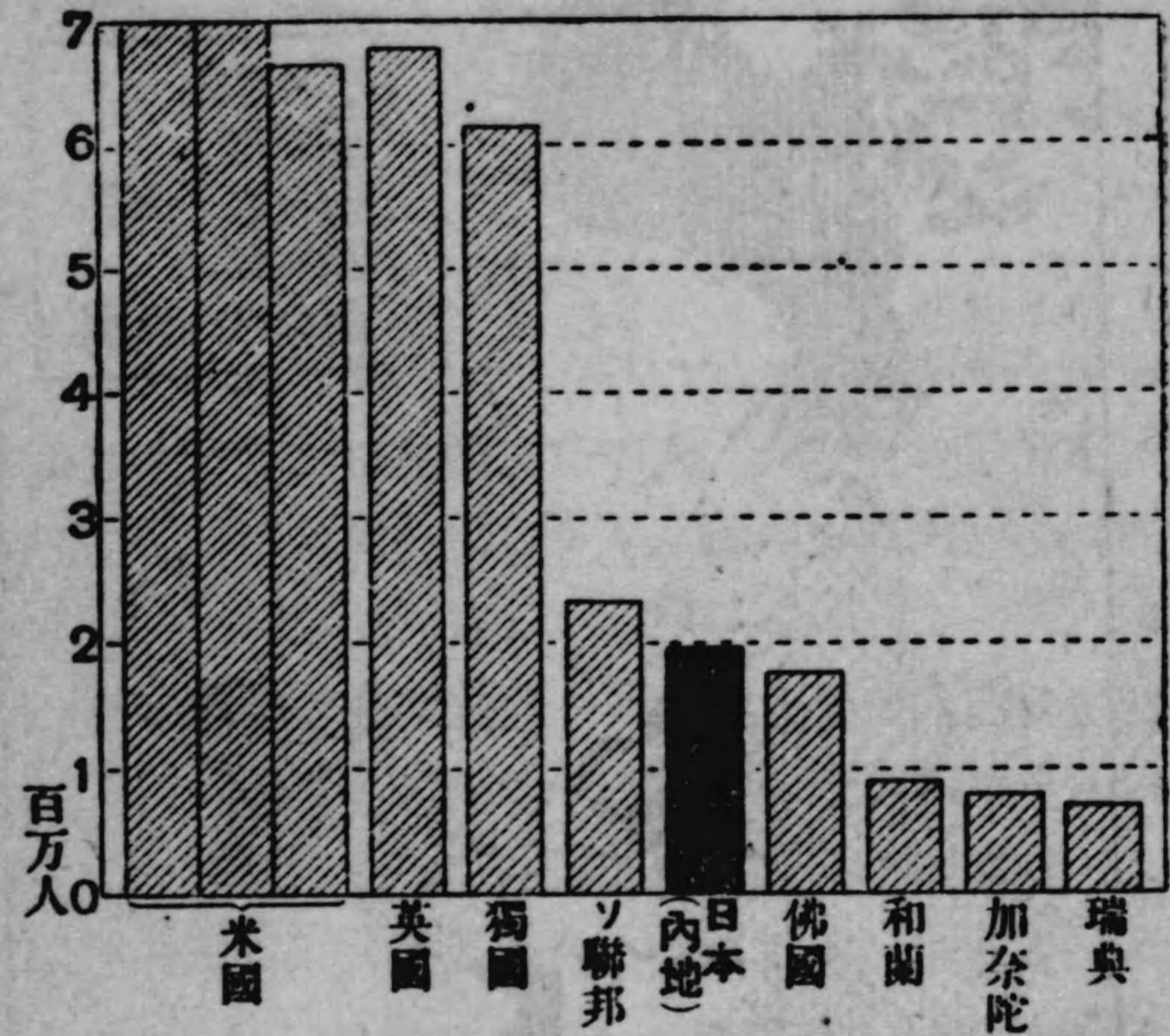
(昭和10年6月末)



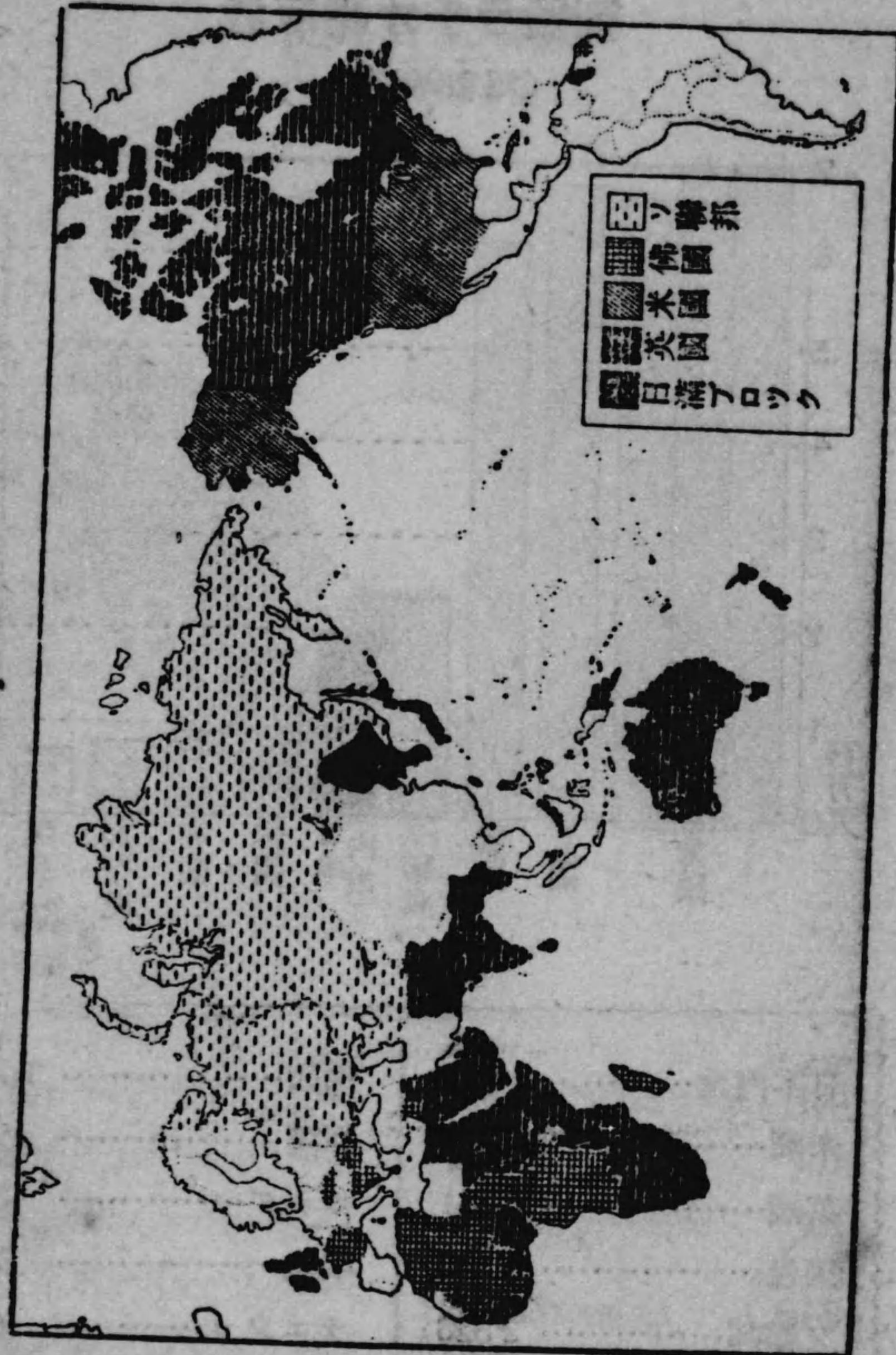
國名	百萬噸	國名	百萬噸
日本	4.1	佛國	3.0
英國	20.5	伊太利	2.9
美國	12.7	和蘭	2.6
ノルウエ	4.0	世界計(其他共)	64.9
獨逸	3.7		

列國ラヂオ聴取者

(昭和9年末)



國名	千人	國名	千人
日本内地	1,952	佛國	1,756
美國	20,750	和蘭	909
英國	6,781	カナダ	813
獨逸	6,143	瑞典	733
ソ聯邦	2,323	チエツコ	693



大日本帝國

【面積及人口】

	千方料	千人
内地	392.3	69 251 (昭和10年10)
朝鮮	220.7	22 899 ()
臺灣	36.0	5 213 ()
樺太	36.1	332 ()
關東州及附屬地	3.8	1 409 (昭和8年)
南洋統治區域	2.1	26 (昭和9年4)

主要都市は首府東京市5875千人、大阪市2990千人、京都市1081人、名古屋市1082千人、神戸市912千人、横濱市704千人(昭和10年10月)。

わが國の人口増加は最近一ケ年約九十萬人前後で昭和九年は927千人、同十年809千人、その増加率は英米獨佛伊等の何れよりも高い。わが海外移出民は昭和七年19千人、同八年27千人で此の内、ブラジルへ22千人(約八割五分)次いでソ聯へ1.0千人、比律賓へ0.6千人、その有望な移出先たるブラジルも一昨年の移民制限案のため全く望み薄となつた(詳しくはブラジルを参照)。

【政治】 建國の歴史古く皇統連綿として二千五百九十六年。明治二十二年憲法を制定し立憲君主制を布き國會を設く。上院は皇族18、公侯伯子男196、勅選學士院會員多額納稅者等183、合計397名より成る。

衆議院は 466名より成り任期四年、男子普通選挙により

選挙権は二十五歳以上、被選挙権は三十歳以上の男子にある。樞密院は顧問官二十六名を有する天皇の諮問機関である。

今上天皇 御名裕仁(明治34年4月29日御誕生、昭和1年御踐祚 同3年御即位)。天皇は國務大臣の輔弼により統治権を總攬し給ふ。内閣は首相以下内務、外務、大蔵、陸軍、海軍、司法、文部、農林、商工、逓信、鐵道拓務の各大臣を以て組織す。

日本は昭和八年聯盟脱退を通告して茲に二年、法的に効力を得て昨年三月二十七日正式に脱退となつた。

【財政】昭和十年度の豫算歳入出各2193百萬圓、主要財源は酒税213、所得税196、關稅130、專賣益金196、公債金750等で支出は陸軍省費493、海軍省費530、國債費389、一般行政費609、恩給年金173。國債額は昭和十年三月末内債7688百萬圓、外債1403百萬圓。

【産業】最近に於ける日本の各種生産總額は大體百七億圓(「國勢一斑」より)で、このうち工産の占める割合は六割八分、農産二割二分、水産四分、鑛産三分等で、日本が工業國たることを示してゐる。併し之を人口別に見るとなほその半數即ち四割八分が農業者で他面日本は農業國とも云ひうるのである。

農業の耕地面積は昭和八年59.7千方軒で全土の約一割六

分を占む。主作物は米を始め麥、甘藷、馬鈴薯、大根、蜜柑、柿、茶、葉煙草等に特産品たる除蟲菊、薄荷があるが概して工藝作物に乏しく棉花の如き全部輸入に依存してゐる。米は國民の常食品として重要性を有しその産額は支那、印度に亞ぎ世界三位にある。茶は産額世界四位でその三割前後を輸出す。蜜柑も近年外國の需要増加を見た。次は最近産額(米麥は單位千石、他は千貫)。

	昭和8	同 9		昭和7	同 8
米	70 828	51 840	葉煙草	16 161	17 744
大麥	6 916	6 796	製茶	10 776	11 597
小麥	8 013	9 450	蜜柑	80 308	90 972
稗麥	5 348	6 160			

養蠶は農家の重要な副業にして、産額は正に世界第一位昭和八年産額379千疋、同九年327千疋、生絲産額は同八年42.2千疋、同九年45.2千疋で年々産額の七八割、金額にして約三億圓を輸出する最重要輸出品である。畜産は比較的重要性少なく家畜(昭和3年末)に牛1560千頭、豚914千頭、馬1501千頭があるが種羊の如き僅かに31千頭で羊毛は殆ど輸入に頼つてゐる。森林地は全土の約五割二分を占むるが林業も其割に振はず用材伐採高は昭和八年89百萬圓

水産業は四面環海、且つ有利な漁場に恵まれ産額の多きこと正に世界一。昭和八年の漁獲高は256百萬圓で、このうち近海漁業171百萬、遠洋漁業66百萬圓。近海では

組、鱈、鯛、鯨、遠洋では鮪、鰹等が多い。
産産は多種多様ながら貧弱で石炭、銅等を除いては殆ど
輸入に俟つ状態である。次は昭和九年主要産産額

金… 15.1 兆(44.9 百萬圓) 石炭… 33924 千 吨(246 百萬圓)
銀… 217.3 兆(11.0 百萬圓) 銅… 67.0 千 吨(46.8 百萬圓)

本邦工業は一方に大規模工場の發達を見ながら他方尙小
規模工業が多數存在し且つ之が少からざる役割を演じて
ゐる。近年は製織、造船、機械製造、化學工業等の發達
を遂げ製織では世界六七位の地位を占め、人絹製造では
正に米國の世界一位を凌がんとしてゐるが、工業の中心
はなほ纖維工業にある。最近の工場(職工五人以上)産額
は次の如し(單位百萬圓)。

	昭和7 同 8	昭和7 同 8
紡織工業	2028…2096	金屬工業… 591… 888
化學工業	957…1300	機械工業… 544… 805
食品工業	836…1018	其他共計… 5175…7871

紡織では綿紡織及び製絲、化學工業では製紙、人絹製造
が多い。綿紡績の錘数は 9.1 百萬錘で世界七位だが棉花
消費量は昭和八年度 675 千 吨で米國に次ぐ世界二位、昭
和九年の人絹産額は 62.5 千 吨、同製鋼高は 3275 千 吨(前年
2863 千 吨)。

【貿易】

	1932年	1933年	1934年
輸出	1 410	1 861	2 172 (百萬圓)
輸入	1 432	1 917	2 283 (百萬圓)

1934年の輸出の首位は綿織物492、次が生絲及玉絲287、
人絹織物113、絹織物77、機械及同部分品58、鐵53で輸入
は棉花 31、鐵172、羊毛186、礦油124、機械類98、肥料
91、生ゴム57等を主とす。

相手國は米國 輸出399 輸入769)、英印(358.292)、濠洲
(65.198)、蘭印(159.64)、關東州 296.27) 滿洲國(107.16
4)等が主、

【金融及通貨】 本邦の銀行は特別銀行、普通銀行、貯
蓄銀行の三種に分れ昭和九年末の本店數は合計 589。近
年は合同合併で行數は減少傾向にある。日本銀行は特銀
の一で紙幣發行權を有し、昭和十年六月末發行高は13億
圓。普通銀行では三和、住友、第一、安田、三井、三菱
の諸銀行が所謂巨大銀行として主要な地位を占めその全
國普通銀行預金中に占める割合は昭和九年94億の六割五
分。

貨幣單位は圓で平價では英國の2先令1/2片、米國の0.84396
弗(切下以前は0.49846弗)に當る。昭和六年末に金本位
を停止してから圓の對外相場は急落し最近は金比で約66
%を減價してゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は昭和九年末國鐵 16.4 千 軒、
私鐵 7.1 千 軒。自動車數は九年十月 109.2 千 臺 船舶 百 噸
以上)噸數は十年六月 2146 隻、4086 千 噸で英米に亞ぐ世

界三位。航空路は東京大連間、大阪福岡間の外五航路を有し昨年には更に東京富山間及び内地臺灣間も開通し之は將來新嘉坡まで延長の見込、昭和九年の空輸旅客13千人。郵便局は九年末10611、電信局54、電話局54(加入者796千人)。ラヂオ放送局は昨年開局した富山、鹿児島を加へ合計27局、聴取者は十年十月末2.2百萬人、

【国防】 國民皆兵の徴兵制で十七歳より四十歳迄服役義務を有す。二十歳に達し検査合格者は陸軍は七年四ヶ月の常備兵役(現役二年其他豫備)と十年の後備兵役に服し、海軍は七年の常備兵役(現役三年豫備四年)と五年の後備役に服す。不合格者は補充兵、亦は國民兵に編入される。陸軍の平時兵力は朝鮮共十七ヶ師團約二十三萬人にして之に所屬する飛行聯隊八(朝鮮一)、氣球隊一、航空機1140、此の外臺灣に飛行聯隊一がある。海軍艦船は十年五月海軍省調によれば戰艦9(272千噸)、巡洋艦21(197千噸)、驅逐艦96(117千噸)、潜水艦55(66千噸)、航空母艦3(68千噸)、この外練習戰艦1、水上機母艦2、潜水母艦5、敷設艦5、海防艦7、砲艦11、特務艦20、掃海艇14、水雷艇4を有し航空隊二十一、航空機472。

【教育】 初等教育は義務制である。昭和九年三月末現在の小學校25703(兒童11.0百萬人)、中學校554、高等女學校975、師範學校103、高等師範(男女共)4、高等學校

32、專門學校117、大學45、實業專門學校52、實業學校(甲乙)1041、實業補習校15140、この外各種學校、盲聾啞學校等を含め本邦學校總數は45904校を算す。

朝鮮

【面積及人口】 面積220.7千方料、人口1934年末21126千人、このうち朝鮮人20514千人、内地人561千人。主要都市は京城府395千人、釜山府164千人、平壤府159千人、大邱府108千人、仁川府76千人(1934年末)。

【政治】 日露戦争の結果暫時日本の統監府が置かれたが、其後明治四十三年日韓條約に基き日本に併合され、總督府が設けられた。總督は一時兵權を兼有したが、現在は拓務大臣監督の下に諸般の政務を統理し、必要に應じ兵力の發動を要請しうる。總督の諮問機關として中樞院がある。

昭和十年度の豫算歳入出各290.3百萬圓。主要収入は官業及官有財産収入169、租稅53等で支出は鐵道作業費69、國債費27、地方應費27等を主とす。

【産業】 朝鮮産業の中心は依然農業にある。總人口の約八割が之に従事すること各種生産總額の約八割が農産品であること等は之を實證してゐる。主な農産物は下記のものを始めとし其他煙草、麻類、繭、人蔘等がある。

特に米は農産品の王座に位し農産総價額の約四割、亦その産額の四割前後を移出する。大豆、大麥、小麥も主要輸移出品であり。粟は鮮人の常食品となつてゐる。最近産額は次の如し(單位千石、但し棉花は百萬斤)。

1933年 同34年		1933年 同34年	
米	13 193	大豆	4 546
小麥	1 762	粟	5 145
大麥	7 585	棉花	1 59.4

養蠶は近年政府奨励の下に發達し1934年の繭産額 23 千疋、人蔘は專賣で生を水蔘、乾燥のを紅蔘、白蔘と云ふ。1933年の紅蔘製造49千斤。家畜は朝鮮牛(1934年1671千頭)を始め豚(1584千頭)、馬 54千頭 等がある。

林野面積は全土の約七割四分を占むるが立木地はこの約六割六分にしか當らず、1933年の用材産額は14百萬圓。水産業は有利な漁場に富み鯖、鯉、ぐち、たい等の産が多い、1933年の漁獲高百54.3萬圓、

礦産に恵まれ金、鐵、石炭、銀、銅、黒鉛、^{タンゲマチン}重石鑛等を主産す。1934年の産額は69.2百萬圓。主要品は次の通り。

噸 百萬圓		千噸 百萬圓	
金	10.7	石炭	1 688
砂金	1.7	鉄鐵	175
鐵鑛	31.3	銅鐵	60

工業は紡績、製鐵、製糖、セメント、醸造、製粉、硫安製造等の大規模工場制の發達を見つゝあるがなほ家内工業的のも多い。1933年の工産額は372百萬圓。

【貿易】

	移出	移入	輸出	輸入
1933年	314.9	339.8	52.8	57.7(百萬圓)
1934年	407.7	439.6	64.4	79.5()

1934年の移出は米222、肥料25、豆類19、水産物18、鐵12等を主とし移入は綿織物44、鐵27、金屬製品25、機械類17等を主とす。輸出入の相手は滿洲國が最も多く其他關東州、支那、米國等で綿布、水産物を出し粟、礦油等を輸入す。

【金融及通貨】 同地の中央銀行たる朝鮮銀行、其他朝鮮殖産銀行、東洋拓殖會社、普通銀行、貯蓄銀行等併せて本店11、支店163を有す(1933年末)。朝鮮銀行の發行高は昭和十年六月末148億圓。

【交通及通信】 鐵道は國鐵の營業幹 2.9 千幹と私鐵の營業幹1.2千幹がある(1934年)。自動車數は1934年10月6.1千臺、航空路は内鮮滿連絡飛行の要路をなし蔚山、新義州間の航程は660幹。郵便局85、電信局7、電話局1(1933年度末)。ラヂオ放送局は京城に一局あるが釜山放送局も近く開局の豫定。

【軍備】 陸軍は朝鮮軍司令部統率の下に二ヶ師團が配備され飛行聯隊一が所屬してゐる。海軍は鎮海及元山に要塞司令部を置き朝鮮軍司令部の統轄の下に沿岸及對馬海峽の防禦警備に當る。



【教育】 中初等教育に於ては言語の關係から内鮮人に分ち行ひ、師範、實業、専門、大學は國語を主とする共學である。1933年5月末の内地人用の小學校479、中學11高等女學校25。鮮人用の普通學校2100、高等普通學校26、女子高等普通學校17。師範學校3、專門學校15、大學1、各種實業學校55。

臺 灣

【面積及人口】 面積36.0 千方料、人口は1934年末5195千人。この内本島人4882千人、内地人264千人、本島人は漢人種と蕃族に分れ前者は島人の九割以上を占め、蕃族は約一割(148千人)。主要都市は臺北276千人、基隆31千人、臺南106千人(1933年末)。

【政治】 明治二十八年日清戰役の結果支那より割讓されたもので爾後總督府を置く。總督は大正八年迄軍政權を有したが現在は拓務大臣監督の下に諸般の政務を統轄し必要の場合兵力の發動を要請し得る。總督の諮問機關に總督府評議會がある。昭和十年度の豫算歳入出各 120百萬圓。主要収入は官業及官有財産收入33、租稅18で支出は地方廳費14、交通局費23、事業費13等を主とす。

【産業】 農業は島内産業、特に同島三大工業(製糖、製茶、繭詰)の基底をなし、耕地は全土の約二割三分、

農業者は人口の約五割二分を占めてゐる。主産物は下記のほかに、落花生、煙草、麻類があり、米は年産の四、五割を移出し、茶は同八、九割を輸出し、バナ、も同五割前後を移出し、パイナップルも繭詰として多く輸移出される重要品である。

	1932年	同33年	同34年
米.....	8 949...	8 362...	9 089(千石)
甘藷.....	2 389...	2 356...	2 609(百萬斤)
甘蔗.....	13 415...	8 811...	8 884()
粗生茶.....	14.7.....	15.5.....	18.4()
バナ、.....	275.....	293.....	302()
パイナップル...	75.1.....	86.8.....	85.5(百百個)

家畜は豚が多く1934年1836千頭、其他水牛306千頭、黄牛77千頭がある。森林面積は約19千方料で1933年の用材産額は 4.0 百萬圓。特産品の樟腦は一昨年七月製腦事業が官營に組織がへされてより増産され最近は年産二千乃至三千噸の見込。

水産業は四面海の好位置をしめ相當盛んで、鮪、鯛、鰹、旗魚等の産が多く1933年漁獲高10.5百萬圓。礦産は下記のものを除き比較的乏しい。1933年の石炭産額1533千噸、金銅礦116千噸、金0.6噸、工業は製糖、製茶、パイナップル繭詰を主とし其他セメント、帽子、酒精、肥料製造等があり1934年の工産額は 216百萬圓、このうち甘蔗糖産額は119百萬圓、數量は647千噸で世界八位。

【貿易】

	移出	移入	輸出	輸入
1933年	230.7	149.9	17.7	35.5(百萬圓)
1934年	279.4	177.0	26.5	38.0()

1934年の移出は砂糖127、米102、バナ、8.1、鑛7.5等を主とし移入は織物類25、肥料17、鐵12、金屬製品10等を主とす。輸出入の相手國は滿洲國、支那、米國等で輸出は茶が最も多く、輸入は肥料、麻袋等が多い。

【金融及通貨】 島内の中央銀行たる臺灣銀行、勸業銀行支店、其他普通銀行等あわせて六十二行ある。臺灣銀行券の發行高は昭和十年六月末58.6百萬圓。

【交通及通信】 1933年度末の國鐵營業料は882千、私鐵503千、この外所謂トロと稱する私設軌道があり同年末の營業料は1.2千。自動車數は1934年10月3.1千臺、航空路は一昨年の内臺準備飛行の好結果を得て愈々昨年十月八日より内地臺灣間が開通した。郵便局は1933年度末178、電話交換局112。ラヂオ放送局3(臺北、臺南、臺中)がある。

【軍備】 陸軍は臺灣軍司令部統率の下に守備隊二、重砲一大隊、飛行聯隊一が配備され海軍は基隆及澎湖島の馬公に要塞司令部を置き島岸の防備に當る。

【教育】 初等教育は言語の關係から内臺人に分れ、修業年限は六ヶ年、中等以上は國語による共學とす。1934

年4月末の小學校134、島民用公學校775。中學校10、高等女學校13、師範學校4、各種實業學校6。實業專門學校4、高等學校1、大學1がある。

樺太

【面積及人口面積】 千36.1方料、人口は1934年末現在313千人、このうち内地人は305千人、アイヌ人は1.5千人。主要都は豊原町人口34千人、大泊町31千人、真岡町17千人(1934年末)。

【政治】 わが樺太南半の經營は既に徳川初期より始まつてゐるが北緯50度以南が正式に日本領となつたのは明治三十八年日露戦役の結果である。其後軍政時代を経て同四十三年樺太廳が置かれ現在は樺太長官が諸般の行政事務を管理す。昭和十年度の豫算歳入出各28.7百萬圓。

【産業】 樺太産業を産額別に見ると第一が工産、次が林産、水産、鑛産、農産畜産の順となる。工業のうちその王座を占めるものはパルプ製造製紙業でその産額は1933年の工産59.6百萬圓の約九割に及ぶ樺太第一の産業である。其他主な工業に縫詰製造、醸造、寒天製造、澱粉製造等がある。森林面積は全土の約四割四分に當り、その大部分を覆ふトド松、エゾ松は樺太パルプ工業の根幹をなし亦所謂北洋材として内地市場に多く移出される。

1933年の用材産額は11.2百萬圓、水産業はその歴史古く主産物は鯨を始め鱈、鱒、タラバ蟹、昆布等がある。1933年の漁獲高7.0百萬圓で此の内鯨3.9百萬圓、鱈1.1百萬圓、農業は耕地僅かに0.3千方軒で主産物は燕麥、馬鈴薯、甘藍、稗麥、蘿蔔、亞麻等。牧畜にも適し牛4.7千頭、豚7.4千頭、馬13.4千頭を有し養狐も風土に適し近年擡頭して來たが以上農牧ともその發展は今後に残されてゐる。鑛産には石炭のほか石油、砂金、硫化鐵等があるが發掘は現在石炭に限られてゐる(1933年889千噸)。

【貿易】 大部分は内地との取引で1933年の移出73百萬圓、移入31百萬圓。移出は紙及パルプ、木材が大部分を占め移入は米を第一に藥品、煙草、食料品等。輸出は同年180千圓、輸入259千圓。

【教育】 1933年度末に於て小學校223、中學校3、高等女學校4、實業補習學校8、土人教育所1。

【交通及通信】 鐵道延長581軒(1933年)。郵便局76(1933年度末)。

關東州及南滿鐵道附屬地

【面積及人口】 總面積3.8千方軒、人口1409千人(1933年末)でこのうち内地人279千人、滿洲人1098千人。之を關東州のみに就いて見れば面積3.5千方軒、人口1004千人

て内地人は139千人、滿洲人862千人となる。主要都市は大連人口327千人、旅順30千人(1934年末)。

【政治】 日露戰爭の結果關東州租借權と長春以南の鐵道及附屬地を露國より得たもので明治三十九年統治機關として關東都督府が置かれ、大正八年關東廳が之に代り今日に至つたが滿洲建國後之が改組の必要を認め昭和九年末官制改革を見た。その結果は内閣に對滿事務局を新設し從來拓務省に所屬した對滿關係事項は茲で處理し、現地は從來の關東廳、滿鐵、關東軍の三位制から駐滿大使と關東軍の二位制に革められた。大使は滿鐵及滿洲電信電話會社の業務監督權、鐵道附屬地の行政權、關東州廳の監督權を有するもので此の業務一切は新設の關東局をして當らしめる。而して大使は關東軍司令官が兼任し亦關東局に所屬する警務部の部長は憲兵司令官が兼任することになつてゐる。昭和十年年度の豫算歳入歳出各24.8百萬圓。

【産業】 住民の生業をなすものは農牧と水産業である。州内は地味概して瘠瘦だが尙畑地を主とする耕地二十萬町歩を有する。産物は落花生、包米(玉蜀黍)を主とし其他高粱粟、大豆、蕎麥等がある。1933年末の落花生産額1305千石、包米1083千石、黃豆182千石、粟205千石。家畜は1933年末、牛25千頭、馬11千頭、騾及驢43千頭、豚

142千頭を有す。水産は渤海及黄海を控え豊富で黄花魚、鯉、鮮鯪等が多く1933年の漁獲高は5.0百萬圓。鹽は最近日本内地の需要増加に伴ひ産額増加し1933年416百萬斤、前年485百萬斤で年産の六、七割を輸出する。

礦産は州外に多く鐵礦、石炭を始め金、^{マグネサイト}菱苦土礦、油母頁岩等がある。鐵礦は大孤山、王家堡山、廟兒溝等より産し1933年1005千噸、石炭は滿鐵經營の撫順、煙臺等に多く同年7687千噸、工業は大連を中心とする油房業、鞍山及本溪湖の製鐵、綿紡、製材、製粉等の外、家内工業的の煙草、燐寸、皮革、土器製造等が行はれる、1933年の工産額は119百萬圓でこのうち豆粕産額32百萬圓、豆油14百萬圓、鉄鐵12百萬圓、

【貿易】 1934年の輸出335百萬圓(前年330)、輸入472(同374)。主要輸出品は大豆137、豆粕40、石炭23、落花生4、豆油3等で輸入は小麥粉44、金屬製建築材40、綿織物22、車輛及部分品27、機械類26等を主とす、日本内地との取引が大部分を占め、最近の貿易額は著増してゐる。

【金融及通貨】 金融機關は日本側の正金銀行、朝鮮銀行、東拓會社、滿洲側の滿洲中央銀行の外、英米支系の諸外國銀行がある。朝鮮銀行は日本側の中央銀行たる地位を占め鮮銀券(金票)は各地に流通する、

【交通及通信】 鐵道は滿鐵1145軒の外金福線163軒を

有し、航空路は大連新京線、大連東京線がある。通信業務は滿洲電信電話會社の設立と共に移管され郵便業務のみ關東洲應遞信局が之に當る。ラヂオ放送局は大連に一局ある。

【軍備】 關東州及滿鐵附屬地の防備保護に當るため諸部隊をおき之等を關東軍司令部が統轄す。旅順の要塞司令部も之に隷屬す。また滿洲國沿海及河川の防禦に當らしめるため新京に駐滿海軍部をおく。

【教育】 中初等教育は日滿人の二系統に別れ亦經營主體は關東廳と滿鐵とに分る。昭和八年末の日本人用の小學校57、中學校8、女學校23、實業學校4で滿洲人用小學堂154、中學堂1、實業學堂2である。高等教育機關は南滿工業專門學校、日露協會學校、旅順工科大学、滿洲醫科大学がある。

南洋委任統治區域

南洋群島は舊獨領たるマリアナ、カロリン、マーシャルの三群島より成り、世界大戰の結果日本の委任區域となつたものである。最近日本の聯盟脫退によりその返還が云々されるが同區域は統治形式C(卷末聯盟の項参照)に屬しその理由はなく且つ昨年春の聯盟理事會もほゞこれを認めた、

南洋の島嶼は其數實に六百二十三を算へ總面積2.1 千方、1934年4月初の人口は85.6千人。住民は島民(同年50千人) 内地人(同25千)が大部分を占め近年内地人の増加は著るしい。全區域は統治上サイパン、パラオ、ヤツブ、トラック、ヤルート、ポナペの六管區に分ちパラオに南洋廳を置き長官が統治す。昭和十年年度の豫算歳入出各 6.0 百萬圓。

産業は未だ近代的と稱するものはないが第一に擧げられるのはサイパン島を中心とする製糖業で最近年産一千萬圓を超ゆるに至り之に並いては水産業就中鰹漁業である。この外コブラの採取、燐鐵の發掘等も漸次發展しつつある。島民の生業は農耕で産物は甘蔗、麵飽果、タピオカ、タロ芋、バナ、等があり、家畜に豚16千頭、牛4.8千頭、山羊3.1千頭がある(1933年末)。コブラはヤルート、ポナペ、トラック等に多く産し1933年の産額 10.7千噸(859千圓)で大部分を輸移出する重要品。水産物は鰹を始め鮪、鰹等の外高瀬貝があり、1933年中の漁獲高は1790千圓で此の内鰹1512千圓、鐵産はアンガウル島及び一昨年秋より開發されたピリリウ島の燐鐵だけで全部が移出される(1933年65千噸)、製造工業は前記製糖業の外殆ど見るべきものはない、1933年の砂糖産額14千噸(10.2百萬圓)。

貿易の大部分は内地との取引で1933年の移出 16.5百萬圓(前年18.2)、移入12.6(同9.6) 移出はその七割前後が砂糖でそのほかコブラ、燐鐵、鰹節等。移入は米、布帛類、油脂類、機械器具等。輸出は同年2.0百萬圓、輸入0.3百萬圓で相手地は支那、關東州を主とし其他印度支那、シム等、金融機關は未だ銀行類の出現を見ず郵便局があるのみ。鐵道もまだ一般公衆用のものはない。教育機關は邦人用の小學校及び島民養成用の公學校(修業三年)を設く。1934年度末の小學校18、公學校23。このほか實業學校1、宗教學校15がある。

滿洲帝國

MAN-CHU-KUO

【面積及人口】

		千方料	千人
奉天	省	86.2	6 379
吉林	省	89.9	4 657
龍江	省	125.5	1 975
濱江	省	143.4	4 032
熱河	省	120.3	2 200
錦州	省	39.8	2 939
安東	省	48.2	2 941
三江	省	107.5	833
間島	省	29.4	488
點	省	109.8	39
安	省(分省4)	383.4	920(1932年末)
計		1 265.4	30 103

上記数字は 1934 年 12 月 1 日地方制度改革に當り公表されたもの。主要都市は首府新京人口 169 千人、奉天 412 千人、吉林 141 千人、哈爾濱 482 千人(1934 年末)。

【政治】 1932 年 3 月日本の後援の下に中國より獨立し、一時執政統治の制度を立てたが 1934 年 3 月帝制を布き執政が皇帝に即位され同時に滿洲帝國政府組織法なる臨時憲法が發布された。同法によれば皇帝の下に參議府、立法院、國務院、法院、監察院を置き、參議府は皇帝の諮問機關として、立法院(國會)は法律及豫算の審議機關として、國務院(內閣)は總理のほか民政、外交、財政、實業、交通、司法、文教の各部大臣を置く行政機關として、法院は司法機關、監察院は國家會計の監察機關としての任務を負ふことが規定されてある。

皇帝 康德 (1934 年 3 月御即位)

【財政】 1935 年度(康德二年度)の豫算歳入歳出各 105 百萬國幣圓。主要財源は關稅 46.6、鹽稅 3.9、內國稅 20.1 等で支出は總務廳費 46、軍政部費 32、財政部費 11、民政部費 21 等を主とす。國債額は康德元年六月末現在 123 百萬圓で建國當時の紙幣發行準備、同各種行政費其他に充當す。

【産業】 地域廣大で松花江以南は農耕に適し東部西北部は林業に良く渤海黃海其他河江は水産に富み礦物亦各

地に豊富である。併し同國産業の根幹をなすものは農業で人口の七八割が之に従ひ耕地約 140 千方料で尙多くの未耕地を残してゐる。主産物は大豆、高粱、粟、玉蜀黍、小麥、棉花、煙草、麻類、落花生、柞蠶等で大豆は産額世界一位を占めその六割前後が輸出される貿易の大宗品粟も朝鮮人の常食用として多く輸出される。家畜は 1933 年現在牛 1.9 百萬頭、豚 6.4 百萬頭、馬 2.4 百萬頭、緬羊 2.3 百萬頭を有し牛皮、羊皮、兔皮等の産が多い。森林地は全土の約二割五分に當り松、樅、楡、楓等に富み木材の年伐採高は約三百萬石。農業に並いて重要なのは鑛業で主なものに石炭、鐵、金、菱苦土^{マグネシウム}鑛、苦灰石、耐火粘土、油母頁岩等がある。農鑛の主要品産額は次の通り(單位千廳)。

1932年 *1933年		1932年 1933年			
大豆	4 554	4 601	石炭	7 108	9 065
高粱	4 022	4 021	鐵鑛	1 042	1 177
粟	5 184	...	銑鐵	368	434
玉蜀黍	1 758	1 759	菱苦土鑛	55	71
小麥	863	863	油母頁岩	1 413	2 683

工業は同國特有の油房業が発達してゐるほかは概して小規模手工業の域を脱してゐないが近年製粉、紡織、燐寸、製紙、硝子、セメント、製鐵、硫酸工業等が政府の奨励と相俟つて發展の途にある。1933 年の工産額は 160 百萬圓で此の内大豆油工業 40 百萬圓。水産額は 1932 年百七十萬圓で鹽は最近日本の需要に伴ひ増産計畫が立てら

れた。1934年産額281百萬斤、前年535百萬斤。

【貿易】

	1932年	1933年	1934年
輸出	618	448	448(百萬圓幣圓)
輸入	338	516	594()

1934年の輸出は大豆160、豆粕53、石炭42、粟20、大豆油16、落花生14、鐵及鋼10を主とし輸入は綿織物68、小麥粉57、鐵及鋼58、車輛類11、麻袋16、綿絲13等を主とす。相手國は日本(輸出172 輸入383)、支那(66 58)、獨逸(53 12)、米國(6 35)、朝鮮(46 25)等が主。日本の對滿貿易は最近異常な増額を見て1934年の輸出 107 百萬圓、輸入 107 百萬圓で實にわが第四位の主要相手國となつた。我より綿布、機械、鐵等を出し、彼より豆類、油粕、石炭等を輸入する。

【金融及通貨】 發券銀行たる滿洲中央銀行の外に滿洲系、日本系(鮮銀、正金)、外國系の諸銀行がある。1934年末の中央銀行發行高138百萬圓幣圓、鮮銀發行高192百萬日本金圓。貨幣單位は「國幣圓」で從來亂雜を極めた舊紙幣は現在殆ど之に統一されてゐる。國幣圓は純銀量目23.91 瓦て日本金圓に對する相場は最近の銀價の變動で次のような状態を示してゐる。即ち國幣百圓に付日本圓は1932年91.38圓、33年101.45圓、同34年110.80圓。

【交通及通信】 鐵道は1934年末滿鐵1145軒、國線4221

軒、其他 334軒を有し之にソ聯より接受した北鐵 172軒を加へば總長7433軒となる。北鐵は一年有餘の交渉を重ね昨年三月遂に讓渡を得たもので同國は接收と共に北鐵の名を廢し之を三部に區切り濱洲線、濱綏線、京濱線の名稱をつけた。航空路は大連滿洲里間1.7千軒の外、奉天新義州間、新京區門間と大連より朝鮮及内地に延びる線がある。電信業務は現在日滿合辦の滿洲電信電話會社によつて統一され、郵便機關は日滿の二つに分る。1933年度の日本郵便局44、郵便取扱所145。ラヂオ放送局 3 (新京、奉天及哈爾濱) がある。

【國防】 1932年 4 月の陸海軍條令に基き陸軍は徵兵制に基き各省に一箇師團を設くることとなつたが1934年之を改め全國を五軍管區に分ち三十三旅團を配置するに至つた。海軍は江防艦隊を組織し當初の砲艦 5 隻は最近15隻に増加してゐる。

【教育】 小學校は修業年限六年で初級(四年)、高級(二年)に分つが就學状態は尙徹底せず早くは六歳、遅くは十一、二歳で就學する現状である。中學校は初級中學(三年)、高級中學(三年)に分れ、師範學校、職業學校は共に修業年限三年とす。1933年末に開校せる小學校10952、中學校177、職業學校41、師範學校109。高等教育機關は同年末工業大學1、醫專1、齒科專2、法學院1、商專1、師範

専任1がある。

中華民國(支那)

CHUNG-HUA-MIN-KUO

【面積及人口】

	千方料	千人
中國本部(18省).....	3 970.....	458 780
新疆.....	1 425.....	2 688
內蒙古.....	2 285.....	274
西藏.....	1 199.....	2 000
計.....	8 879.....	463 742

首府南京人口633千人、上海3259千人、北平811千人、漢口778千人、廣東861千人(1931年)、在支外人數は約131千人、このうち邦人は72千人で上海、青島、漢口等に多い。海外出稼即ち華僑は近年世界的不況の影響を受け減少し1933年の移出は約947萬人(僑務委員會調)、移出先はシアム、蘭領印度、馬來等が大部分である。

【政治】 1912年共和制を樹立す。同國は常に黨派争ひを重ね國內的統一を得ず且つ外國の干涉侵略からも脱しえぬ状態にある。現在は大陸蔣介石を首班とする國民黨政府が中部支那の實權を握つてゐるが、之に對し南支に於ては反蔣派たる所謂西南派(胡漢民、陳濟棠等)の拮抗對立があり、また新興勢力として中華ソヴェートの存在は少なからざる不安の種となつて居る。最近には亦北

支自治政權の獨立も行はれんとする模様である。蔣氏政權の基礎を固めるものと見られる中國憲法は一昨年漸くその草案をえて同年秋の第五次國民黨全國大會で決定の筈であつたが、西南派の反對で昨年秋迄大會は延期となつた。同法の骨子とするところは蔣介石に總統としての獨裁權を與へるもので兎角の反對はあれその實現は時日上の問題と見られる。

現在の政府構成は1928年の國民政府組織法により行政院、立法院、司法院、考試院、監察院の五院より成り、その統轄機關として國民政府委員會(首席一、委員約三十六名)を有し、首席は元首として政府を代表するが政治上の責任を負はない。行政院は內政部、外交部、財政部等合計十部と蒙藏、禁煙、賑務、僑務の各委員會より成る行政機關で、立法院は委員五十乃至百名を有し立法、豫算、大赦、宣戰、講和、條約締結等の議決を行ひ、司法院は特赦、復權事項等の權能を有し、考試院は官吏資格考査をなし、監察院は官吏懲戒審計を行ふ權限を有する。

首席 林森(1934年1月再任)

【財政】 1934年度豫算歳入773百萬弗、歳出752百萬弗主要財源は關稅366、鹽稅190、統稅(卷煙草、綿絲、棉寸等への課稅)117等で、支出は軍務費293、債務費258、財務費68、補助費44等が主となつてゐる。

【産業】 農業を基本とし地域廣大、耕地約 498 千方科を有し人口の八割前後が之に従ふが農法は零細集約的になほ自給の域を脱しない。産物は地域的に異り中南部は米、棉花、茶、繭等を主とし北部は小麥、玉蜀黍、黍等とする。米は年産約 59 百萬石で世界第一と云はれ、棉花は 1934 年 675 千石で同三位、繭も年産約 20 千石で日本に亞ぎ第二位、茶も 1933 年 43 千石(三位)の輸出を見た。家畜は豚が多く 1933 年 94 百萬頭、牛及水牛 22 百萬頭、綿羊山羊 19 百萬頭を有し畜産品は主要輸出品である。海岸線長く水産品に富み、海鹽製造も盛で 1933 年 2.5 百萬噸、

鑛産には石炭、鐵、錫、アンチモニー、タングステン鑛、滿俺等を有し、石炭の埋藏量は米國に亞ぎ世界第二といはれるが資本乏しく開發が進まぬ。32 年の産額 18.7 百萬石。鐵鑛は年産約二百萬石で大半が日本資本により採掘される。錫は年産六千石で重要輸出品。特産品のアンチモニーは世界需要の九割以上を供し 1933 年の産額 11.8 千石。工業は近代的な紡績、製粉、製鐵等のほか、セメント、燐寸、皮革、手工業的な陶磁器、製紙、織物業があるが發展は將來に残されてゐる。政府はこの立遅れを痛感し中國工業化のため五大工廠、即ち新聞紙廠、機器廠、酒精廠、硫酸廠、鋼鐵廠の實現を急いでゐる。

1934 年の紡績業の實績は次の如し。

	工場	綿絲産額	綿布産額
華人經營	92	1 617 (千俵)	9 029 (千疋)
邦人經營	41	576 ()	1 258 ()
英人經營	3	80 ()	1 840 ()

【貿易】

	1932年	同33年	同34年
*輸出	763	612	535 (百萬弗)
*輸入	1 632	1 346	1 030 ()

1934 年の主要輸出品は畜産品 78、茶 36、油脂類 32、鑛及金屬 31、皮革 29、種子 28、生絲 24、輸入品は鑛及金屬 99 棉花及綿絲 96、機械 59、化學品 42、染料及塗料 39

相手國は米國(輸出 94 輸入 272)、日本(81:127)、英國(50:125)、香港、獨逸等を主とす。日支貿易は近年萎縮状態にあるが尙わが第六位の相手國、1934 年のわが輸出 117 は百萬圓、輸入 120 百萬圓で綿布機械等を出し、棉花、採油、種子、麻類を彼より輸入す。

【金融及通貨】 中國側の主要銀行十と外國主要銀行とが紙幣を發行す。1934 年の中國側發行高 563 百萬弗。貨幣單位は 1934 年の廢兩改元令に基き國幣元(弗)を用ひ、舊來の兩とは次の比率で交換す。即ち一國元に對し上海兩は 0.715、海關兩は 0.642。尙一昨年六月の米國銀國有案は銀價の昂騰をひき起し中國より流出する銀は二億元を超え通貨危機を招いたので同年十月銀輸出税引上げを行ひ更に昨年十一月には銀を國有とし(銀保有者に法定紙

幣を興へ銀を政府に収む)、中央、中國、交通の三銀行のみに發行權を興へその紙幣を法定紙幣と認め(但し兌換停止)、爲替比率は一元=一志二片半に安定せしめると云ふ幣制改革を斷行するに至つた。

【交通及通信】 鐵道延長は1932年現在9.0千料、航空事業は中國航空公司(米國系)、歐亞航空公司(獨逸系)の手で行はれ、延距離11.9千料、1933年の旅客數は3.1千人。郵便局 13034 (34年)、電信電話も相當發達を遂げ、ラヂオ放送局は上海を中心に約七十を算ふ。

【國防】 民間廿二年の兵役法は徵兵制を規制してゐるが實際は傭兵、私兵の軍隊であり、只だ最近部分的に徵兵制を實施してゐるに過ぎぬ。正規兵數も1870千人と云はれるが、實數に至つては不明、海軍は巡洋艦3、驅逐艦2、砲艦28、河用砲艦44、其他共113隻を有す(1934年末)。

【教育】 小學校は下級科(六歳—十歳)と高等科(十歳—十二歳)とに分ち前者を義務制とする。最近の下級科176千校(生徒7.1百萬人)、高等科14千校(774千人)、中等學校も上下兩級に分ち各級共三年とす。最近校數1.8千(生徒397千人)。高等教育機關は1931年110、このうち、大學11、專門學校38。其他師範學校846。

▶新疆 1865年支那に併合され所謂外地として支那治權下にあるが、近年英、露勢力の扶植と回教族の自主的解

放運動が行はれ今日支那の實權は殆どない。省都を迪化(ウルムチ)と云ひ人口約五萬、其他主都にカシユガル(八萬)、ヤルカンド(七萬)がある。農業を主とし、河畔の豐饒地を利用し小麥、玉蜀黍、高粱等を耕作し、玉蜀黍は住民の常食、其他果實、繭を産し、家畜は綿羊及山羊、牛を主とする。金、銅、石炭、石油の埋藏もあり、家内工業的製革、紡織、製絨がかなり廣く行はれる。貿易はソ聯が九割前後を占め1932年對ソ輸出 15.7百萬留、輸入 12.3百萬留。羊毛、綿布、生絲等を出す。

▶西藏 ラマ教國で表面支那班圖内にあるが、ラマ教主が政教二つの實權を握つてゐる。政務機關を噶廈、教務機關を澤倉といひ大臣各四名をおく。1931年末親英派の教主没後、支那は親支派の教主を立て勢力復活に苦慮してゐる。主都はラサ(拉薩)で人口約二萬。農牧が主で、麥豆、果實等を産し、犏牛、羊、駱駝等を飼養する。鑛産は金多く、其他鹽、硼砂、銀、銅等もある。一般工業に毛織がある。貿易は印度、支那を主とし、羊毛、毛織物、毛皮、鹽を出し、茶、綿布、鐵器等を輸入する。

▶内蒙古 現在支那治權下にあり、察哈爾、綏遠、寧夏の三省に分る。永く省政府軍閥の干涉を受けたが近年自治の聲強くつひに1934年中央政府をして蒙古自治問題解決辦法を承認せしめ自治確立への道を得た。住民は遊牧

を主とし、農耕に従ふものは少い。

▶外蒙古は面積1526千方料、人口約540千人(1932年)。首都は庫倫(1924年以降ウラン・バートル・ホトと呼ぶ)で、人口約十萬。1921年支那より獨立、共和制を布き1924年には之をソヴェート制とし憲法を制定、蒙古國民共和國と稱した。最高權力は大フルルダン(國民會議)に屬し、この代議員は男女十八歳以上有權の普選で選出する。大會は年一回開かれ、會期外は30名が選ばれ行政委員會(小フルルダン)を組織し、更にこのうち五名が政務に當る。農牧を主とするが、金等も産出し、亦製革、煉瓦製品等の家内工業も見られる。1930年政府は社會主義建設五ヶ年計畫を決定、成果を擧げてゐる。貿易は國營でソ聯を主とし羊毛、毛皮類を出し、穀物、砂糖、石油等を輸入する。1934年の對ソ輸出45百萬留、輸入621百萬留。金融機關は國立蒙古銀行を主とし、貨幣單位はツクリク(舊米國弗の半價)。庫倫には無電局を有し、これよりウエルフネウジンスクに航空路が通ず。軍備は庫倫に置かれる三師團の赤軍を主にすと云ふ。教育は八年制義務の小學校59(1934年)、其他中學校、師範學校等がある。1935年初頭滿・蒙間に惹起されたハルハ河をめぐる國境問題はまだ解決に至らぬ。

▶中華ソヴェート 1927年南支那の海豐、陸豐、廣東に

ソ區を組織し、漸次擴大、1933年頃には江西を中心に湖南、湖北、福建、廣東、安徽、四川其他共十五省に三百七十以上のソ區を樹立し約八つの省政府を設け、中華ソヴェート共和國臨時政府が之等を統轄してゐた。1934年秋蔣介石の第六次ソ區攻撃後は中央部は江西の首都瑞金を放棄し、その中心勢力を四川、甘肅、陝西へと集中し之等と新疆を連ぬる一大赤區建設を計畫中と云ふ。中華ソヴェートの最高權力は年一回のソヴェート大會に屬し會期外は中央執行委員會の下に人民委員會が之を行使する。ソ大會は1931年第一回大會を開き劃期的な中華ソヴェート共和國臨時政府を成立せしめ、第二回大會は1934年春開かれた。ソ區の全地域は定てないが約八十萬千方料人口九千萬以上と云はれ、その赤軍は三十四萬内外を有し巧妙なる戰術を以て常に蔣氏の討伐軍を惱ましてゐたと云ふ。

▲唐努トウヴァ國民共和國 外蒙及ソ聯に境を接し、面積約162千方料、人口65千人。1911年迄蒙古の一部をなし以後露支爭奪の中心となつたが、1921年唐努の諸族代表者達は獨立を宣した。同國の最高權力が年一回の大フルルダンに屬し會期外は小フルルダンが政務に當ること大體外蒙と同じ。牧畜に適し、金、アスベストを埋藏す貿易は國營で、獸皮、羊毛を出し、鐵、完成品等を輸入

する。ソ聯經營の汽船便を有し、亦ソ聯へ電信が通ずる。

シヤム (王國)

MUANG-TAI(SAYAM)

【面積及人口】 518千方料、人口12 699千人 (1934年10月)。首府盤谷の人口493千人(1929年*)。

【政治】 1932年6月専制政治を廢し立憲君主制を樹立、憲法を制定す。翌年夏反革命騒を見たが直ちに鎮定され同年末第二期人民代表者議會が開かれた。第二期とは有權者の過半が初等教育を修得する迄の期間 (今後約十ヶ年)を云ふもので、此間の議員數は勅選民選各76名とす。

國王アナンダ Ananda (1926年生誕、1935年3月前王プ
ラジャデイボクの退位により踐祚)、
行政機關を國務院と稱し總理1、參議14—24より成り、之
より國防、大藏、外務、内務、文部、司法、宮内、産業
の各相を任ず。

【財政】 1934年度の豫算歳入歳出各74.5 (百萬銖)。主
要財源は關稅22、免許稅8.1、阿片稅7.0、資本稅6.8、重
要費目は國防費17、文部費8.4、國債費8.5である。

【産業】 農業を主とし人口の約八割が農民。主産物は
米で、國民の常食として、亦輸出品として重要性がある。
1934年度の産額5184千廳(前年度4938千廳)ほかに煙草、

椰子實、ゴム等がある。家畜は牛多く、1934年3月末の
水牛5154千頭、牛546千頭。林産に富みチーク材の輸出は
1933年度45千廳、同栽培ゴム輸出11.5千廳。

鑛産は錫鑛タングステン、石炭等を有す。錫鑛が特に著
はれ産額は大體世界四位を占め、1933年10.5千廳、1934
年10.3千廳。

【貿易】 1933年度輸出144百萬銖 (前年153)、輸入693
百萬銖(同90)。輸出は米83、錫鑛26、チーク材3を主と
し、輸入は綿製品16、麻袋4、食料品15、金屬製品7。相
手國は馬來聯邦 (輸出72 輸入21)、香港(33:11)が多く其
他日本、蘭印、英國の順とす。

【金融及通貨】 金融機關は支那、英國系の諸銀行があ
る。貨幣單位は1928年制定のバート Eaht を用ふが舊來
の銖 (Tical)も相當用ふ。^{チカル}對日平價比は1バート=0.88756
圓。

【交通及通信】 鐵道は1933年3月末 3.0千方料で尙167料
を目下敷設中。航空路はコラト、ナゴール間 620 料を有
す。1933年度の郵便局761、電信局649、無線局4で國際商
業無線電話は各國に通ず。

【國防】 陸軍は徵兵制で現役二年、第一豫備七年、第
二豫備十年、後備六年とす。1933年の現勢力は約26千人
空軍2.5千人。海軍は僅かに砲艦5、驅逐艦3、水雷艇3が

ある。

【教育】 初等教育は義務制で四ヶ年普通教育を施し、後二ヶ年職業教育を修得せしむ。1937年の校數6331 (生徒739千人)。中等教育は尋常、高等の各四年とす。大學は最近一校を増し現在二校を有す。其他師範學校25がある。

比律賓聯邦

(COMMONWEALTH OF PHILIPPINES)

【面積及人口】 面積 96千方呎、人口12 850千人(1937年末) 首府マニラ人口341千人(1937年)。

【政治】 1898年西班牙領より米領となり其後本國より派遣された總督の統治に服したが此の間獨立運動の絶えることはなかつた。米本國も最近その氣運に押され獨立案を種々畫策した結果 1934年遂にマクダファイ・タイデング案を得て之を比島に示し同島議會も之を受諾することになり多年懸案の獨立問題も一應茲に解決を見るに至つた。比島は同案受諾後七月より比島聯邦憲法起草會議を續開し、昨年二月漸く憲法草案を得て一致可決した。その内容は大陸米國憲法を模したもので政府を立法、行政、司法の三部に分ち、立法部を一院制(議員98名)としてゐる。同法は三月米國大統領の裁可を得、更に五月には比

島人民投票によつて絶對的賛成を得た。進んで九月には正副大統領及國會議員選舉が行はれ十一月十五日大統領の就任によつていよいよ比律賓聯邦獨立準備政府の出現となつた。併し獨立法案によれば比島は今後尙十年の試練を経ねば完全な獨立を得ることができない。

大統領 ケーソン Manuel Quezon(1935年11月就任)

【産業】 農業を主とし主産物は甘蔗、煙草、マニラ麻、コブラ、米、バナ、等で、1933年のコブラ産額は562千噸で世界一位、マニラ麻は同島の特産品で同年135千噸、煙草は同年42千噸、米は1932年度2105千噸で世界六位。家畜に牛約1.3百萬頭、水牛2.1百萬頭、豚3.0百萬頭がある。鑛産に金(1934年10.3噸)、銀(1933年5.3噸)がある。製糖業は同島第一の産業で1934年の甘蔗糖産額760千噸。

【貿易】 1934年の輸出が1百萬ペソ(前年212)、輸入171百萬ペソ(同149)。輸出は砂糖131、コブラ17、麻17、椰子油14等を主とし、輸入は綿布33、鐵及鐵器23、鑛油12等を主とす。相手國は米國が大部分を占め其他では日本、支那、英國等。

【金融及通貨】 國民銀行、比律賓銀行の二行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はペソで舊米國貨の50仙に相當す。

【交通及通信】 鐵道延長は約1.3千呎。自動車數は1935年初42千臺。

【軍備】 獨立法案の規定に従ひ今後十ヶ年米國の陸海軍根據地が置かれる。現在は米國軍約一萬一千のほか民兵制による比島兵六千七百を有し、米國の特別飛行隊が設けられ、海軍は廣大な軍港を有す。

【教育】 小學校は1934年度7671、綜合大學及専門學校36、其他農業、商業等の學校がある。

ブータン (王國)

BHUTAN

面積50千方料、人口約300千人。古くより英國と交渉を有し1910年漸く獨立を認められたが尙種々の保護を受く。國王をマハラジャ・ジメ・ワンチークと稱す。主産物は米、ラック、蜜蠟等で森林多く用材に富む。このほか刀劍用の良質の鋼がつくられる。

ネパール (王國)

NEPAL

面積140千方料、人口約5600千人、首府カトマンズの人口約109千人。古來英國の干涉を屢々受けたが歐洲大戰の際英國を援けた功により1922年獨立を認められた。國王は名のみで實權は凡て世襲宰相が握つてゐる。南部は密林地帯で良材に富む。貿易は多く印度と行はれ、牛、

獸皮、阿片等を出し、輸入は鹽、砂糖、金屬品、綿毛品を主とす。鐵道約40料がある。

アフガニスタン (王國)

AFGHANISTAN

【面積及人口】 面積 731千方料、人口約12百萬。首府カブール人口140千人、カンダハル60千人。

【政治及財政】 1932年の新憲法に基き上下兩院を設け上院は勅選終身の定員40、下院は120名の民選とす。兩院の外に大議會を有し大體四年に一回開會し重要議事を決す。内閣は六相より成る。1934年國際聯盟に加入す。

國王 モハメツド・ザヒル・シャー Mohammed Zahir Shah。歳入は大體 150萬アフガニ留比と見積られ關稅を主要財源とする。

【産業及貿易】 山國のため山間沃地を利用し穀果等を産す。果實は甚だ豊富で、羊毛、獸皮と共に主要輸出品。銅、鉛、鐵等を産し、首都には小規模ながら鑄造、製革等が行はる。貿易は印度を主とし、果實、羊毛、獸皮等を出し、綿布、砂糖、鐵器等を輸入する。

【金融及通貨】 アフガニスタン銀行がある。貨幣單位はアフガニ留比で、印度留比1に對し3.70の割である。

【交通及通信】 交通機關は駱駝等を主とし僅かに主要

地間に自動車便がある。首都には無電局を有し印度及西歐諸國に通ず。

【國防】陸軍常備兵は志願制の約2千人を有し僅少の空軍(兵員四百)も設く。戦時には多數部落民が不正規兵として参加す。

【教育】初等及中等教育を無月謝とし小學校27、中學校4、師範學校1を有す。カブール大學1のほか、商業、美術、醫學の専門學校がある。

イラン (ペルシア) (王國)

IRAN

【面積及人口】面積1647千方料、人口約9000千人。首府テヘラン人口360千人、タブリーズ220千人(1933年)。

【政治】1906年立憲君主制を制定、議會を設け上院を60名(半数勅選)、下院を男子普選による136名とす。

國王 リザ・カン・パーレヴィ Riza Khan Pahlevi
内閣は首相の下に十相を以て組織す。1935年3月國號をイランと改稱す。

【財政】1934年度の豫算歳入621.4百萬リアル、歳出621.3百萬リアル。主要財源は砂糖及茶の專賣益金、關稅等のほか、英波石油會社よりの納付金とす。

【産業】農業を主とし小麥(1932年度1384千廳)、棉花

煙草、米、葡萄、阿片等を主産し、その他羊毛も産す。礦産に鐵、石炭、銅、鉛等があるが開發進まず石油を第一とする。石油産額は近年大體世界五位を保ち1933年7.2百萬廳、1934年6.9百萬廳。但し採取權は大部分英波石油會社が握り政府は同社より納付金を得るに過ぎぬ(近年之を繞り兩者間に争を生じ、その結果納付金は同社純收の16%より20%に増率を見た)。主要工産品は手織のペルシア絨氈。

【貿易】1933年度の輸出1819百萬リアル、輸入606百萬リアル。輸出は礦油1357、絨氈141、果實39、棉花79を主とし、輸入は綿織物137、砂糖53、車輛62、機械器具38等。相手國は英國(輸出603:63)、ソ聯邦(105:145)、エチプト(224:3)、佛國、英印、獨逸を主とす。同國は1911年より貿易の輸出入許可制をとつてゐる。

【金融及通信】紙幣發行權は政府にある。貨幣單位は金リアルとなつてゐるが1932年以降實施方を中止し、實際は銀リアルを用ふ。之と等價の舊クランも僅少用ふ。

【交通及通信】鐵道延長は1933年690料。郵便局253、電信局232、無電局7(1932年度)を有す。

【國防】陸軍は徵兵制に基く兵員32千人の外、約71千人の憲兵、地方守備兵等を有す(1934年)。空軍は80機を備へ、海軍は砲艦2、巡邏船1あるのみ。

【教育】 宗教教育が漸次衰へ、近代的教育が普及化してゐる。1932年の各種の學校數約三千六百、生徒十八萬外に外國系教會學校がある。

イラク (メソポタミヤ) (王國)

IRAQ

面積302千方料、人口2857千人(1932年*)。首府バクダツド300千人(1930年)。1921年形式上王國として獨立したが、英國委任統治下に置かれ、1932年5月漸く完全に獨立し、同時に國際聯盟に加入した。議會は1924年制定の憲法に従ひ組織され、上院20名、下院88名を有す。1933年度の歳出入約36百萬ダイナール。

産物は小麦、小麥、棉花、棗で、棗は國民の常食品、羊毛は主要輸出品。石油の埋藏豊富と云はれ近年英・佛・米・蘭合辦のイラク石油會社によつて採掘が行はれ、1933年の産額115千噸、1934年340千噸。貿易は1933年度輸出2.9(百萬ダイナル)、輸入6.0。輸出は麥類、棗、羊毛等を主とし、輸入は綿製品、金屬及鑛、砂糖等。貨幣單位はダイナル(Iraqi dinar)で英貨1磅と等價。

鐵道1.2千方料(1932年)。陸軍は常備員約12千を有し1934年以降徵兵制による。小學校458、生徒53千人、中學校6等を有す(1933年度)。

トルコ (共和國)

TÜRKIYE CÜMHURİYETİ

【面積及人口】 面積763千方料、人口15020千人(以洲部分24千方料1150千人)(1933年)、首府アンゴラ84千人(1934年)、イスタンブール691千人。

【政治】 1922年帝制派(コンスタンチノーブル政府)はケマル・パシヤ派のアンゴラ政府により倒され翌年共和制が布かる。議會は1925年の新憲法に基き383名よりなり任期四年とす。大統領も任期四年。

大統領 ケマル Kemal Atatürk (1923年以降重任) Atatürk はトルコの父を意味する姓で1934年の法律によつて稱へらる。内閣は首相以下十一相を以て組織す。

【財政】 1934年度の豫算歳入出約184百萬トルコ磅。主要財源は間接税68、直接税36、專賣益金34等で支出は國債費45、國防費36、土木費1等を主とす。

【産業】 農業を主とし人口の約八割が農民。主産物は小麦、煙草、オリヴ油、果實(無花果、乾葡萄)、棉花、生絲、阿片等。

1934年の小麦産額2410千噸、同煙草40千噸、1933年オリヴ油20千噸。家畜は羊類多く1934年羊10.7(百萬頭)、山羊6.4、モヘア山羊1.6、牛5.3等を算す。漁業も相當行は

る。鑛産はクローム鑛、石炭、銀、鉛、滿俺等。クロームは世界一、二の産額で1934年135千噸。工業は所謂五ヶ年計畫の下に織布即ち綿布、絨氈製造に主力が注がれてゐる。

【貿易】 1933年輸出102百萬トルコ磅、(前年101)、輸入73百萬トルコ磅(同'6)。1932年の輸出は煙草27、乾葡萄11、鶏卵3、榛實7を主とし、輸入は綿製品16、鐵器類10、機械等。相手國は獨逸(輸出14 輸入20)、伊國(16:11)、英國(10:11)、佛國、米國等。

【金融及通貨】 トルコ中央銀行が發行權を有す。貨幣單位はトルコ磅で對日平價比は8.82024圓。對外相場は近年低落し1930年以降爲替管理を實施してゐるが回復を見ぬ。

【交通及通信】 鐵道延長9.6千軒(1932年)。航空路はイスタンブル、アソゴラ間及歐洲諸國間に通ず。

【國防】 陸軍は徴兵制により二十一歳より四十七歳迄服役義務を有す。現役は兵科により一年半乃至二年とす。1934年の現勢力は約十萬、空軍は370機を有す。海軍は巡洋艦3、砲艦3、驅逐艦7、潜水艦4。

【教育】 初等教育は七歳より十六歳迄を義務制とするが學校以外でも行ふを得。1932年度の小學校6733、生徒568千人。中學校109、女學校62、職業學校39、大學1、

高等及専門校11。

アラビア諸國

ARABIA

面積26百萬方軒、人口七百萬。現在次の諸國があるが未だ十分國家的形態を具へず實質上は英國の保護地と見てよいが、サウヂ・アラビア王國、エーメン王國などは最近その獨立の色彩が漸次濃くなりつゝある。

▶ネジド及ヘチヤス王國は1925年ネジド國がヘチヤス國を攻略合併して成立したもので、1932年にはサウヂ・アラビア王國と改稱した。人口はネジド部分約三百萬、ヘチヤス部分約二百萬。首都メツカはマホメット教主生誕の地で人口13萬、メチナはその墳墓の地で聖地巡禮者が年々此地に齎らす金額は多額に上る。棗、棗類、羊毛を産す。貿易は馬、駱駝、棗、獸皮等を出し、綿布、茶、砂糖等を輸入する。交通機關は自動車をもととし、鐵道はマーン、メチナ間の外、最近メツカへの延長が計劃されてゐる。通貨はリヤル貨。

▶エーメン王國は人口約2.5百萬で首都サナは人口二萬。同國はアラビア地方の最沃地にて穀類のほか良質のモカ珈琲を産す。

▶オーマン王國は人口50萬で首都ムスカットは人口四

千。棗を産し優良な駱駝を飼育する。貿易は1932-33年輸出20百萬留比、輸入35百萬留比で印度を主要相手國とす。通貨はマリアテレサ弗及印度留比貨。

▶コーワイト王國は人口五萬で、首都コーワイトは人口25千人。棗、羊毛を産す。

▶ハド라마ウトは英國の監督下にあるサルタン國。

大英帝國

BRITISH COMMONWEALTH OF NATIONS

【面積及人口】

	千方軒	千人
英本國(附屬島共).....	243.....	46 208
印度.....	4 676.....	352 837
自治領、植民地及保護領...	29 425.....	80 721
歐洲.....	69.....	8 244
亞細亞.....	588.....	11 916
阿弗利加.....	5 481.....	43 903
濠洲及南洋.....	8 022.....	8 589
亞米利加.....	10 258.....	13 080
南極.....	5 000.....	0.5
計.....	34 432.....	479 766
英埃スタン.....	2 610.....	5 688
委任統治區域.....	1 387.....	7 874

大英帝國の構成は1926年11月大英帝國會議の決議に基き英本國(北部愛蘭、直轄植民地及保護地)、印度、加奈陀、濠洲、新西蘭、南阿、愛蘭自由國の七邦よりなる。各邦は同等の地位に立ち、物的連合をなし、英國王は各邦の

元首とす。各邦政府首腦者よりなる大英帝國會議は每二年又は五年に召集され重要政務を議す。議長は英本國首相。各邦は他邦の異議なき限り單獨に元首により外國と條約を締結し得。國防は英本國の指導に従ひ、各邦は分擔の義務を持つ。

國王 チョーチ五世 George V (1910年即位)

英本國 (大ブリテン及北アイ ルランド聯合王國)

UNITED KINGDOM OF GREAT BRITAIN
AND NORTHERN IRELAND

【面積及人口】

	千方軒	千人
大ブリテン { イングランド..... 132 } ...	40	467(1934年)
{ ウェルス..... 19 } ...		
{ スコットランド..... 77 } ...	4	936()
マン島.....	0.6.....	49(1931年)
海峽諸島.....	0.2.....	93()
北アイルランド.....	14.....	1 230(1934年)
計.....	243.....	46 825

1931年のイングランド人口 37794 千人、同ウェルス人口 2158千人。主要都市は首府ロンドン人口4397(千人)、グラスゴ1088千人、バーミンガム1002千人、リヴァプール 856 千人、マンチエスタ 766 千人(1931年*)。1934年の移出民は187千人で出先は印度、北南米、濠洲を主とする。

【政治】 成文憲法なく諸種の法律及習慣(コンベンシ

ジョン)に建國の基礎をおく。上院は皇族、大僧正及僧正26、貴族全部、蘇格蘭貴族16、愛蘭貴族16、最高法院判事5、合計定員740名よりなる(但し未成年貴族約20は票決權なし)。下院は議員615名(定員)よりなり任期五年、男女普通選挙、二十一歳以上有權)による。上院の權限は甚だ制限され下院可決の豫算は上院を通過せずとも效力を有し、亦、下院にて三會期連續可決せる法律は上院の否決あるも勅裁を経て效力を生ず。内閣は首相、國爾尙書、樞密院議長、大法官、大蔵、内務、外務、自治領、植民地、陸軍、印度、航空、海軍、商務、保健、農務、蘇格蘭、文部、労働、土木の各相を以て組織する。

地方政治。英蘭及威斯は62郡(カウンティ)(倫敦は一つのカウンティ)と43市域(カウンティ・ポロー)に分れ郡の下に町村(デストリクト)がある。蘇格蘭は12郡に分れその下に教區(パリツシユ)があり、此等各區は夫々自治體をなす。マン島は總督をおき議會及執行委員會をもつ。海峡諸島(ジャージイ島、ゲルンンジイ島)は本國とは別に自治體をなし議會を有す。

【財政】 1935年度の豫算歳入 826 百萬磅、歳出 821 百萬磅。主要収入は所得税 237、關稅 188、消費稅 108等で支出は國債費 261、軍事費 124、行政費 436等を主とす。國債額は1934年3月末 3034 百萬磅。

【産業】 工業國で農業の意義は甚だ少ない。之は同國總人口の約五割が工業人口なるに農業人口は僅に約六分なのによつても察知しうる。事實同國は夙に食料輸入國として有名である。主要農産物として小麥(1934年189・9千噸)、燕麥(2068千噸)、大麥(833千噸)、馬鈴薯、547・5千噸)等があり、家畜は綿羊が多く1934年 24・2百萬頭を算し羊毛産額は同年52千噸で世界八位、牛は同年8・0百萬頭、豚 3・5 百萬頭を有するが肉類も不足を告げ多く輸入する。海國のた水産業は甚だ活潑で産額は大體世界四位1934年の漁獲高16百萬磅、鑛業は工業に亞ぐ重要産業で石炭を第一とし其他鐵鑛、火成岩、石灰岩等を産し石炭産額は大體世界二位を占め産額の約七割近くが年々輸出される。鐵鑛は世界四位に當る。

工業の主なものは機械製造、製鐵、造船等の重工業と傳統を誇る纖維工業等で製鐵では鉄鋼産額とも何れも世界四五位を占め、造船は正に世界一、自動車製造高は米國に次ぎ世界二位、たゞ紡績錠數は世界一位にありながらその棉花消費量は米、日に亞き世界三位となつてゐる。最近産額は次の通り(單位千噸、自動車は千臺)。

	1933年	1934年	1933年	1934年
石炭	21 044	22 450	鋼鐵	7 137
鐵鑛	7 581	...	人絹	38.1
銑鐵	4 202	6 074	自動車	296
				351

1934年中の造船・船は173隻、461千噸。1934年7月紡績總數16百萬鐘、1933年度の棉花消費504千噸。

貿易]

	1932年	1933年	1934年
*輸出……	365.0	367.9	396.1 (百萬磅)
*輸入……	701.7	675.0	732.3 ()

1934年の輸出は綿糸及綿布59、鐵及鋼35、機械33、石炭32、毛絲及毛織物29を主とし、輸入は肉類2、穀類小麥粉54、用材40、羊毛38、棉花36、油脂類3等。相手國は米國(輸出8輸入82)、印度(37:42)、濠洲(26:50)、カナダ(20:50)、亞爾然丁、新西蘭等を主とす。

日英貿易は最近やゝ増加傾向にあり1934年わが輸出109百萬圓、輸入70百萬圓で第八位の相手國。鹽精、生絲等を我より出し、機械、鐵等を輸入する。

【金融及通貨】 英蘭銀行が發行權を有す。1934年末の紙幣發行高は4.2百萬磅。貨幣單位は磅(£)で、1磅を20志に、1志を12片に分つ。磅の對日平價比は9.76318圓。1931年9月金本位を離脱後は磅の對外相場は漸落し、最近は金比で平價より約40%減。

【交通及通信】 鐵道營業料は1933年末32.4千料。自動車數は1935年首1614千臺で米國に次ぎ世界二位 航空路は34千料(1934年)。船舶(百噸以上)は1935年6月7349隻17400千噸で世界一。ラヂオ聴取者6.8百萬人で世界二位

(1934年末)。

【國防】 陸軍は正規軍、國防義勇軍、豫備軍よりなり正規及義勇軍は志願制により、豫備軍は正規軍修了者を以てなる。義勇軍は最近専ら本國海岸線の守備に當る。1935年度の正規軍は内外合せて(但し印度を除く)152千人、義勇軍は130千人(35年首) 海軍は1934年末戦闘艦12、戦闘巡洋艦3、巡洋艦50、航空母艦7、驅逐艦161、潜水艦51を有す。空軍は航空隊百六を有し内、本國に54をおく。

【教育】 初等教育は義務制で1933年度の幼稚園及小學校24.7千、生徒5.7百萬。中等諸學校2.3千、生徒724千人、綜合大學は16で學生34千人、牛津、劍橋の兩大學は創立古く、倫敦大學は規模最も大である。

北愛爾

首府ベルファスト人口415千人(1926年*)。1920年の愛爾自治條令に基き本國より分離し總督政治を行ふ。議會は上院26名、下院52名とし、英本國下院へ毎年13名の代表を送る。總督の下に七相をおく。

農業を主とし燕麥、馬鈴薯、亞麻、蕪菁を産す。家畜は1934年6月牛698千頭、緬羊474千頭。鐵産には火成岩、チヨーク等があり、工業は製麻、造船を主とし、麻綱、煙草、石炭製造が行はる。鐵道延長約1.2千料。學校は小學



校約1.8千、中學校73、大學1等がある。

英本國直轄植民地及保護地

歐洲部分

▶ジブラルタル 面積5方料、人口15千人(1934年但しを軍人を除く)。1713年の領有。現在英海軍の重要な根據地である。

▶マルタ マルタ島及附屬諸島より成り面積316方料、人口252千人(1932年)。1814年の領有で現在地中海艦隊の根據地。農牧を行ふ。1933年の*輸出341千磅、*輸入3482千磅。

亞細亞部分

▶キプロス 地中海トルコ附近の小島で面積9.3千方料、人口358千人(1933年)。1878年の領有。農牧を主とし鑛産(鐵鑛、石綿)もある。1933年の輸出890千磅、輸入1257千磅。

▶アデン アラビア西南端の小地點でペリム島をあはせ面積194方料、人口51千人(1933年)。印度總督の管轄に屬す。産物は鹽、珈琲、煙草等。1933年度の貿易は輸出35百萬留比、輸入53百萬留比。アデン周圍の面積109千

方料の地(ハドラマウトの一部を含む)はアデン保護地にて、近海のソコトラ島、クリアムリア島と共にアデンの行政下に屬す。

▶セイロン島 66千方料、人口5463千人(1933年)。首府コロμπο284千人(1931年*)。1796年の領有。總督の統治の下に議會及行政委員會がある。

産物は茶を第一とし、ゴム、コブラ、椰子油、米等がある。茶の産額は大體世界二位で大部分を輸出す(1934年99千噸)。ゴムは1934年産額80千噸、同コブラ260千噸で共に世界三位で之等も多く輸出す。家畜は牛(1933年1.6百萬頭)を主とす。貿易は1934年の輸出17.6百萬磅、輸入14.5百萬磅。鐵道1.5千方料(33年末)。

近海のマルディヴ諸島(人口79千人1931年)はセイロンの屬島でサルタンが治め。椰子油を産す。

▶英領マラヤ、英領馬來 はつぎの海峽植民地、馬來聯邦、馬來非聯邦諸州の總稱である。

○海峽植民地は新嘉坡島(コス島、クリスマス島共)、彼南、マラツカ等より成り總面積4.1千方料、人口1059千人(1934年6月)。首都は新嘉坡で人口433千人(1932年)。總督統治の下に議會、行政委員會がある。總督はこのほか馬來聯邦、ブルネイの統監、及び北ボルネオ、サラワクの英國代理者を兼任す。

産物はゴムを始めコブラ、米、錫等がある。ゴムは産額世界一位で1933年416千噸、多くを輸出する。貿易は1933年輸出43.6百萬磅、輸入40.9百萬磅でゴム、錫、コブラ等を出す。海植對日本の貿易は1934年輸出入各約63百萬圓でわが相手國中第十位、わが輸出は衣料類が大部分を占め、彼より生ゴム、錫を多く輸入す。貨幣單位は海峽植民地弗で1弗は英貨2先令に當り、對日平價比は1.1390圓、現在の對外相場は低落してゐる。

○馬來聯邦は四州よりなり總面積72千方料、人口1632千人(1934年6月)。各州は大體サルタンの統治に屬すが、各州全體の事項は統監支配の聯邦議會によつて決す。主産物は錫、ゴム、コブラとし、其他用材に富む。錫は産額世界一位を保ち、その殆ど全部を輸出す(1933年22.8千噸、32年27.1千噸)。ゴムの輸出は同年248千噸、貿易は1933年*輸出13.1百萬磅(ゴム6.7、錫及同礦4.4)、輸入67.8百萬磅。貨幣單位は植民地弗を用ふ。

○馬來非聯邦諸州はジョホール、ケダ、ペルリス、ケランタン、トレンガヌの五州より成り總面積60千方料人口1560千人(1933年)。各州ともサルタンの支配に屬し何れも英人の顧問をおく。主産物は各州とも大體ゴム、米、錫、鐵等とす。貿易はジョホール州を主としゴムが主出品。

▶英領ボルネオ ボルネオ島北部の次の英領地、

○英領北ボルネオ 面積76千方料、人口275千人(1933年)。1887年以降ボルネオ會社の管理に屬し、主産物は木材を始め、ゴム、米、煙草等。1933年の輸出747千磅(木材267、ゴム178)、輸入438千磅。

○ブルネイ 面積10千方料、人口33千人(1933年)。1888年以降の英國保護地でサルタンが支配す。主産物はゴム、カツチ(マングローブ越幾斯)、米、原油等。1933年の輸出255千磅、(ゴム28、カツチ14)、輸入281千磅。

○サラワク 面積109千方料、人口約600千人。1888年以降の英國保護地、主産物は原油、ゴム、胡椒、金、石炭等。1933年の輸出14.3百萬海植弗(原油4.3、ゴム2.2)、輸入11.3百萬海植弗。

▶香港 廣東灣外の小島、九龍半島及附近の租借地を含む1.0千方料の英國植民地、1933年の人口は923千人、ヴィクトリア市(ピーク共)人口364千人(1932年)、總督が統治す。産業は精糖、造船、麻網、煙草製造及び錫精鍊を主とし水産にも富む、南支交易上の中樞をなし貿易は仲繼貿易を主とし活潑である。1934年の*輸出453百萬弗、輸入494百萬弗、輸出入とも食料品、織物等を主とす。相手國は支那、印度支那、シアム、米國、英國、日本等。貨幣單位は香港弗銀でメキシコ弗と略等價。對日相場

は最近約 1圓15錢、

香港は英國支那艦隊の根據地で僅少の陸、空軍もある。

阿弗利加部分

▶英領西阿弗利加 次の諸地の總稱。

○ニジェリヤ 面積979千方料、人口19350千人(1933年)。首都ラゴス人口126千人(1931年*)。總督が統治す。主産物はパーム油、カ、オ、錫鑛等でパーム油は世界の産額(1934年248千噸)を有し大部分を輸出す。カ、オ産額は大體世界三位で多く輸出す(1933年69千噸)。貿易は1933年の輸出9.1百萬磅(パーム油 1.4、パーム實1.9、カ、オ1.1)、輸入6.6百萬磅。

○ガンビヤ 面積10千方料、人口208千人(1933年)。主産物は落花生、パーム油等、1933年の輸出 512千磅、輸入607千磅。

○黄金海岸 面積204千方料、人口3045千人(1933年) 1871年の領有地で主産物はカ、オ、金、金剛石、滿俺、^{キヤ}パーム等。カ、オは産額世界第一で1934年250千噸、多量に輸出す。1934年の*輸出8.1百萬磅(カ、オ 4.0、金2.4) 輸入64.8百萬磅。

○シエラ・レオネ 面積72千方料、人口 1800千人(1933年)。主産物はパーム及同油。1933年の輸出784千磅、輸

入 826千磅。

○セント・ヘレナ島 面積0.1千方料、人口4千人(1923年)主産物は亞麻及同製品。近毎のアセンション島はセ島に屬し、兩者とも海底電線の中繼地、

▶バストランド ベチエアナランド、スワジランドは南阿聯邦を参照あれ。

▶南ローデシア 面積380千方料、人口1220千人(1933年)、總督が統治す。農牧に適し玉蜀黍、煙草等を産し、牛多し(1933年 2.7百萬頭)。鑛産に金、石綿、^{アスベスト}クローム鑛等を有し金は世界四、五位(1934年21.6噸)、石綿は同二位(同年29噸)クローム鑛は同四、五位(同年61噸)。貿易は1933年の輸出4.6百萬磅、輸入4.6百萬磅。

▶北ローデシヤ 面積746千方料、人口1382千人(1933年)、總督が統治す。農牧を行ふが、むしろ鑛産が重要で銅、金、ヴァチヂウム等を主産す。銅は 1934年 140千噸で世界四位、1933年の輸出3.7百萬磅(銅3.1)、輸入 2.0百萬磅。

▶ヌヤサランド 北ロデシアの東隣で面積103千方料、人口1611千人(1933年)。1889年の領有で主産物は煙草、棉花、珈琲等、1933年の輸出535千磅、輸入629千磅。

▶英領東阿弗利加 次の諸地を總稱す。

○ケニヤ 面積583千方料、人口3085千人(1933年)。18

95年の領有で、主産物は珈琲、棉花、玉蜀黍等。貿易はウガンダを含め1933年の輸出5.7百萬磅、輸入4.7百萬磅。

○ウガンダ 面積244千方料、人口3620千人(1933年)。英國の保護地で産物は棉花を主とし珈琲、砂糖等がある。貿易は1933年の輸出3.5百萬磅(棉花2.7)、輸入1.3百萬磅。ケニヤ及ウガンダは關稅同盟を結ぶ。

○ザンジバル 面積2.6千方料、人口237千人(1933年)英國の保護地で丁字(香料の原料)を始めコブラ等を産す。1933年の輸出861千磅、輸入841千磅。

▶英領ソマリランド 面積176千方料、人口約350千人、英國の保護地でゴム、獸皮、ギー等を主産す。1933年の輸出193千磅、輸入324千磅。

▶モーリシアス島 面積2千方料、人口401千人(1933年)。1814年の領有で主産物は甘蔗糖。貿易は1933年の輸出2.1百萬磅(砂糖2.0)、輸入1.9百萬磅。

▶セーシェル諸島 面積0.4千方料、人口29千人(1933年)。主産物はコブラ、柱皮。1933年の輸出904千留比、輸入835千留比。15留比は英貨 磅に當る。

大洋州部分

▶フィジー諸島 ヴイチレヴ、ヴアヌアレヴ等多数の小島よりなり總面積19千方料、人口193千人(1933年)。

主産物は甘蔗糖、コブラ、バナナ、米等。1933年の輸出1.7百萬磅(砂糖1.2、輸入1.1百萬磅)。

▶英領南洋諸島 大平洋に散在する次の諸島を謂ふ。トンガ島は面積1千方料、人口約30千人でコブラを主産す。ソロモン諸島は面積28千方料、人口約95千人で椰子實を主産す。ギルバート及エリス諸島は總面積約1千方料、人口約34千人でこの内の大洋島は燐礦産地、上記の外にピットケアン島、フェニックス諸島等がある。

▶ニューヘブライズ諸島は英佛共同統治地、61頁参照)

亞米利加部分

▶ベルムダ諸島 面積4千方料、人口約29千人、紐育の東南に位し避寒地として米人の遊客が多い。ベルムダ島は海軍根據地 1933年の輸出0.1百萬磅、輸入1.4百萬磅。

▶英領西印度 カリブ海に散在する次の諸島、

○バハマ諸島 面積1千方料、人口63千人(1933年)。主産物は海綿、トマト、シザル麻等、1933年の輸出160千磅、輸入930千磅。

○ジャマイカ島 面積11.5千方料、人口1090千人(1933年)。主産物は甘蔗糖、バナナ、珈琲等。1933年度の輸出28百萬磅、輸入3.3百萬磅。近海のカイマン、ペドロス、タークス等の諸島はジャ島の管轄に屬す。

○リーワード諸島 ドミニカ島及其他を含み面積1.9千方料、人口133千人(1933年)。主産物は甘蔗糖、棉花、石灰等。1932年度の輸出559千磅、輸入479千磅。

○ウインドワード諸島 面積1.5千方料、人口197千人(1933年)。カ、オ、砂糖、棉花を産す。

○トリニダード島及トバゴ島 面積5.1千方料。人口は426千人(1933年)。主産物は甘蔗糖、原油、アスファルト等。1933年の輸出4.6百萬磅、輸入4.0百萬磅。

○バルバドス島 面積0.4千方料、人口180千人(1933年)。主産物は甘蔗糖、棉花等。1933年度の輸出1.4百萬圓、輸入1.7百萬磅。

▶英領ホンチユラス 面積22千方料、人口54千人(1933年)。主産物は蘇方木、マホガニ等の用材、バナ、。1933年の年輸出1.0百萬磅、輸入1.7百萬磅。

▶英領ギアナ 面積232千方料、人口321千人(1933年)。首都ジョチタウン人口64千人。主産物は金、金剛石、甘蔗糖、米等。1933年の輸出2.1百萬磅、輸入1.8百萬磅。

▶フオクランド諸島 南米の南端附近に位し面積15千方料、人口2.4千人(1933年)。飼羊及鯨油製造を主とす。

英埃スダン

面積3611千方料 人口約5729千人。1889年の協約に基

く英埃共同統治地で、埃及王が英國の承認を得て任命せる總督が統治す。主産物は棉花、アラビアゴム、胡麻、金、鹽等でアラビアゴムは世界需要の大部を供給す。家畜に緬羊2.3(百萬頭)、山羊2.0、牛1.3がある。貿易は1934年の輸出3.8百萬埃及磅、輸入3.9百萬同磅で棉花、ゴムを主出し相手國は英國を第一に埃及、日本、印度等とす。鐵道約3.2千方料を有す。

英國委任統治區域

▶パレスタイン 面積26千方料、人口1171千人(1934年6月)。1923年以降の英國委任統治地で英國の統監が之を治むが別に猶太人に對して宗教的自治機關組織の自由を認む。首都イエルサレム(1933年の人口91千人)は聖地として著名。主産物は果實、煙草等。貿易は1934年の輸出3.2百萬磅、輸入15.2百萬磅。貨幣單位はパレスチナ磅(英國磅と等價)。

▶トランスヨルダン(ケラーク) 面積42千方料、人口約300千人。1923年以降の委任統治地だが英國は同地に自治を行はしめてゐる。産物は燐礦、加里鹽。

▶英領トーゴランド 面積34千方料、人口318千人(1933年)。1920年の英佛宣言に基き舊獨領を分割せるもの。産物はパーム油、カ、オ。

▶英領カメルーン 面積89千方料、人口781千人(1933年)、主産物はパーム油、カ、オ、ゴム等。

▶タンガニイカ 面積942千方料、人口5039千人(1933年)。總督の下に行政委員會を有す、主産物はシザル麻、棉花、珈琲、金剛石等で、用材にも富む。家畜多く牛5.5百萬頭、緬羊2.2、山羊3.3(1933年)、貿易は1933年の輸出2.7百萬磅、輸入1.9百萬磅。

▶ナウル島 面積21千方料、人口2.7千人(1933年)。濠洲北東の海上に位し、英本國、濠洲、新西蘭が五年毎に交代で統治す。主産物は燐礦石。

印度 (帝國)

HIND (INDIAN EMPIRE)

【面積及人口】 面積4676千方料、人口352.8百萬人(1931年*)。この内印度直轄地は3427千方料、人口289.5百萬人で他は王侯領。直轄地は十五州(十一州は知事、他は長官の統治)に分れ、王侯領は大小併せ約六百八十に及ぶ。主要都は首府デリー447千人、カルカッタ1486千人、ボンベイ1161千人、マドラス647千人(1931年*)。

【政治】 最初東印度會社の經營に屬したが其後英直轄植民地に直り1876年以降は英國王を推戴し印度帝國と稱號する。現地は總督の統治下に屬すが監督權は本國の印

度大臣に屬し印度委員會が之を補佐する。

總督の下に議會及び印度總督執行會議 行政部 を設く。議會は參議院60名、立法議會145名よりなる。直轄州は州知事及州委員會の合議政治を行ひ、王侯領は王侯或はサルタンの支配に屬したる直轄政廳より派遣の代理者が監督に當る。

以上が現行印度統治法の概要だが、同法は近年昂まり來つた印度國民の自治要求に餘りに懸隔せるものがあり、之に代る修正法が1927年以降數次の所謂圓卓會議を経て審議され來り1934年末漸く草案の發表を見、昨年七月末英國兩院を通過した。その骨子とする所は從來の「中央集權制を廢し自治州より成る聯邦制を採り」印度に新に二州を設け、印度十一州は聯邦加入を希望する諸王侯領と共に印度聯邦を組織す」と云ふにあり印度自治化への一步前進を示すものである。

【財政】 1934年度中央財政の歳入11197百萬留比、歳出1196百萬留比。主要財源は關稅478、所得稅173、鹽稅87、鐵道純收326等で支出は國防費406、國債費133、鐵道費326を主とす。

【産業】 世界的農業國で農産物の豐庫の觀がある。主産物は下記の如くて、棉花の世界二位、小麥の同三位を以て他は産額何れも世界一位を占め米以外は多量に輸

出される。最近産額は次の通り(単位千噸)。

	1933年	1934年		1933年	1934年
米	47 084	45 509	茶	1 740	...
小麥	9 591	9 508	黃麻	1 454	1 445
甘蔗糖	2 970	3 100	菜種	1 063	967
棉花	920	872	落花生	3 383	1 899

家畜數も世界屈指で1930年度の牛121.5百萬頭、水牛31.4百萬頭、緬羊25.3百萬頭、山羊35.7百萬頭。鑛産も比較的豊富で石炭を始め、原油、金、鉛、鐵等がある。工業は農業に亞ぎ重要で、綿紡織が最も發達し其他製糖、製麻、製茶工業等がある。紡績錘數は約9.6百萬錘、1933年度の棉花消費量は557千噸で日本に亞ぎ世界三位、

【貿易】

	1932年	同33年	同34年
輸出	1 361	1 441	1 480(百萬留比)
輸入	1 350	1 160	1 264()

1934年の主要輸出品は棉花331、茶204、麻袋類206、黃麻102、米86、採油種子96等で輸入は綿布58、船車63、鐵製品50、器械類45等を主とす。相手國は英本國(輸出481:輸入512)、日本(217:197)、獨逸(76:97)、米國(124:85)等を主とす。

印度は米國に次ぐ實に第二位のわが貿易相手國で取引も近年著増してゐる。1934年のわが輸出は258百萬圓、輸入291百萬圓で、我より綿布、人絹布、絹布等を出し、輸入

は棉花が大部分を占む。

【金融及通貨印】 印度帝國銀行が發行權を有す。貨幣單位は留比(銀)で英貨一志六片と等價。一留比は十六安に分れ、十萬留比をラク(lakh)と云ふ單位で呼ぶ。留比の對日平價比は0.7322圓。

【交通及通信】 鐵道延長約68.7千料を有し1933年度の旅客490百萬入。1934年3月末郵便局23.7千局。電信局13.2千局。無線電信局27がある。

【國防】 陸軍は印度軍、駐印英國正規軍、印度義勇軍補充軍、印度豫備軍、印度自治邦軍によつて構成される1934年の印度軍166千人、正規軍57千人、其他約126千人。空軍は六航空隊を有し、海軍は印度艦隊を有す。

【教育】 教育機關には政府認定の新式制度のものと舊式な塾制のものがある。1932年度の前者に屬するもの小學校166.5千校、中等學校12.6千校、大學16で其他專門諸學校、特殊學校がある。後者に屬すもの30.8千校。

▶バーレン諸島 ペルシア灣内に位し面積0.6千方料、人口約120千人。印度代理者の監督下に隊長が支配す。主産物は棉花、石油、眞珠等。

愛蘭(自由國)

SAORSTAT EIREANN

【面積及人口】面積68.9千方料、人口2993千人(1934年)、首府大ダブリン人口450千人(1930年)。1933年の海外移出民は903人。

【政治】1921年自治領として本國より離れ翌年憲法を制定す。總督の下に議會、行政委員會を設け、議會は上院60名、下院153名(二十一歳以上有權の普選よりなる。行政委員會は下院より選出の大統領とも十二名よりなり之より大臣八名を選任す。

【財政】1934年度の豫算歳入出28.2百萬磅。主要財源は關稅8.9、消費稅5.6、所得稅4.4等で、支出は農業費6.5、教育費4.8、年金3.5、國債費2.3等を主とす。

【産業】農牧を主とし主産物は馬鈴薯(1934年2585千噸)燕麥、大麥、蕪菁、乾草等で家畜は牛、緬羊が多い、1932年6月現在の牛41百萬頭、緬羊3.4百萬頭、家禽は22.5百萬羽、水産にも富み1934年漁獲高15萬磅。製造工業は醸造、製粉、バター、チーズ、煉乳製造、煙草製造等を主とす。

【貿易】1934年*輸出18.3百萬磅(前年18.1)、*輸入39.1百萬磅(同35.8)。1933年の輸出は生牛6.1、麥酒類4.0、バター1.2、鳥卵1.1等を主とし、輸入は石炭2.5、小麥2.4茶1.5等。相手國は大ブリテン(輸出10:輸入23)を主とし、其他は北愛蘭、獨逸、濠洲等。

【金融及通貨】愛蘭銀行及其他二行が通貨委員會を設け、紙幣を發行する。貨幣單位は愛蘭磅で英國のスタリンドラ磅と等價。

【交通及通信】鐵道營業料は1933年末3.0千方料で同年の旅客18百萬人。郵便局約2.2千局、電信局1.2千局。

【國防】陸軍は常備軍、豫備軍、志願軍より成り、1934年度の常備軍6.5千人、志願軍20千人。海防は英國海軍が之に當る。

【教育】初等教育は義務制とし、小學校約5.3千を有す。中等學校は1933年度314、大學は單科1、綜合3で其他に商、工、農業等の學校がある。

加奈陀(自治領)

DOMINION OF CANADA

【面積及人口】面積9542千方料、人口10760千人(1933年)。首要都市は首府オツタワ127千人、モントリオール819千人、トロント631千人、ヴァンクーヴァ247千人(1931年*)。土地廣く移入民が多い、1933年度は13.9千人(前年度19.8)で、このうち米人7.7千人、英人2.3千人。

【政治】1763年佛國より讓渡され其後1867年英國北アメリカ條令に基き自治領となつた。總督は英國王の代表者として議會及內閣を統裁する。議會は上院96名、下院

245名より成り、下院議員は男女普選による。内閣は首相の下に十三相を以て組織する。

【財政】 1933年度の歳入324百萬弗、歳出347百萬弗、主要財源は關稅66、消費稅35、郵便收入31、戰時利得稅40等で、支出は國債費、年金、郵便事業費、州補助費、國防費を主とす。

【産業】 國土廣大、農業の意義實に大である。耕地は約 238千方料だが尙多くの未耕地を残してゐる。主産物は小麥、燕麥、大麥、ライ麥、馬鈴薯、亞麻子、果實等で、特に小麥は産額世界三位を占め、輸出量に於ては正に世界一である。1934年小麥産額7508千噸（前年7622）。燕麥4952千噸（世界四位）。家畜多く1934年は牛9.0（百萬頭）豚3.7、馬3.9、緬羊3.4の外、家禽約60百萬羽を有し之等畜産品は多く輸出される。

森林地多く全土の約三割を占めパルプ材、建築材等貴重なる用材に富む。水産も豊富で特に鮭、鱈、鰻等が多い。1934年の漁獲28百萬弗。鑛産は甚だ豊富で主産物も金、銅を始め種類多く産額も各々世界四位を下らぬ。1934年の主要鑛産額は次の如し（單位千噸、金銀は單位兩）。

金	92.4(世界3位)	亞鉛	123.1(世界3位)
銀	504.5(同 3)	ニッケル	58.4(同 4)
銅	151.0(同 2)	アスベスト	141.5(同 1)
鉛	144.8(同 2)	石炭	9596

工業は製紙、鑛詰、製粉、バター、チーズ、自動車、紡織等を主とし水力電氣事業も發達す。1934年の自動車製造117千臺（前年96）で獨逸に次ぐ世界五位。

【貿易】	1931年度	1932年度	1933年度
* 輸出	587.2	480.7	585.7(百萬弗)
* 輸入	578.5	406.4	433.8(〃)

1933年度の輸出は小麥119、新聞用紙73、ニッケル28、パルプ25、板材21、魚類20を主とし輸入は石炭、原油、果實、砂糖、機械、酒類等。相手國は英國（輸出228：輸入238）、米國（199.105）を主とし、其他和蘭、白耳義、佛國、日本（14:3）。

日加貿易は元來片貿易關係にあり最近之が著しくなり昨年の如き紛議を醸した。即ち1934年のわが輸出 9百萬圓に對し輸入54百萬圓で輸入の多くが小麥、パルプ、紙、木材、鉛等日本に少くないものである。

【金融及通貨】 加奈陀チャータード銀行は現在十行で之等が政府と共に紙幣發行權を有す。貨幣單位は弗だが1935年 6月米國に倣ひ同率の平價切下げを行つた。之が對日平價比は 1.18474 圓。現在金本位は停止され對外相場は低落してゐる。

【交通】 鐵道延長70.0千方料（1932年）を有し自動車數は1935年初現在1117千臺で世界四位。航空路は延距離6.0千

新。郵便局約12.1千局、電信局4.5千局。無線電信局は1933年3月1.8千局、同ラジオ放送局77を算ぶ。

【国防】陸軍は民兵制に基き、現役及豫備に分つ。現役は常備兵約36千人及び非常備兵約135千人より成り、豫備は現役外の十八乃至六十歳の者を編入す。空軍は兵員約七百、飛行機149を有す。海軍は駆逐艦4、捜海船3等。

【教育】初等教育及中等教育は各州概ね無料とし、初等教育は八年制、中等教育は四年制が行はる。州立學校(初等及中等)約32.5千、大學23の外、工業、師範學校、土人教育學校等がある。

ニューファンドランド

面積111千方料、人口285千人(1933年)。首都セント・ジョーンズ43千人(1932年)。歐洲大戰後自治領の資格を得、總督統裁の下に議會及行法の兩委員會を設くるが最近財政素亂の爲め本國諮問委員會の監督下に置れ事實上自治權を停止されてゐる。主産物は木材、鐵礦、銅、魚類等。貿易は1932年度の輸出4.9百萬磅、輸入3.0百萬磅。輸出はパルプ、及紙を始め乾鱈、鐵礦を主とし、輸入は小麥粉、織物、石炭等。通貨は弗を用ふ。

加奈陀東端のラブラドルは同地の管轄に屬す。

濠洲聯邦

COMMONWEALTH OF AUSTRALIA

【面積及人口】面積7704千方料、人口6677千人(1934年月)。主要都市は首府カンベラ人口7.3千人、シドニー12626千人、メルボルン1028千人、ブリスベン334千人(1933年6月*)。移入民多く1934年53.7千人、前年47.8千人

【政治】1906年の宣言に基き六州を以て成る自治聯邦總督統裁の下に議會及内閣を設く。議會は上院36名、下院76名とし兩院共男女普通選挙による。内閣は首相の下に入相を以て組織す。

【財政】1933年度歳入73.9百萬磅、歳出70.1百萬磅。主要財源は關稅22、消費稅12、所得稅9、通信事業收入13等で支出は軍事費19、年金11、通信事業費12等を主とす

【産業】農業國で殊に牧羊の意義は世界的に重要性を有してゐる。主要作物は小麥を始め燕麥、大麥、馬鈴薯、甘蔗等で小麥は羊毛に次ぐ重要輸出品。家畜多く1932年末牛12.8百萬頭、豚2.9百萬頭、馬1.8等。綿羊は1932年末106.9百萬頭を有し他國を遙に引離し斷然世界一、羊毛も世界産額の約四分の一を供し、産額の入割前後が輸出される。畜産品のバター、チーズ、ハム等も相當多い。礦産も可成り豊で金、銀、鉛、亞鉛等を産し金銀共産額

は世界四位、鉛は同二位²最近の各種産額は次の通り(單位千匁、金銀は匁)。

	1933年年	1934年		1933年	1934年
小麥	4 773	3 674	鉛	209	203
羊毛	449	463	金	25.8	27.4
亞鉛	55	60	銀	336	...

製造工業の主なるものは畜産品製造(バター、チーズ等) 金屬機械工業、織物業等。

〔貿易〕

	1931年度	1932年度	1933年度
輸出	85.0	96.9	99.3(百萬磅)
輸入	44.7	58.0	61.0()

1933年度の主要輸出は羊毛 57、バター9.1、小麥8.6、金 8.2、肉類7.1で、輸入は綿布及麻布4.6、絹布2.6、揮發油 3.4、自動車4體3.0、藥品類2.7を主とす。相手國(1932年度)は英國(輸出68:輸入24)最も多く次いで日本(11:4)、米國(4:8)、佛國、獨逸、伊太利等。

濠洲はわが貿易相手國中第五位、而もその貿易は所謂片貿易である。1934年のわが輸出 64百萬圓に對し輸入 198百萬圓、輸入の大部分が我に缺くる羊毛、小麥等で、わが輸出は衣料類が主となつてゐる。

〔金融及通貨〕 聯邦銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位は濠洲磅で對日平價比は9.76318圓。但し現在は金本位を停止してゐるため對外相場は低落し、最近は金比で約 52%減。

〔交通及通信〕 鐵道延長は1932年 43.2千料。自動車數は1935年初575千臺を有す。航空路は9.8千料。郵便局は約8.0千局、電信局9.2千局、ラヂオ放送局約60を有す。

〔國防〕 陸軍は常備軍と市民軍とより成り、常備軍は約1.7千人、市民軍は戰時に動員するもので其數約28千人十八歳乃至四十歳の者を以て組織す。海軍は1934年巡洋艦4、航空母艦1、驅逐艦6等を有し、空軍は常備航空隊及び市民航空隊より成る。

〔教育〕 教育制度は各州夫々異なるが、初等教育は大體義務制を採り義務年限は六歳より十四歳迄とする。大學は各州とも一校を有し其他專門學校を設くる州もある。中等學校、工業學校、高等學校等も各州に夫々有してゐる。

▶ 英領ニューギネア(パプア)ニューギネア島の東南部分にして面積234千方料、人口276千人 1934年、濠洲聯邦の管轄に屬し、コブラ、ゴム、シザル麻、金、銅等を産す。

▶ ノーフオーク島、面積39千方料、人口約1.1千人。濠洲の附屬島でバナ、珈琲等を産す。

▶ ニューギネア委任統治地域、ニューギネア島の東北部分及び近海のビスマルク諸島、ソロモン諸島を總括する濠洲委任統治地域で總面積241千方料、人口約394千人 ニュギネア島が人口最も多い。ビ島はニューブリテン

島、ニューアイルランド島等より成り、ソ島はブーゲン
 ヴイル島及其他より成る。上記諸島ともコブラ、珈琲、
 熱帯果實、金等を産す。全地域の貿易は1933年度の輸出
 1.8百萬磅、輸入0.9百萬磅。

新西蘭 (自治領)

NEW ZEALAND

〔面積及人口〕 面積268千方料、人口1548千人(1934年6
 月、首府ウエリントン147千人、オークランド221千人、
 クライストチヤチ131千人(1934年)。移入民は比較的多
 く1933年18.8千人、前年17.9千人。

〔政治〕 1840年英國植民地となり1907年自治領の資格
 を得た。總督は英國王の代表者として議會及内閣を統裁
 する。議會は上院30名、下院80名より成り、下院は男女
 普通選挙による。内閣は首相の下に九名の閣僚を置く。

〔財政〕 1933年度の歳入 23.5百萬磅、歳出24.2百萬磅
 主要財源は關稅及消費稅7.1、所得稅3.0、印紙收入2.7、
 利得稅2.9等で歳出は國債費10.2、年金3.3、教育費2.6等
 を主とす。

〔産業〕 農業國で濠洲同様牧畜に重要性が置かれる。
 農産物は小麥、大麥、燕麥だが産額は比較的少ない。家
 畜は1934年牛4.3百萬頭、豚0.7百萬頭、綿羊28.6百萬頭を有

す。羊毛の産額は亞爾然丁に並ぐ世界四位を占め1934年
 132.5千廳、前年136.3千廳で毎年産額の七、八割を輸出
 する。

鑛産に金、銀、石炭等がある。製造工業は畜産中心の食
 料品工業を主とし、バター、チーズ、煉乳、冷凍肉等の
 産額が多い。

〔貿易〕 1934年の輸出47.3百萬磅 前年41.0)、輸入31.3
 百萬磅 同21.0)。33年の主要輸出品はバター11.6、冷凍肉
 9.8、羊毛7.4、チーズ4.8等で、輸入は鐵及鋼1.8、綿製品
 1.3、原油及同製品1.4、自動車同部分品1.2を主とす。相
 手國は英國 輸出36：輸入11 最も多く、次に濠洲、米國
 印度等とす。

〔金融及通貨〕 新西蘭聯邦銀行が紙幣發行をなす。(従
 來の發券銀行六行は發行權を取消さる)。貨幣單位は新西
 蘭磅で對日平價比は9.76318圓、現在金本位制を停止せる
 ため對外相場は著しく低落し最近は金比で約52%減。

〔交通及通信〕 鐵道延長は約5.6千方料。自動車數は1935
 年初現在175千臺。郵便局約1.8千局、電信局約2.0千局。

〔國防〕 陸軍は志願制に基く義勇軍約 9.2千人より成
 る。空軍は兵員171人、航空機21を有し、海軍は巡洋艦2、
 帆船2等がある。

〔教育〕 初等教育は七歳より十四歳迄義務制とし1933

年末の小學校2.5千校、生徒182千人。同年中等學校14、綜合大學 4、農業大學 2のほか、高等學校、工業學校、鑛山學校、土人學校等がある。

▶クツク諸島 ラロトンガ島及其他諸島よりなり總面積0.7千方料、人口約15千人。1888年英領となり現在新西蘭の管轄に屬す。主産物はバナ、コブラ、オレンジ等。

▶ロツスランド 南極大陸ロツス灣の沿岸地域で面積約1.8百萬方料。新西蘭の管轄に屬し、捕鯨の根據地をなしてゐる。

▶西サモア サヴァイ島、ウポル島等よりなり總面積約三千方料、人口約18千人。舊獨領地にして1920年以降英國委任統治として新西蘭が管理す。主産物はコブラ、カ、オ、バナ、等。

南阿弗利加聯邦

UNION OF SOUTH AFRICA

【面積及人口】 面積 1223千方料、人口8482千人 (1934年)、主要都市は首府プレトリア人口91千人、ヨハネスブルグ340千人、ケープタウン271千人 (1932年)。プ市には政廳を、ケ市には議會を置く。移入民は比較的多く 1933年29.1千人。

【政治】 1909年の南阿弗利加條令に基き四州より成る

自治聯邦。總督は英國王の代表として議會及行政委員會を統裁する。議會は上院40名、下院150名より成り、下院は男女二十一歳以上有權の普通選挙による。行政委員會は首相の外に九名の大臣を以て組織される。

【財政】 1933年度の一般會計歳入39.5百萬磅、歳出28.2百萬磅。主要財源は關稅 8.7、所得稅 8.4、通信事業収入 3.9、金鑛納付金5.0等で支出は國債費6.1、年金3.2、通信事業費3.0、農材助成金2.8等を主とす。

【産業】 農業は牧羊に重きが置かれる。農産品は小麥玉蜀黍、甘蔗糖、煙草、果實等で玉蜀黍が比較的多い (1934年1722千噸)。家畜は 1930年現在牛10.6百萬頭、豚0.9百萬頭、山羊8.0百萬頭等で綿羊は 1933年46.1百萬頭。羊毛産額は新西蘭に次ぎ世界五位を占め1934年113千噸、前年129千噸にて重要輸出品である。

鑛業は此國の最重要産業で、金、金剛石を始め石炭、アスベスト、銅、銀等を産す。金は世界産額の約四割内外を産し、金剛石も世界一、アスベスト (1934年16千噸) は世界三位にある。

1933年	1934年	1932年	1933年
金……343……	326(噸)	金剛石……160……	101(噸)

製造工業は飲食料品工業、金屬工業を中心として行はれる。

【貿易】 1934年輸出67.6百萬磅 前年73.2、輸入66.3百萬磅 同49.3)。1933年の主要輸出は金塊68、羊毛9、金剛石2、獸皮及毛皮1.6等で輸入は綿布類 5、機械 4、飲食品 3、車輛3等を主とす。相手國は英國（輸出76：輸入24）最も多く其他米國、加奈陀、獨逸等の順。

【金融及通貨】 南阿準備銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位は南阿聯邦磅で對日平價比は9.7631圓。現在金本位制を停止し居るため對外相場は低落し、最近は金比で約40%減。

【交通及通信】 鐵道延長は1934年3月末20.9千軒。自動車數は1935年初 190千臺 航空路は英國南阿間の定期線及國內線がある。電信局約2.9千局、郵便局31千局。

【國防】 陸軍は南阿常備軍、現役市民軍及び其他六軍事團體より成る。市民軍は白人男子十七歳乃至二十五歳の者より成り平時一定の教練を受け、前記年齢者で市民軍に編入されぬ者は射撃協會に四ヶ年加入の義務がある常備軍の現勢力は約1.9千人。

【教育】 初等及中等教育は各州とも白人及び土人との區別を設け且つ初等教育の義務制も州により白人のみに課すものと兩者一樣に課すところとがある。1932年の中初等學校は白人用4.9千校、土人用4.0千校。大學は綜合、單科各五がある。

▶バストランド 面積30千方軒、人口650千人(1939年)、南阿聯邦内にある英本國直轄植民地だが南阿高級委員が之を管理してゐる。農牧に適し小麥、羊毛等を産す。

▶ベチュアナランド、面積12千方軒、人口160千人(1932年)、南阿聯邦の北隣にある英本國直轄植民地で南阿高級委員が管理してゐる。農業にも適すが牧畜を主とし、牛多く1933年1.0百萬頭で相當輸出される。其他羊類を有す。鑛産に金及銀がある。鐵道延長は648軒(1932年)。

▶スワジランド 面積17千方軒、人口125千人(1932年)南阿聯邦内の東北端に位する英本國直轄植民地で南阿高級委員が之を管理する。農牧を主とし玉蜀黍を始め棉花煙草、落花生等を産す。家畜は牛、緬羊等を有し、鑛物に富むと云ふが現在は錫があるのみ。

▶西南阿弗利加 面積835千方軒、人口280千人(1932年)舊獨領地で1920年南阿聯邦の委任統治地となつたもの。牧畜に適し、牛、馬及び小家畜等を有しバタ製造に主力を注ぐ。鑛産も豊富で金剛石を始め銅、鉛等を産し之等は同地輸出額の七、八割を占むる重要輸出品。貿易は1933年の輸出1.4百萬磅、輸入1.0百萬磅。

佛蘭西 (共和國)

REPUBLIQUE FRANCAISE

【面積及人口】	千方料	千人
本國	551	41 900(1933年)
アルジェリア	24 196	6 850()
植民地及保護地	9 072	52 913
阿弗利加	8 215	29 698
内課		
亞細亞	741	22 582
亞米利加	93	536
南洋	23	97
計	11 819	101 663
委任統治區域	682	6 251
共同統治區域	13	43

主要都市は首府パリ2891千人、マルセイユ801千人、リヨン580千人、ボルドー263千人、ニース220千人(1931年*)

【政治】 1870年帝政を覆し共和制を樹立し五年後に憲法を制定す。議會は二院制とし、上院は 314名よりなり間接選挙により任期九年で三年毎に三分の一を改選する下院は 615名より成り二十一歳以上有權の男子普選により任期は四年。大統領は兩院合同で絶對多數を以て選出さるゝを要し任期は七年。

大統領 アルベール・ルブラン Albert Lebrun (1932年 就任)。内閣は現在ラヴアル首相(外相兼任)の下に次の十九相を以て組織する。大藏、海軍、陸軍、航空、司法、内務、商務、文部、工務、植民、労働、保健、遞信、海軍、恩給、農務、無任所三。近年佛國內閣は財政問題を繞り度々政變を繰返し一昨年(1932年)の如きバイヨンヌ事件を機として大暴動を觸發し、昨年は財政獨裁法案を中心に

再三内閣の更迭を見た。

【財政】 1935年歳入 467億法 (前年483)、歳出475億法 (同502)。1934年の主要財源は租税405、專賣及官業収入15、等て支出は大藏省所管232、陸軍省59、海軍省29、航空省17、文部省40等を主とす。

【産業】 工業國だが農業の意義も没せられない。耕地は 221千方料を有し國土の約四割を占め、農産品も麥類を始め馬鈴薯、甜菜、果實、繭等相當豊富で、小麥は世界三位、燕麥は同四、五位、馬鈴薯は波蘭に亞ぎ三位を有し繭も歐洲では希臘に亞ぎ盛んで亦、葡萄酒産額は世界第一位を占めてゐる。次は最近産額 (單位千噸、葡萄酒は百萬頭)

	1933年	同34年	1933年	同34年
小麥	9 861	9 000	馬鈴薯	1 4822
大麥	1 145	1 137	繭	943
燕麥	5 674	4 155	葡萄酒	51.8
				77.0

家畜數も多く1933年末現在の牛15.8 百萬頭)、馬2.9、豚6.8、緬羊9.7、山羊2.4。

鑛産にも恵まれてゐる。主要鑛は鐵鑛 (世界一位)、ボーサイト (同一位)、加里 (同二位)、石炭 (同五位)、銑鐵 (同三四位)、鐵鋼 (同五位) 等て最近の産額は次の如し (單位千噸)。

	1933年	同34年	1933年	同34年
鐵鑛	30 244	32 000	ボーサイト	490
				528

石炭… 46 887… 47 023 加里……………322……379
 銑鐵……6 359……6 155 鋼鐵……………6 576……6 147

工業は製鐵、纖維工業、化學工業、製糖、酒精製造、機械製造、自動車製造等を主とし、自動車製産高は1934年189千臺で米、英に亞ぐ世界三位。

【貿易】	1932年	同33年	同34年
*輸出……………	197.1	184.7	178.2 (億法)
*輸入……………	298.1	284.3	230.6 ()

1934年の主要輸出品は化學製品16、銑及鋼15、絨織物8、自動車 6、絹織物 6等で輸入は石炭及骸炭20、葡萄酒18、羊毛13、穀類13を主とす。相手國は獨逸（輸出20：輸入22）、白耳義（20：15）、英國（15：16）米國（8：22）等が主である。

佛國はわが貿易相手國の第十三位、最近のわが輸出約四千萬圓、輸入二千萬圓、我より生絲を多く出す。

【金融及通信】 佛蘭西銀行が紙幣發行權を有し1934年末の發行高 834億法。貨幣單位は法で對日平價比は0.07860圓 現在金本位制維持のため種々努力を拂ひ、所謂金ブロックの中心を形づくつてゐる。

【交通及通貨】 鐵道延長は1933年首 41.8千軒。自動車數は1935年首2037千臺を有し米國に次ぎ世界二位。百噸以上船舶噸數は1935年6月末1479隻、3025千噸、（世界一の巨船ノルマンチー號は79千噸）。航空路は33.9千軒、郵

便局約17.9千局、電信局約37千局、無線局79。

【國防】 陸軍は本國軍及植民地軍より成る。本國軍は現役軍、豫備軍、義勇軍に分れ徴兵を原則とし、服役年限は現役軍一年、豫備軍十六年、義勇軍八年とす。植民地軍は白人及土人各同數より成り1931年の兵數206千人。本國軍兵數は同年352千人。

海軍は1934年末現在戰艦 9、航空母艦 1、裝甲巡洋艦 1、巡洋艦14、潜水艦99、驅逐艦及水雷艇76等を有す。空軍は1934年本國及海外併せ兵員約四萬人、航空機3026機を有す。

【教育】 初等教育は六歳より十三歳迄を義務制とし、1932年度の小學校80.6千校、生徒5.1百萬人。中等教育は官立及自治團體設立の二種の中等學校で行ひ男子は七年制とす。1933年の校數 550。綜宗大學は 17、師範學校は 173(男87)等で其他高等商業、實業學校、工業學校多數を有す。

▶アルジェリア 面積3196千方軒、人口6850千人（1933年）。首府アルジェー人口257千人（1931年）。佛國の外地で總督が統治するが独自の政治機關（議會及行政部）をもたず本國上院へ三名、下院へ九名の議員を送る。

農業を主とし葡萄酒、オリーブ油、煙草、麥類を産す。葡萄酒は大體産額世界四位で1934年2百萬圓、同年オリ

一ウ油 137千噸で同五位。家畜は羊を筆頭に牛、駱駝等がある。1934年末の綿羊55百萬頭、山羊2.8百萬頭。北部地方は良材に富む。漁業も比較的盛んである。

鑛産には鐵鑛、燐礦石、亞鉛、鉛等を有し1934年の鐵鑛産額1327千噸(世界八位)、燐礦石532千噸(同四位)。貿易は1933年の輸出39億法、輸入43億法で輸出は葡萄酒が大部分を占む。鐵道は約4.8千軒。軍備は本國軍に屬するアルゼリア・チュニス軍隊を有し1934年の實勢力約75千人。學校は1933年小學校1.3千校、中等學校11、大學1等の外、に回教徒學校595がある。

植民地及保護地

▶チュニス 面積125千方軒、人口2500千人(1933年)。首都チュニス人口 202千人(1931年*)。佛國の保護國で農産物に葡萄酒、オリーブ油、小麥、果實等がある。オリーブ油は1934年産額 550千噸で世界四位。家畜は綿羊多く1932年2.9百萬頭、山羊 1.7百萬頭。鑛産には産額世界二位の燐礦石(1934年1766千噸)、其他鐵鑛 同年546千噸)鉛等がある。貿易は1932年の輸出 9億法、輸入18億法。鐵道約2.1千軒。

▶佛領モロツコ 面積420千方軒、人口約5500千人。この外に西班牙との鬭争地約1.5千方軒がある。首府ラバツ

ト人口53千人(1931年*)。佛國の保護下にある回教王國で産物に小麥、大麥、玉蜀黍、葡萄酒、燐礦石等を有し、燐礦石は1934年1199千噸で世界三位。家畜(1932年に綿羊7.6百萬頭、山羊3.9百萬頭、牛2.0百萬頭がある。貿易は1934年の輸出 7億法、輸入13億法。貨幣單位は佛國法と等價のモロツコ法を用ふ。軍備は本國軍及植民地軍の分遣隊約六萬を有す。鐵道は約2.3千軒。

▶佛領西阿弗利加、面積4660千方軒、人口 14404千人(1933年)。マウリタニア、セネガル、ギネア、象牙海岸、ダホメ、佛領スダン、ニジエルの七地方及びダカル特別區を含み全地域を總督が統治し各地には知事を置く。首都はセネガルのダカル。産物は各地方とも大體、落花生、カ、オ、珈琲、パーム及同油、棉花等を有し、落花生は1933年 800千噸で世界二位を占めセネガル地方を主としカ、オは象牙海岸を中心とし1933年の同地の産額42千噸(世界四位)何れも多く輸出される。貿易は全地域の輸出 1933年 5.0億法、同輸入 5.4億法でセネガル地方が約五割を占む。鐵道延長は約3.8千軒。(1934年初)。

▶佛領赤道阿弗利加 面積2256千方軒、人口3324千人(1933年)。四地方に分ち總督が統轄支配す。地域廣く森林多く熱帯用材に富むが開發されぬ。現在の産物は野生ゴム、パーム及同油、棉花、カ、オ、コーヒー、象牙等で

象牙は主要輸出品。

▶マダガスカル島 面積 616千方料、人口約3800千人
 佛國の植民地で總督が統治す。農牧を主とし米、コーヒ
 ー、煙草等を産し、牛が多く 1931年7.0百萬頭)、鑛産に
 燐礦石がある。貿易は1933年輸出3.2億法、輸入3.7億法。
 コーヒー、肉 罐詰等を主出す。

▶レユニオン島 面積 2.4千方料、人口約200千人。マ
 ダガスカルの東方に位し甘蔗糖、火酒、ラム酒等を産す。

▶佛領ソマリランド、面積22千方料、人口約70千人。
 産物にコーヒー、象牙等がある。

▶佛領印度 總面積0.5千方料、人口282千人(1923年)。
 英領印度沿岸に點在するポンヂシエリ其他とも五つの小
 植民地で總督が一括統治する。産物は糙米(パデー)、落
 花生等。

▶佛領印度支那 面積 740千方料、人口 22300千人(1
 933年)。交趾支那、安南、カンボヂヤ、東京、ラオス及び
 廣洲灣租借地を含む地域で總督が統治す。總督府會議は
 豫算及重要行政事項を議する最高機關である。主要都は
 首府河内 127千人、西貢 118千人(1932年)。農業を主と
 し米を始め玉蜀黍、棉花、ゴム、甘蔗糖、煙草、茶、コー
 ヒー等を産す。米は産額世界四位で1933年5.25千萬、交
 趾支那、東京等を主産地とし多く輸出する。鑛産に錫、

燐礦石、石炭等がある。貿易は1933年の輸出10.1億法、
 輸入9.1億法で主要輸出品は米を第一とし其他ゴム、獸皮
 等。

印度支那銀行が發行權を有し貨幣單位はピアスター(金)
 を用ふ。1ピアスタは佛國の十法と等價で對日平價は0.7
 86圓。鐵道延長は約2.4千方料。

▶サンピエール島及ミクロン島 面積0.2千方料、人口
 約 4千人。北米ニューファンドランド島附近に位し漁業
 を主とし、鱈が多い。

▶グアドルツプ島 面積1.8千方料、人口約 270千人。
 西印度小アンチル諸島の一部で甘蔗糖、バナナ、コーヒ
 ー等を産す。

▶マルチニツク島 面積1.0千方料、人口約240千人。
 グアドルツプ島の南方に位し甘蔗糖、ラム酒等を産す。

▶佛領ギアナ 面積90千方料、人口22千人(1933年)。
 主都カイエンヌ人口11千人。産物は砂金を第一とし其他
 各種用材がある。

▶ニューカレドニア 面積19千方料、人口約57千人。
 濠洲東方海上に位しコーヒー、コブラ等を産すが寧ろ鑛
 産が重要。即ちニツケルは1933年産額4.1千萬、クローム
 鑛は同年50.1千萬(世界三位)。

▶佛領大洋洲諸島 東部太平洋に散在するソシエテ、

ツブアイ、マルキーズ、パウモツ等の諸群島で總面積約4千方料、人口約四萬。ソシエテ諸島中のタヒチ島が最も著名で眞珠を産し、亦パウモツ諸島中のマカテア島は燐礦石を産す。

委任統治地域

▶シリア及リバノン 面積 200千方料、人口3200千人(1933年)。1922年佛國の委任統治地となつたもので現在シリア、リバノン、ラタキア、ドルズより成り通常之を總括しシリア・リバノンと呼ぶ。前二者は共和制を後者二は自治制を採り、佛國高級委員が全體を統轄す。農業を主とし小麥、大麥、オリーブ油、煙草、棉花、胡麻子綿等を産す。家畜は羊類多く綿羊2.0百萬頭、山羊 1.2百萬頭(1933年末)。貿易は1933年の輸出17百萬磅、輸入45百萬磅。貨幣單位はシリア磅を用ひ、一磅は佛貨20法と等價。

▶佛領カメルーン 面積 430千方料、人口 2298千人(1933年)。産物は落花生、パーム油、カ、オ、獸皮、木材等でカ、オの1933年度の輸出額23千噸、同年パーム油産額26千噸。

▶佛領トーゴ 面積52千方料、人口 753千人(1933年)。主産物はカ、オ、パーム油、コブラ、ゴム等。

▶ニューヘブライズ諸島 英佛共同統治地(61頁参照)

獨逸 (聯邦共和國)

DEUTSCHES REICH

【面積及人口】 面積 471千方料、人口66178千人(1933年)(ザールを含む)。主要都市は首府ベルリン 4191千人、ハンブルグ1125千人、ケルン 750千人、ミュンヘン 735千人、ライプチツヒ 712千人(1933年3月*)。移出民多く1933年12・9千人で大部分が米國へ出向ふ。

【政治】 1918年帝政を廢棄し共和制を布き翌年憲法を制定す。所謂聯邦制度に基き十七の聯邦政府を有し之を獨逸帝國政府が統轄し議會も聯邦議會と帝國議會を設けたが、ヒトラー政權出現後は獨裁的傾向強く1933年春には國會に絶對多數を擁するナチス黨は國會の立法權を停止し之を内閣に附與する法律案を可決、亦翌年二月には聯邦政府の權限を縮少せしめ内閣の支配下に置き同年八月にはヒトラーはヒンデンプルグ大統領逝去の後を襲ひ大統領と首相の地位を合一せる聯邦總統 Reiches Führer) に就任し獨裁權を固め、更に1935年初めには聯邦を單なる知事制の行政單位に引下げ益々中央集權を強化した。帝國議會は 577名を有し男女二十歳以上有權の普選によるが前述の如く立法權はなく形式的な存在に過ぎな

、なつてゐる。

總統 アドルフ・ヒットラー Adolf Hitler (1934年8月
就任)。内閣は總統の下に副總理、内務、外務、國防、大
蔵、農務及食料、經濟、勞働、遞信、航空、司法、文部
宣傳、無任所の十三相を置く。

【財政】 1934年度豫算歳入出各645 百萬麻。主要財源
は租税1008、關稅1080等で支出は一般行政費3301、恩給
扶助料1280、國債費 573等を主とする。國債額は1934年
度末12407百萬麻。

【産業】 工業國だが農業にも多くの努力が拂はれてゐ
る。耕地は全土の約四割四分を占め産物には麥類を始め
馬鈴薯、甜菜、煙草、葡萄酒等があり、大麥、ライ麥、
は世界二位、燕麥は三位、馬鈴薯は二位、甜菜も一位の
産額を有す。次は最近産額(單位千匁)。

1933年		同34年		1933年		同34年	
小麥	5 604	4 533	燕麥	6 953	5 452		
大麥	3 468	3 204	馬鈴薯	44 071	43 632		
ライ麥	8 727	7 608	甜菜	8 579	9 082		

家畜も多く1934年末現在牛19.2(百萬頭)豚23.1、馬3.4、
綿羊35、山羊 2.5を有す。森林地は全土の約二割七分を
占め樺、松、樅等の用材に富む。

鑛産は相當に豊富で石炭、鐵鑛、其他下記のもの産し
石炭は産額大體世界三位、鉛は同四位、鐵鑛及亜鉛は五

位、加里は世界一位。最近産額は次の如し。(單位千匁)

1933年		同34年		1933年		同34年	
鐵鑛	2 592	4 680	鋼	50	50		
鉛	117	120	加里	1 026	1 220		
亜鉛	51	73	石炭	109.7	109.0	(百萬匁)	

工業は世界的に著名で化學工業(染料、硫安)、製鐵、機
械工業、製糖、醸造、纖維工業、硝子製造等を主とす。
製鐵産額は1934年銑8742千匁で世界三位、鋼は11886千匁
で米國に次ぎ世界二位、甜菜糖は同年1487千匁。其他染
料、硫安産額何れも世界有數である。自動車産額は同年
169千臺で佛國に次ぎ世界四位。

【貿易】		1932年		同33年		同34年	
輸出	5 739	4 871	4 166	(百萬麻)			
輸入	4 666	4 204	4 451	()			

1934年の主要輸出品は銑及鋼643、化學製品316、石炭216
染料塗料 206等で、輸入は羊毛 323、棉花 260、コーヒ
ー、119、鑛油137等を主とす。相手國は和蘭(輸出482:
輸入264)英國(383:206)、米國(158:373)、佛國(282:
177)、伊太利、白耳義等。

獨逸はわが貿易相手國中第九位、而も片貿易關係にある
1934年のわが輸出20百萬圓に對し輸入 106百萬圓でその
多くが機械、鐵、硫安等。

【金融及通貨】 ライヒス銀行が中央銀行として發行權
を有する外、四つの州立銀行が紙幣發行をなす。1934年

末中央銀行發行高3901百萬麻、此の外にレンテン銀行券350百萬麻が流通す。レンテン銀行券は大戦直後の麻暴落阻止のため設立發行された同銀行券で大體目的を果し同行が1924年ライヒス銀行に解消合併された後も尙未回収として幾分残るもの。

貨幣單位はライヒス金麻で對日平價比は0.47790圓。麻の對外相場は爲替管理等によつて低落を押へられてゐる。最近スペル麻、レギスター麻と呼ぶ麻が用ひられるが之等は對外支拂額の一部を強制的に國內に保留せしめ之を輸出代金に振替さす爲めに用ふるものでライヒス麻より相場は低位にある。

【交通及通信】 鐵道延長は1933年末 58.3千軒。自動車數は1935年初 776千臺、船舶(百噸以上)は1935年6月20日 80隻3704千噸で世界五位、航空路は47.1千軒(1934年夏)。郵便局約42千局、電信局約59千局。ラヂオの聴取者は1934年末2439千人で世界三位。

【國防】 軍備はベルサイユ條約により幾多の制限を加へられ陸軍は徴兵制、空軍を禁止され且つ兵力も十萬を超えるを得ず、海軍は潜水艦の建造や航空機の製造輸出も禁ぜられて居る。最近の陸軍正規軍は約96千人の外所謂ナチスの親衛隊、突撃隊を有し、海軍は戦艦 3、巡洋艦 8、驅逐艦及水雷艇30等を有する。

然し獨逸は聯盟脱退後は前記條約を無視し秘かに陸海空軍の再軍備に着手し、1935年 3月には公然と之を宣言し列國を戰慄せしめ、其後著々と計畫を進め、同年五月には徴兵制を布き(服役義務一ケ年)、亦海軍再建計畫に於ては既に四百五十隻の建造を了し種々の新艦種を有すと云ふ、

【教育】 初等教育は義務制で年限は六歳より十四歳迄とし最初四年制の基礎學校(Grundschule)に入り、次で國民學校(Volksschule)に入るを要す。之を卒はり實務に就く者は傍ら補習學校亦は商業學校に入る義務がある。1931年度の初等學校は53.6千校、生徒 76.4百萬人。補習學校16.5千校、商業學校5.2千校。中等學校には豫備學校、簡易豫備學校其他約1.7千校、女學校779を有し、大學には綜合大學23、工業大學10、農業大學等があり其他商業、醫學、美術、音樂、師範等の高等專門學校が多數ある。

▶ザール地域 獨佛國境にある面積 1.9千方軒人口828千人(1933年)を有する地で、元來が獨領たりしを大戦の結果佛國の領有に收められんとして紛争を起し結局聯盟が暫定的(十五ケ年)に管理し來つた。

昨年一月十日管理滿期となりその歸屬を人民投票に問ふた所獨逸への歸屬が壓倒的多數を占め聯盟理事會の採擇

決議によつて歸屬は確定し三月一日正式に接受を了し、佛國が賠償として有して來たザール炭田は獨逸が九億法で買戻し、税關も獨逸政府に移讓された。

同地は石炭および鐵產地として名高く1934年の石炭産額は11.3百萬噸、鉄鐵は1.8百萬噸、鋼鐵は1.9百萬噸。

ダンチヒ (自由市)

FREIE STADT DANZIG

【面積及人口】 面積1.9千方料、人口410千人(1933年)。首都ダンチヒ人口263千人(1933年)。

【政治及財政】 ヴェルサイユ條約に基き1920年國際聯盟保護の下にダンチヒ市を中心に近在の三市二百六十餘ヶ村を含む地域よりなり、波蘭に海港を供する目的をもつて建設された自由市で、聯盟より高級委員が派遣されてゐる。

國會は27名を擁し男女普選による。國會議員より12名を選び立法及行政の最高機關たる上院を組織し、この内、上院議長及議員七名が内閣を組織する。同市は勿論自主權を有するが外交關係に於ては未だ波蘭から種々の制肘を受け、亦海港を共有する關係上波蘭、ダンチヒ兩者より五名宛を出し港灣委員會を設けてゐる。財政は1933年の歳出入各125百萬グルデン。ダンチヒは元來獨領で最

近のナチス擡頭とともに之を自國へ回收せんとする運動が激化し不安の種をつくつてゐる。

【貿易】 所謂波蘭貿易の仲繼港で相當殷盛を見たが近年波蘭が専用港グチニアを構築せるため不振にある。主要輸出品は用材、穀物、砂糖、石炭等。

【金融及通貨】 ダンチヒ銀行が紙幣發行權を有す 貨幣單位はダンチヒ・グルデンだが1935年5月 42.37%の平價切下げを行つた。之による對日平價比は0.22506圓となる譯で舊平價比は0.39053圓。

【交通及通信】 鐵道延長約159料、航空路は伯林、ダンチヒ間及びワルソー、ダンチヒ間がある。

【教育】 初等教育は六歳より十四歳迄義務制とし小學校は293、中等學校10、女學校7、大學1がある。

伊太利 (王國)

REGNO D'ITALIA

【面積及人口】

	千方料	千人
本國.....	310.....	42 621(1935年初)
□ ドス及屬島.....	2.5.....	134
植民地.....	2 257.....	2 200
計.....	2 570.....	44 955

主要都市は首府羅馬人口1121千人、ミラノ1049千人、ナポリ874千人、ジェノア636千人、トリノ619千人(1934年)

10月)。伊太利は出稼の多いのが有名で1934年は176千人前年195千人。大部分歐洲諸國へ出るが南米諸國へも相當出る。

【政治】形式上立憲王國の體を備へるが事實はファシズムの獨裁國である。この獨裁的傾向は既に1923年のムソリニ政權樹立後現はれ1928年選舉法を改正しファシスト大評議會を伊國最高の行法機關に祭り上げたこと等は獨裁の基礎を固めたものである。大評議會はファシスト黨の指導者及諸大臣等より成り憲法、皇室、議會の構成國際條約等に関する問題を諮詢決定する。

現在議會は皇族及勅選374名より成る上院を有し、下院は1934年初め上下兩院の決議によつて廢止されることになり、職能組合代表法に基く組合機關が之に代ることとなつた。同法は舊來の各種職業組合及其の統率機關の全國組合評議會を改組擴大し各組合より勞資各代表を選出組織する全國的機關に立法權を附與するものである。

國王 エマニエレ三世 Vittorio Emanuele, III

内閣は首相ムソリニが内務、外務、植民、陸軍、海軍、航空、産業組合の七相を兼任し其他土木、文部、農林、大藏、司法、遞信の各相を置く。

問題の伊エ紛争は1934年末エ國々境附近のウアルウアルで兩軍が衝突したのに始まり今尙紛争を續けてゐるもの

で聯盟も此の解決には手をやいてゐる。その原因に就いては伊國植民政策の現はとも云はれてゐる。(詳細はエ國の項參照)。

【財政】1934年度の歳入19336百萬利、歳出22276百萬利。主要財源は直接税1511、間接税1533、財貨交換税3482、專賣益金2970等で、支出は大藏省費11539、陸軍省費2544、海軍省1224、航空省720、文部省1757を主とす。

【産業】工業も近來相當の發展を見てゐるが尙農業的要素は大きい。耕地は全土の約四割四分を占め主要農産物には下記のものがある(單位千噸)。

1933年 同34年		1933年 同34年	
小麥	8 100...6.333	甜菜	2 146...2 652
玉蜀黍	2 588...2 918	オリヅ油	164... 217
馬鈴薯	2 376...2 707	葡萄酒	33.0... 30.5(百方噸)

小麥は世界五位、オリヅ油及び葡萄酒はともに世界二位で、此の外養蠶は歐洲隨一で1933年の産額14.5千噸。家畜數は1930年3月調で牛7.0百萬頭、豚3.3百萬頭、綿羊10.0百萬頭、山羊1.8百萬頭を有した。

鑛産は硫黃を始め鐵鑛、鉛、亜鉛、水銀等を有し硫黃は世界一の産額で1934年370千噸、水銀は1933年69千噸。工業は綿紡織を第一に製絲、人絹、製糖、機械、チーズ製造等を主とす。1934年の人絹産額は48.3千噸で日本に次ぐ世界三位、生絲産額は1933年3.4千噸で支那に次ぐ

世界三位、自動車製造高は1934年46千臺でカナダに次ぐ世界六位。

【貿易】

	1932年	同33年	同34年
輸出	6 811	5 980	5 232(百萬利)
輸入	8 257	7 413	7 665()

1934年の主要輸出品は人絹299、綿織物247、枸櫞の實189、綿絲164、車輛195等で輸入は石炭775、棉花721、機械及同部分品371、羊毛394等を主とす。

相手國は獨逸(輸出833:輸入1213)、英國(529:707)米國(348:957)、瑞西(438:293)、佛國(352:437)、亞爾然丁等を主とす。

【金融及通貨】伊太利銀行が紙幣發行權を有し1934年末の發行高は13145百萬利。貨幣單位は利で對日平價比は0.10559圓。現在金本位の維持目的のため金ブロックを形成し、且つ爲替管理を行ふゆへ利の對外相場は餘り變動してゐない。

【交通及通信】鐵道延長は1934年6月23.0千料。自動車數は1935年初371千臺。航空路延長は1933年20千料で同年旅客數43千人。船舶噸數(百噸以上)は1934年6月3298千噸で世界七位。郵便局約11.3千局、電信局0.4千局、無線電信局19を有す。

【國防】陸軍は本國軍と植民地軍とに分つ。本國軍は

徵兵制に基き服役期間を二十一歳より五十五歳迄とし現役在營は十八ヶ月、其後を豫備とす。1934年度の本國軍250千人、植民地軍は志願兵及土民兵より成り同年兵力約30千人。この外所謂黑シャツ隊の義勇軍約430千人を有するが常時的に集團するものは約10千人。

空軍は本國、植民地、陸軍、海軍の諸部隊に分れ1934年度は航空機1940臺を有し、海軍は1934年末現在戰艦4、裝甲巡洋艦2、巡洋艦23、驅逐艦103、潜水艦39等を有す。

【教育】初等教育は十四歳迄の義務制とし幼稚園程度のアシリ三年、小學校五年とす。1932年度の小學校99.6千校、生徒108千人。中等程度の諸學校32千校、大學は官立綜合大學21、自由大學5等。この外商業、農業、工業等の専門諸學校がある。

▶伊領エーゲ海諸島 エーゲ海に散在するロードス島コス島、カルパソス島等十四島より成り總面積25千方料、人口134千人(1933年)。ロードス島を中心に葡萄酒、オリーブ油、絨氈、海綿等を産す。

▶エリトリア 面積119千方料、人口約600千人。紅海沿岸に位す植民地で農牧及眞珠採取を主とす。1933年の輸出62百萬利、輸入177百萬利。鐵道約三百料を有す。

▶伊領ソマリランド 面積500千方料、人口1000千人(1933年)。農牧を主とする。貿易は1933年30百萬、

入59百萬利で輸出は胡麻子油、ゴム、獸皮等を主とす。

▶トリポリ及キレナイカ 伊領リビアとも稱し1912年トルコと鬭争の後領有す。行政及軍事的目的に従ひ次の二地方に分ち總督が統治す。

○トリポリは面積900千方料 人口約553千人。首都トリポリの人口91千人(1934年)。漁業を主とし、海綿、魷等を産す。農産は煙草を始め、棗、オリーブ、麥等がある。1933年の輸出29百萬利、輸入153百萬利。鐵道約270料を有す。

○キレナイカは面積738千方料 人口約165千人。首都ベンガチ人口43千人。農漁業が行はれ海綿、魷、大麥、バナ、等を産し牧牛も行はれる。鐵道約160料。

羅馬法王廳(ヴァチカン聖域)

SANTA SEDE(CITTA DEL VATICANO)

伊國の羅馬市内にある面積0.4方料、人口約1.0千人(1932年)を有する羅馬法王廳の所在地である。同地は古くより法王の主權下にあつたが伊國が正式に之を認めたのは王1871年である。同地の立法司法及行政權はすべて法王が握り、列國からは一國並の待遇を受け公使を交換してゐる。

サンマリノ(共和國)

SAN MARINO

アドリア海に面し伊國內にある小共和國で面積61方料人口13.5千人(1932年)。大議會と稱する一院制の議會を有し議員六十名、此の内四十名が半年交替で三ケ年間行政に當る。葡萄酒、生牛、建築用石材を輸出す。陸軍は民兵制に基き十六歳乃至五十五歳の者より成る。

モナコ(公國)

MONACO

地中海の沿岸、佛伊國境近くに位す小公國で面積1.5方料、人口22千人(1933年*)。普選に基く議會を有し定員十二名。元首統裁の下に内閣を置く。元首ルイス二世。同國はモナコ、コンダマン、モンテカルロの三自治區に分る。財政はモンテカルロにあるカジノ賭博場の認可税約九萬磅を主とす。賭博を目的の訪客が多い。

同國は佛國の色彩強く佛國の關稅區域内にあり1930年舊時合併説さへ擡頭した。

ソヴェート社會主義共和國聯邦

C.O.O.P.

【面積及人口】

	千方軒	千人
露西亞聯邦(首府モスコ).....	19 753	113 650
ウクライナ(同キエフ).....	451	31 901
白露西亞(同ミンスク).....	126	5 439
後高架索(同チフリリス).....	184	7 110
ウズベク(同タンケント).....	194	5 044
トルクメン(同アスハバード).....	491	1 769
タジク(同スタリナバード).....	147	1 332
計 (1933年).....	21 353	165 778

主要都市は首府モスコ人口3663千人 レニングラード2776千人、バクー705千人、ハリコフ654千人、キエフ539千人、ロストフ520千人、オデッサ497千人、タシケント491千人、チフリリス406千人(1933年初)。

【政治】 1917年の三月革命でツァーの専制政治が覆され社会民主主義的臨時政府が出現したが同年十一月のプロレタリア革命によつて瓦解しソヴェート政權が樹立された。翌年ソヴェート憲法の制定を見、民族自決に基く社会主義ソヴェート共和國が次々に樹立され1922年には露西亞聯邦、ウクライナ、白露西亞、トランスコーカサス(後高架索)聯邦がソヴェート聯邦を形成し翌年ソ聯憲法を制定した。更に1924年にはウズベツク、トルクメンが之に加盟し1929年にはタチクが加はりソ聯邦は現在七共和國によつて形成されてゐる。之等のうち露西亞聯邦は自治共和國11、自治州4、後高架索聯邦は共和國3、自治州2等を包含し、ウクライナは自治共和國1を有す。

ソ聯の最高機關は聯邦ソヴェート大會で少くも二年に一回以上開會し立法及行政の重要事項を議決す。大會への代議員は生産單位を基礎とする各ソヴェート(勞農兵委員會)より材、區、市、州の上級ソヴェートへ順次選出し最後に市より人口二萬五千人宛一人、州より十二萬五千人宛一人の割で大會へ選出す。選舉及被選舉權は例外を除き十八歳以上の男女にある。

ソ聯大會は四年振りて第七次大會を昨年一月開會し選舉法、勞働法に關する憲法の改訂を行つた。

大會休會中は大會が選任した聯邦中央執行委員會に最高權能がある。同委員會は民族的立場から聯邦會議と民族會議との二部に分れ年三回開會する。議員數は前者472名、後者138名。委員會の休會中は常任幹部會(委員27名)が主權を委され人民委員會(政府)を組織する。人民委員會は議長モロトフ、副議長の下に外務、國防、地方産業、食料産業、食料配給、外國貿易、農業、陸運、水運、郵電、重工業、輕工業、林業、國營農場、財政、國家計畫内務の各委員長を置く。

【財政】 1935年の歳入95901百萬留。歳出6540百萬留。主要收入は社會化經濟收入のうちの取引税52026、同企業收益控除金1726、同社會及健康保險收益1754等で支出は國民經濟費35157、國防費6500、教育費3734、國債費

1815、地方財政交付金8977等を主とする。

【産業】 産業は革命後社会主義建設の線に沿うて新経済政策の段階より第一次五ヶ年計畫を経て、更に第二次五ヶ年計畫に進み著るしい躍進を遂げ、農業一點張りの國たりしものが今や同時に工業國と云ふべき國となつた。だが農業の有する意義も甚だ大きい。その大部分が社会化、機械化され集團農場は既に全耕地の70%以上を占めトラクターは十三萬臺近くを有す。農産物は次の如くて小麦の二位、煙草の三位、玉蜀黍、棉花の三位を除けば何れも世界一位にある。最近産額は次の如し。(單位千噸)。

1933年		34年	1933年		34年		
小麦	27	730	30	400	馬鈴薯	50	810
大麥	7	850	6	840	棉花	409	418
ライ麥	24	190	20	130	亞麻	550	530
燕麥	15	410	18	900	大麻	154	
玉蜀黍	4	800	3	840	煙草	169	

家畜も世界屈指で1934年の牛42.4百萬頭、緬羊及山羊51.9百萬頭、豚17.3百萬頭を有す。森林に富み全土の約四割四分を占むるが開發は遅れてゐる。

礦産も豊富で原油を始め金、白金、鐵鑛、鉛、石炭、磷、過磷酸等がある。次は最近産額(單位千噸)。

1933年		1934年	1933年		1934年		
原油	21	400	24	150	鐵鋼	6	835
鐵鑛	14	517	21	700	石炭	75	837

鉄鐵…… 7 128……10 400 金……88……125 (隨)
原油及金は何れも世界二位、鐵鑛は同三位、鉄鐵は米國に次ぎ二位、鋼鐵は獨逸に次ぎ同三位、石炭は四位、白金は世界一だが最近産額は不明。工業部門の發展は著るしくその多くが國營化され製鐵所、トラクター工場、自動車工場等で世界的に巨大なものを有してゐる。

貿易】

	1932年	同33年	同34年
輸出	574.9	495.6	420.2(百萬留)
輸入	704.4	343.2	232.4()

1934年の主要輸出品は木材62、原油及石油60、毛皮32、木製品28、石炭及骸炭20等で輸入は皮革製品43、機械及同部分39、生ゴム16、羊毛12等を主とする。相手國は獨逸(輸出98:輸入29)、英國(62:46)、蒙古、伊太利(19:12)米國(14:18)、佛國(22:12)、白耳義等を主とす。

【金融及通貨】 國立銀行が紙幣發行權を有し1934年初の紙幣發行高3433百萬留。貨幣單位は金留10を一單位としたチェルヴオネツツだが現在チェルヴオネツツの金兌換は停止されてゐる爲め紙幣留が用ひられる。金留の對日平價比は1.03231圓だが、留の國外持出しは嚴禁され相場不明のため日ソ漁區問題では常に紛議の中心となつてゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は1932年現在 83.4千料。自動

車数は1935年初180千臺、航空路は1933年約37千料で旅客數42.5千人。郵便局は約14.4千局、電信局18.1千局。ラジオ放送局は約63、聴取者2.3百萬人(1934年末)。

【國防】軍隊は國民皆兵の徵兵制に基く赤軍で正規軍民兵軍より成り、民兵軍は更に基幹部隊及び交代部隊に分る。服役義務は十九歳より四十歳迄とし十九歳より二ケ年間準備教育を施し二十一歳より五ケ年を現役とし一部を正規兵(在營二年)に、一部を民兵に編入す。それ以後を豫備とす。民兵交代部隊の在營は歩砲兵を入ケ月騎兵十一ケ月とす。

正規兵は従來六十萬と公表されたが一昨年九十四萬に改定された。民兵は約六十萬。この外に國家保安部隊、ゲ・ペ・ウ)約十三萬を有したが1934年夏解隊され新設の内務人民委員會に屬し特別警備隊、國境警備隊に改編された。海軍は戰艦4、巡洋艦6、驅逐艦26、潜水艦18等で甚だ貧弱だが最近海軍復興五ケ年計畫によつてその充實が策されてゐる。空軍は飛行機約三千臺を有すと云はれるが、昨年七月には世界最大のゴルキー型十六機の建造に着手したと云ふ。

【教育】初等及中等教育は義務制とし従來は八歳より十七歳迄の單一勞働學校、(之を第一級及第二級に分ち第二級を更に一部二部に分ち第一級と二部を合したものを

七年制學校と云ふ)、農民學校、工場學校等で行つたが1934年5月學制改革が行はれ之等を統一し初等學校四年、乙種中學校七年、中學校十年の三種とし中學校より高等教育機關に連續することゝなつた。1934年の初等及中等學校生徒約24百萬人。高等教育機關はヴース(高等專門學校)と稱し三年制より六年制迄ある。別に此の豫科に當る「勞働科」があるが之は勞働組合等に屬する勞働者の爲めに設けられ、課程は三年乃至四年。以上のほか政治教育を主とする共産黨大學、共産黨學校がある。

西班牙(聯邦共和國)

REPUBLICA ESPANOLA

【面積及人口】	千方料	千人
本國(カナリ島共).....	504.7.....	24 242(1933年末)
植民地及保護地.....	340.0.....	935
計.....	844.7.....	25 177

主要都市は首府マドリツド1015千人、バルセロナ1061千人、ヴァレンシア341千人(1933年末)。移出民多く1933年69千人で亞爾然丁其他の中南米諸地へ向ふ。

【政治】1931年の革命によつて君主制を覆し共和制が樹立した(同國は嘗て共和制を採つた歴史を有す)。同年末新憲法を制定す。國會は一院制で473名より成り、二十三歳以上有權の男女普選による。大統領は國會及選舉

人團體が合同選出し任期は六年。

大統領 ザモラ Alcala Zamora y Torres (1931年12月選出)、内閣は首相の外十二相を以て組織する。同國は革命後左右兩派の抗爭絶えず幾度か亂争を起し一昨年の如きカタロニア州の獨立騒ぎを見た。

【財政】 1935年豫算歳入4238百萬ペセタ、歳出4508百萬ペセタ。主要財源は直接税、間接税、專賣益金等で支出は國債費、陸海軍省費、土木省費、文部省費が主。

【産業】 農業國で耕地は全土の約三割を占め主産物は次の如くて、小麥は世界八九位、大麥は同三位、馬鈴薯は七位、オリーブ油は同一位、葡萄酒は三四位。最近産額は次の如し(單位千廳)。

1933年 同34年		1933年 同34年	
小麥	3 762...4 725	馬鈴薯	4 882...4 567
大麥	2 177...2 812	オリーブ油	310... 228
米	295.....	葡萄酒	19.8... 20.4(百萬箱)

上記の外扁桃、榛子等の果實が豊富で亦養蠶も行はれる。家畜は羊類多く1931年、緬羊20.0(百萬頭)、山羊4.6、牛3.7、豚1.1等を有し羊毛産額は1934年34千廳で世界八位。鑛産は比較的豊富で鐵鑛類、銅、鉛、石炭、過磷酸石灰、水銀、亜鉛等があり1934年の黃鐵鑛1970千廳で世界七位鉛73千廳で同五位、石炭5337千廳。工業は紡績業を始めとし醸造、硝子、セメント工業等が主となつてゐる。

【貿易】

	1932年	同33年	同34年
輸出	742.....	673.....	613(百萬ペセタ)
輸入	976.....	837.....	861()

輸出は生果156, 乾果59, オリーブ油46, 葡萄酒43等を主とし主要輸入品は棉花92, 自動車及同部分品59, 化學肥料52, 機械類46, 鑛油41等。相手國は英國(輸出142: 輸入88)、佛國(95: 67)、米國(52: 147)、獨逸 68: 101)、白耳義、波蘭等。

【金融及通貨】 西班牙銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はペセタで對日平價比は 0.38710圓。大戰後金本位に復歸せずペセタの對外相場は著しく低落し、最近は金比で約58%減。

【交通及通信】 鐵道延長は13.6千料(1932年)。自動車數は168千臺(1935年初)。航空路は約2.4千料、郵便局約9.6千局、電信局2.9千局、無線電信局10。

【國防】 陸軍は徵兵制に基き二十一歳より十八ヶ年服役義務がある。現役は一年、豫備は五年。常備兵力は179千人で内、本國に133千人。海軍は戰艦2、巡洋艦7、潜水艦13、驅逐艦3等を有す。

【教育】 初等教育は義務制とするも教會は所屬學校で各自の宗教々育をなすことを許されてゐる。1932年の公立小學校36.3千校、生徒3.4百萬人、中等學校は同年101

大學11等がある。

▶カナリア諸島 面積7.5千方料、人口約565千人。阿弗利加西北近海に位す本國の附屬地でバナ、トマト、煙草等を産す。

▶西領モロツコ 面積28千方料、人口約750千人、葡萄牙の對岸に位し本國より派遣された高級委員監督の下にハリフが統治す。漁業及農業を主とし鮪、麥、オリーブ油を産す。鐵礦も出る。貿易は 1933 年輸出 14 百萬ペセタ、輸入76百萬ペセタ。鐵道約231軒がある。

▶リオデオロ及アドラル(イフニを含む)。面積285千方料、人口約20.8千人。農業は殆ど行はれず漁業を主とす。イフニは佛領モロツコ内にある面積2.5千方料、人口約二萬の地で古くより形式上西領となつてゐたが1934年正式に之を領有した。漁業を主とする外、棗、果實等の産もある。

▶西領ギネア 面積27千方料、人口約140千人、阿弗利加ギネア灣に臨むリオムニ、及近海のフェルナンド・ポ、エロビイ、コリスコ等の諸島を含む。主産物はカ、オ、パーム油、象牙等。フェ島は阿弗利加西海岸中最も土地肥沃と云はる。

アンドラ (共和國)

REPUBLICA DE ANDORRA

西佛國境のピレネー山中にある 面積 0.5 千方料、人口約 5.2 千人を有する古き小國で佛國政府及西班牙ウルゲル僧正の共同主權下に置かれ兩者へ毎年貢納をなす。議會は34名より成り、男女二十五歳有權の普通による。議會より一名の第一サンデイク(政府主腦者)を選出し行政權を附與す。産業は牧羊を主とす。通貨は西佛兩國貨を用ひ、郵便電話、教育等は佛國の管理下に置かれる。

葡萄牙 (共和國)

REPUBLICA PORTUGUESA

【面積及人口】

	千方料	千人
本國(附屬島共).....	92.....	7 090(1933年)
植民地.....	2 095.....	9 170
内 { 阿弗利加.....	2 072.....	7 920
{ 亞細亞.....	23.....	1 250
計.....	4 202.....	16 260

主要都市は首府リスボン人口594千人、オポルト 232千人(1930年*)。移出民は1933年 8.9 千人で此の内ブラジルへの移出は7.2千人。

【政治】 1910年の革命によつて共和制を樹立し翌年憲法を制定す。1926年再びカルモナを首班とする革命が起

り1932年カ氏獨裁の新憲法の制定を見た。國會は一院制で90名より成り、この内、45名だけ普通選挙による。大統領は直接選挙により任期七年、樞密會議の補佐を受ける。

大統領 カルモーナ Antonio Oscar de Fragoso Carmona (1926年選出後再選二回現在に至る)。内閣は首相の外九相を以て組織する。

【財政】 1934年度の豫算歳入 2178百萬エスキュド、歳出 2176百萬エスキュド。主要財源は間接税800、直接税600等で支出は國債費 329、陸海軍省費486、土木及遞信省費313を主とす。

【産業】 農業を主とし耕地は全土の約七割に及び葡萄酒、オリーブ油を始め小麦、ライ麦、玉蜀黍等を産す。葡萄酒産額は1934年7.0百萬頭で世界五位、オリーブ油も24千噸で同五位。家畜は綿羊が多く約四百萬頭 森林地は本土の約二割六分を占め松、櫟、コルク樹等に富み、コルクは産額世界一(1931年74千噸)で同國の重要輸出品漁業は相當盛で鱈類が多く、之等は鱈詰として多く輸出される。

鑛産の埋蔵豊富で石炭、鐵鑛、銅、錫等を有するが設備不足の爲め開發されぬ。工業は紡織、鱈糞詰等を主とし其他同國特有のタイル製造、レース織等が行はれる。

【貿易】 1934年輸出353百萬エスキュド(前年302)、輸

入 2124百萬エスキュド(同1905)。主要輸出品は葡萄酒151、鱈糞詰132、コルク107等で、輸入は棉花145、鐵136、石炭131、機械類129を主とす。相手國は英國 輸出180:輸入542)、獨逸 76:250)、米國(56:181)、白耳義、佛國等を主とす。

【金融及通貨】 ポルトガル銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位は エスキュドで對日平價比は 0.08876圓。現在金本位は停止されてゐるので對外相場は低落し、最近は金比で約10%減。

【交通及通信】 鐵道延長は4.2千軒(1933年初)。電信局744、無線電信局31がある。

【國防】 陸軍は徴兵制で十七歳より四十五歳迄服役義務を有し、現役四年、同豫備十六年、其他豫備八年とす。1934年初現勢力は本國約31千人、海外約11千人、飛行機129を有す。海軍は巡洋艦1、驅逐艦5、潜水艦 3、飛行機21を有す。

【教育】 初等教育は義務制とす。1931年度の小學校8.2千校、生徒442千人。中等學校37、師範學校5、大學3等がある。

▶アゾレス諸島及マデイラ諸島 本國南西に位しア島は面積約2.2千方軒で人口約253千人、マ島は約0.8千方軒で人口約212千人。何れも本國の管轄に屬す。

▶アンゴラ(葡領西アフリカ) 面積1256千方料、人口3098千人(1934年)。1575年領有の植民地で現在高級委員が統治す。主産物はコーヒー、玉蜀黍、砂糖、パーム及同油、蜜蝋、金剛石等。貿易は1933年の輸出247百萬アンゴラル、輸入176百萬アンゴラルで金剛石、コーヒー、玉蜀黍を主出す。貨幣はアンゴラルで本國エスキュドと等價。鐵道約2.3千方料。

▶モザンビク(葡領東アフリカ)、面積775千方料、人口4029千人(1934)。1891年の領有で現在總督が統治するがマニカ及ソファラ地方はモザンビク會社が管理する。主産物は砂糖、シザル麻、玉蜀黍、椰子實等。マ・ソ地方を除いた貿易は1933年輸出8百萬エスクド、輸入13。

▶葡領ギネア及ヴェルデ諸島等 ギネアは面積36千方料で人口約380千人。主産物は蜜蝋、米、獸皮等。1932年の輸出36百萬エスクド、輸入26。

ヴェルデ岬諸島は總面積3.9千方料で人口約160千人、シザル麻及良質のコーヒーを産す。セント・トーマス及プリンセス諸島は總面積0.9千方料で人口約60千人、カ、オ、コーヒー、コブラ等を産す。1932年の輸出33百萬エスクド、輸入19。

▶葡領印度 面積4千方料、人口580千人(1934年)、英領印度西海岸に點在するゴア、ダマン、ヂウを含み、鹽等を

産す。貿易は大部分仲繼貿易を行ふ。1932年の輸出3百萬留比、輸入16。

▶^{マカオ}澳門 香港附近に位し面積10千方料、人口約170千人の地で支那人による仲繼貿易を主とす。

▶葡領チモール ジャバ島東端近くのチモール島の東半で面積19千方料、人口約500千人。珈琲、コブラ等を産す。

白耳義 (王國)

ROYAUME DE BELGIQUE

【面積及人口】	千方料	千人
本國	30	8 245 (1933年末)
白領コップ	2 385	10 000
計	2 415	18 248
委任統治區域	55	3 500

主要都市は首府ブルツセル(近郊共)人口891千人、アントワープ(アンヴェルス)279千人、ガン168千人、リージェ164千人、(1933年末)。移出民は1933年16千人。

【政治】1830年所謂ネーデルランド王國より分離し翌年憲法を制定す。國會を二院制とし上院は153名より成り半數を直接選舉で、他を間接選舉で選出す。下院は187名より成り、選舉權は二十歳以上の男子にあるが戰死者の寡婦又は母等は有權とす。

國王 レオポルド三世 Leopold III (1901年生誕、

1934年2月即位)。内閣は首相の下に十二相を以て組織す。

【財政】 1935年の豫算通常歳入9842百萬法、同歳出9903百萬法。主要財源は直税、關稅及消費稅、印紙稅等で支出は國債費が最も多く其他教育費、國防費、社會保險費等とす。國債額は1934年10月末567億法。

【産業】 工業國の地位を占むるが農業も相當行はれる。耕地は全土の約四割を占め産物に小麥(1934年390千噸)、ライ麥(528千噸)、燕麥(682千噸)、馬鈴薯(3179千噸)亞麻、甜菜等があり亞麻は産額大體世界四位で1934年20.6千噸、家畜は牛1.8百萬頭、豚1.4百萬頭(1933年末)。

鑛産は石炭、亜鉛、鐵があり、石炭は産額世界七位、亜鉛は同二位、鉄鐵は同六位、鋼鐵は七位である。最近産額は次の通り(單位千噸)。

	1933年	1934年	1933年	1934年
石炭	25 278	26 366	鉄鐵	2 745
亜鉛	137.3	174.9	鋼鐵	2 731

工業は製鐵、硝子、人絹、自動車、製糖等のほか、醸造マツチ製造、亞麻工業、レース織等が行はれる。

【貿易】

	1932年	同33年	同33年
輸出	15 130	14 288	13 698(百萬紙幣法)
輸入	16 424	15 243	14 021()

1934年の主要輸出品は化學製品及藥品1018、鉄及鋼673、石炭539、寶石465等で輸入は機械器具762、小麥粉652、化學製品644、羊毛574等を主とす。相手國は佛國(輸出2409:輸入2337)、獨逸(1560:1998)、和蘭1548:1437)、英國(1847:1098)等を主とす。同國はルクセンブルグと關稅同盟を結んでゐる爲め上記數字は之を含む。

【金融及通貨】 國立銀行が紙幣發行權を有し1934年末の發行高177億法。貨幣單位はベルガだが國內取引上には尙舊紙幣法を用ひ、この比率をベ1ルガガ=5紙幣法とす。最近同國の財政經濟上の惡化はベルガ貨の危機を引起し昨年三月遂に二割八分の平價切下げを行ひ同時に金本位を停止した。これによつて佛國を中心とする金ブロックはその一角を切り崩された譯である。ベルガの對日舊平價は0.27895圓。

【交通及通信】 鐵道延道は9.8千軒(1932年)。自動車數155千臺(1935年初)。航空路は約5.7千軒。郵便局1.7千局、無線電信局232(1933年)を有す。

【國防】 陸軍は徵兵制及志願制とし、徵兵は服役二十五年で正規軍に十五年、地方軍に十ヶ年服し、志願兵は年齢によつて三年、四年、五年の服役規定がある。1934年の常備兵力は65千人、飛行機195を有す。海軍は財政上の關係から廢止されてゐる。

【教育】 1933年末の小學校 8.6 千校、生徒 974 千人、中等諸學校 160、綜合大學 4 等のほかに、師範、工業、商業等の諸學校がある。

▶白領コンゴ 面積 2385 千方料、人口約一千万。1885 年白國の支配に屬し現在は本國植民地大臣監督の下に植民地委員會が重要事項を議し現地は總督が統治す。

農産にはパーム及同油、棉花、カ、オ、コーヒー、砂糖等がありパーム油は産額世界二位で 1933 年 80.4 千噸。鑛産は相當豊富で銅、金、金剛石、ラヂウム等があり、銅は産額世界五位で 1934 年 110 千噸、同年金 11.7 噸、金剛石は 1933 年 1737 千カラット、ラヂウム 6 瓦(世界一)。

貿易は 1933 年の輸出 658 百萬法、輸入 389 百萬法で輸出の主なるものは金 180、銅 102、パーム油 70 等で主要輸入品は食料品 77、棉花 52、機械 42、鑛油 30 等。相手國は白耳義本國 輸出 501 : 輸入 168) 第一とし英國、獨逸、米國等。鐵道延長は 4.6 千方料 (1934 年初)。主要都間に航空路がある。軍備は本國同様徴兵及志願による土人軍約一萬三千を有す。教育は教會と政府とが協力して行ふ。

▶ルアンダ及ウルンチ 面積 55 千方料、人口約 3500 千人。白領コンゴの東部に位する舊獨領で 1925 年以降白國の委任統治地となつてゐる。同地方は優良種の牛多く、パーム油、獸皮も産す。1933 年の輸出 12 百萬法、輸

入 23 百萬法。

ルクセンブルグ (公國)

LUXEMBURG

【面積及人口】 面積 2.6 千方料、人口 303 千人 (1933 年)。首府ルクセンブルグ人口 54 千人 (1930 年)。

【政治及財政】 1867 年の倫敦條約に従ひ中立國として獨立し翌年憲法を制定す。國會は一院制で 54 名より成り二十一歳以上男女有權の普選による。別に國家會議なるものがあり法律案の審議及元首の諮問に答ふ。

大公女 シヤルロット Charlotte (1896 年生誕、1919 年即位)。内閣は國務大臣一名、總監三名より成る。1935 年の豫算歳入 318 百萬法、歳出 315 百萬法。

【産業及貿易】 農業は人口の約三割が之に従ひ燕麥、馬鈴薯等を産するが同國は寧ろ鑛産地として名がある。1934 年の鐵鑛産額は 3828 千噸で世界六位、銑鐵 1655 千噸、鋼鐵 1932 千噸で何れも世界七、八位を占む。家畜は豚がやゝ多い (1934 年 152 千頭)。

貿易は白耳義と關稅同盟にある關係上計數は不詳。

【通貨】 貨幣單位はルクセンブルグ法で、之は 1925 年の法律に従ひ白耳義法と等價になつてゐるが昨年四月白耳義の平價切下げに追隨し法の一割切下げを行つた。舊

ルクセンブルグ法の對日平價比は0.27895圓。

【交通及通信】 鐵道延長は539軒(1932年)。郵便局141電信局157(1932年)。

【教育】 初等教育は六歳より十三歳まで義務制となつてゐる。中等以上に師範學校2、工業學校4 商工専門學校2、其他農商鑛等の學校がある。

和蘭 (王國)

KONINKRIJK DER NEDERLANDEN

【面積及人口】

	千方軒	千人
本國.....	34.....	8 290(1933年)
植民地.....	2 051.....	60 963(1932年)
内譯 { 亞細亞.....	1 900.....	60 730
{ 亞米利加.....	151.....	233
計.....	2 085.....	69 253

主要都市は首府ハーグ人口469千人(王城地)、アムステルダム778千人(政廳地)、ロッテルダム558千人、ウトレヒト16'千人(以上1934年初)。

【政治】 1813年佛國の羈絆より脱し其後所謂ネーデルランド王國を形成したが1830年白耳義は之より分離した憲法は1814年制定後數回訂正す。國會は二院制とし第一議會は50名、第二議會は100名より成り、第二議會は男女二十五歳以上有權の普通選舉による。このほか元首を

議長とし立法及行政の諮問に當る國家會議がある。

元首 ウイルヘルミナ女皇 Wilhelmina Helena Pauline Maria. (1880年生誕)。内閣は首相の外七相を以て組織す。

【財政】 1935年豫算歳入653百萬ギルダー、歳出783百萬ギルダー。財源は消費税218、輸入税99、所得税61、相續税33等を主とし支出では文部省費148、國債費147、社會省121、費國防省費88等を主とす。

【産業】 農牧を主とし耕地は全土の約二割六分、牧場は同約四割に當る。主産物は小麥468千廳、燕麥263千廳ライ麥414千廳、亞麻4.5千廳(1934年)、甜菜等がある。家畜は1934年5月牛2.8百萬頭、豚2.0百萬頭のほか種羊、馬等を有す。漁業は北海を控え相當盛んで鯨、牡蠣等の産が多い。

鑛産は餘り豊でなく石炭(1934年12.3百萬廳)、岩鹽等があるのみ。工業は造船、製糖、醸造、紡績、煙草、煉乳製造等を主とし1934年の甜菜糖産額は218千廳。

【貿易】

	1932年	同33年	同34年
*輸出.....	846.....	726.....	712(百萬ギルダ)
*輸入.....	1 299.....	1 209.....	1 038()

主要輸出品は織物62、石炭43、チーズ28、バタ22等で、輸入は織物149、銑及鋼81、穀物及小麥粉72、木材56等を

主とす。相手國は獨逸 輸出176：輸入296)、英國 (135：97)、白耳義ルクセンブルグ (81：108)、米國、蘭領印度等を主とす。

【金融及通貨】 和蘭銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はギルダー亦は之と等價のフロリンを用ふ。ギルダーの對日平價比は 0.80640 圓。現在佛國等と所謂金ブロックを形成し金本位を維持してゐるので對外相場は殆ど變動ない。

【交通及通信】 鐵道延長は3.7千軒(1933年)。自動車約144千臺 (1935年初)。航空路はよく發達し 23.4千軒 (1934年)。郵便局約1.3千局、電信局2 3千局。

【國防】 陸軍は徴兵制及志願制とし十九歳より四十歳迄服役義務がある。現役在營は兵科により五ヶ月乃至十五ヶ月とし、1934年の現勢力は約18千人、飛行機約二百を有す。海軍は海防艦3、巡洋艦2、驅逐艦3、潜水艦28、同母艦2、砲艦2等を有し主に蘭領印度の防備に當る。

【教育】 初等教育は七歳より十三歳迄を義務制とす。1933年度の小學校8.3千校、生徒1258千人、各種中等諸學校430、綜合大學4、農學校104等がある。

蘭領東印度

【面積及人口】

	千方軒	千人
ジャバ及マヅラ.....	133.....	41 718 (1930年)
外 { スマトラ.....	423.....	7 661 ()
ホルネオ.....	534.....	2 164 ()
領 { セレベス.....	190.....	4 228 ()
ニウギネア	620.....	4 929 ()
モルツカ諸島其他		
計.....	1 900.....	60 730

全地の人口は 1935年 63500千人。主要都市はバタヴィア人口435千人、スラバヤ345千人、サマラン218千人 (1930年*)。

【政治及財政】 1602年東印度會社の創設と共に約二世紀に涉り同社の管理に屬したが1793年本國の直接支配下に置かれた。現在僅少の土人自治領を除き總督の直轄地でこの内ジャバ及マヅラ以外を外領と呼ぶ。外領は土人理事州に分れ自治を行ふ。蘭印の立法機關は國民參議院と稱し61名より成りこのうち土人30、和蘭人25、其他5とす。行政は總督を首班に評議院が當る。1935年の豫算歳入427百萬盾、歳出502百萬盾。

【産業】 資源豊て特に農産に恵まる。産物は次の如く種類に富みゴム、コブラは世界二位、茶、珈琲は同三位米は四位、パーム油は同二位、煙草は六位で甘蔗糖も世界二三位を占めたが最近は生産制限の爲め産額は著しく減じた(單位千匁)。

	1932年 同33年	1933年 同34年
珈琲	133.....105	ゴム.....285.....385
茶	82.....75	コブラ.....497.....440
煙草	45.....39	甘蔗糖.....617.....479
米	5 650...5 060	パーム油...126.....133

このほか規那(1933年7.5千吨)がある。家畜は牛類が多く、1933年牛5.0百萬頭、水牛3.3百萬頭。鑛産にも恵まれるが原油、錫を除いては開發は遅れてゐる。1934年の原油産額6042千吨(前年5527)で世界七位、錫鑛2千吨(前年13)で同三位。

【貿易】 1934年の輸出 551 百萬盾(前年493)、輸入295 百萬盾(同331)。主要輸出品は原油89、ゴム89、砂糖15、茶45、煙草39等で輸入は絲類及布帛94、飲食料品74、化學製品26、金屬26等を主とす。相手國は日本(輸出19 輸入93)、和蘭(143:38)、英國 38:29)、米國(56:18)等が主である。

蘭印はわが貿易相手國中第七位、1934年のわが輸出 158 百萬圓に對し輸入63百萬圓でその多くが原油、生ゴム、砂糖等。輸出は綿布、人絹布、鐵器等を主とし而も之等が最近著増した。この進出をめぐつて日蘭會商が開かれたが同會商は開會以來兎角圓滿を缺き一昨年未遂に妥協成らずして休會し現在その儘となつてゐる。

【金融及通貨】 ジャバ銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位は本國同様ギルダー(盾)で對日平價比は 0.80640圓。

【交通及通信】 鐵道延長約 7.4 千軒。航空路は本土主要都市間の外に本國アムステルダムよりバタヴィアへの世界最長線がある。自動車數54千臺(1935年初)。郵便電信局40、電信局所823(1933年)。

【國防】 陸軍は本國とは別箇に植民地軍を組織し、本國に國籍を置く蘭人は徴兵制により、其他の白人及土人は志願制による。徴兵は十九歳より三十二歳迄民兵として其後四十五歳迄國民兵として服す。1933年末の現勢力は徴兵約30千人、志願兵31千人、海軍は東印度艦隊の外に海軍航空部隊(飛行機62を有す)、植民地海軍がある。

【教育】 初等教育は言語の相違によつて歐人小學校、蘭支小學校、蘭土小學校に分ち何れも七年制とす。1933年の歐人小學校 279、蘭支小學校 108、蘭土小學校359。このほかに五年制及六年制の土人學校約三千、部落學校約一萬六千がある。中學校24、高等學校3、其他農商學校、法醫等の専門學校がある。

▶ 蘭領西印度 スリナム(別稱蘭領ギアナ)及びキュラサオより成る。スリナムは面積150千方軒、人口161千人(1933年)を有す。農業を行ひ甘蔗を始め、コーヒー、米、カ、オ、バナ、等を産し鑛産に砂金(1933年386吨)がある。貿易は1933年の輸出3.8百萬盾で砂糖、ラム酒、コーヒーを出し輸入は4.9百萬盾。

キュラサオはヴェネズエラ北岸近海のキュラサオ島、ボナイレ島、アルバ島其他三島より成り總面積1.0千方料、人口79千人(1933年末)。産物に玉蜀黍、燐鑛石がある。ヴェネズエラより原油を輸入し行ふ精油工業は同地の重要産業である。貿易は1933年の輸出195百萬盾、輸入150百萬盾で何れも石油が大部分を占む。

丁抹 (王國)

KONGERIGET DANMARK

【面積及人口】

	千方料	千人
本國.....	42.9.....	3 656(1934年初)
フェル諸島.....	1.4.....	25
グリーンランド...	2 176.....	17
計.....	2 220.....	3 698

主要都市は首府コペンハーゲン人口(近郊共)771千人、アルフス81千人、オデンセ57千人、ア、ルボルグ44千人(1930年)。

【政治】 王國の歴史古く現憲法は1849年の^{クルンドロフ}憲法に基づき1915年制定さる。國會は二院制で上院は75名より成り任期八年、間接選挙による。下院は149名より成り任期四年、二十五歳以上有權の男女普選による。この149名の内117名を比例制により1名をフェル島より殘數を票數不足の各政黨より配分して採る。

國王 クリスチヤン十世 Christian X (1870年生誕)
内閣は首相以下十相を以て組織される。

【財政】 1935年度の豫算歳入385百萬クローナ、歳出382百萬クローナ。主要財源は直接及間接税404で之より官業缺損等を控除せるものが前記歳入額。支出は社會省費132、文部省費66、陸海軍省費53等を主とす。

【産業】 農牧を主とす。土地集中は法律によつて防がれるため小農制による所謂丁抹農法が発達してゐる。耕地面積は全土の約四割五分を占め、牧草地は同約三割。産物は大麥950千廳、小麥340千廳、燕麥980千廳、ライ麥280千廳(1934年)、馬鈴薯、甜菜等がある。家畜は牛豚が多く1934年7月現在の牛3.1百萬頭、豚3.1百萬頭。このほかに鶏約26百萬羽を有し畜産品たるバタ、鶏卵等は重要輸出品である。漁業も相當活潑で1933年の漁獲高35百萬クローナ。

工業はバタ、麥酒、砂糖等の食料工業を中心に其他機械製造、窯業、紡織等がある。

【貿易】

	1932年	1933年	1934年
輸出.....	I 136.....	I 213.....	I 236(百萬クローナ)
輸入.....	I 142.....	I 266.....	I 356

1933年の主要輸出は食料品(豚肉、バタ、鶏卵、魚類等)915、船車機械48等で輸入は穀類124、織物127、金屬及鐵

製品123、石炭100等を主とす。相手國(1934年 は英國輸出737：輸入407)、獨逸(188：289)、瑞典(75：102)、諸國、米國等。

【金融及通貨】 國立銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はクローネ Krone (複數はKroner) で對日平價比は0.53763圓。現在金本位を停止してゐる爲めクローネの對外相場は著るしく低落し、最近は金比で約50%減。

【交通及通信】 鐵道約5.3千軒(1934年)を有す。自動車數126千臺、1935年初。航空路1.3千軒(1934年夏)、郵便局1.4千局、電信局1.0千局。

【國防】 陸軍は兵制により二十歳より現役、豫備各八ケ年とす。服役と共に約三ケ年に涉り順次各兵科の教育を受く。常備兵力は約一萬四千、飛行機約百を有す。海軍は海防艦2、潜水艦8、漁船警備船5、水雷艦22等を有す。

【教育】 初等教育は七歳より十四歳迄を義務制とす。1933年の小學校4.5千校、中等程度の學校は國民高等學校(folkehojskoler) 60、農園藝學校21、工業學校303、其他商業、師範等がある。綜合大學は二校。尙政府は公民及農業教育獎勵の爲め國民高等學校及農業學校に年額百四十萬クローナの補助金を與へてゐる。

▶フェル諸島 英國及アイスランドの中間の大西洋上

に位し漁業を主とし、魚類、鯨油等の輸出もなす。

▶グリーンランド 面積2176千方軒でこのうち無結氷地帯は313千方軒。人口約17千人で西部地帯に多く、エスキモー人が居住す(約16千人)。東部地帯には近年石炭のあることが發見された。貿易は丁抹政府とのみ行はれ1933年41百萬クローナ、輸入2.1百萬クローナ。

アイスランド(王國)

ISLAND

【面積及人口】 面積103千方軒、人口113千人(1933年末)。首府ライキヤヴィク人口32千人(1933年)。

【政治】 1918年丁抹より獨立したが之と人的連合條約を結び丁抹王を同國王に推戴した。(同條約は1940年迄有効)。1920年憲法を制定す。國會をAlthingと稱し二院に分ち總員49名、この内18名を上院に、28名を下院に當てる。選舉は男女二十一歳以上有權の普選による。内閣は首相以下二相を以て組織す。

【財政】 1935年の豫算歳入14百萬クローナ。歳出13百萬クローナ。主要財源は關稅及消費稅6.5、其他稅4.8等で支出は國債費1.5、遞信費2.6、宗務及文部費1.9等が主。

【産業】 農業は耕地甚だ少なく全土の約3%を占むるに過ぎず産物も馬鈴薯、燕麥、乾草等に止まる。家畜は

綿羊(1933年729千頭)、牛(同32千頭)等を有す。漁業は此の國の主産業で鱈、鯨等の産が多い。1932年の漁獲高は24百萬クローナで、このうち鱈産額20百萬クローナ。

【貿易】 1934年の輸出45百萬クローナ、輸入49百萬クローナ。輸出は魚類が大部分を占め輸入は織物、穀類、油脂、石炭等を主とす。相手國は英國、西班、丁抹、獨逸等を主とす。

【金融及通貨】 國立銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はクローナ Krona (複数は Kronur) で丁抹のクロネと等價。丁抹の金本位停止後それに連れて對外相場は下落してゐる。

【交通及通信】 鐵道はなく自動車为主要交通機關である。1933年の自動車數1.6千臺。郵便局333、電信局約390を有す。

【國防】 1918年の連合條約に従ひ永久中立國として軍備を廢してゐる。

【教育】 初等教育は十歳より十五歳迄を義務制とし十歳以前は一般に個人教育を施す。小學校約 233、中等學校2、高等學校3、農業學校2、綜合大學1等のほかに師範學校、高等商業等がある。

瑞典 (王國)

SVERIGE

【面積及人口】 面積 449千方料、人口6213千人 (1933年末)。主要都市はストックホルム人口 522千人、ゲテボルグ 253千人、マルメー 123千人 (1934年初)。移出民は1933年2.4千人で四割近くが米國へ向ふ。

【政治】 十五世紀末以降の王國で憲法制定は1805年。國會を二院制とし第一議院(上院)は150名より成り任期八年地方議會及六都市代表者中より選出す。第二議院(下院)は 230名より成り任期四年、男女二十三歳以上有權の普選による。

國王 グスタフ五世 Gustaf V (1858年生誕、1907年即位)。内閣は首相のほか十相を以て組織す。

【財政】 1934年度の豫算歳入出各1106百萬クローナ。主要財源は酒煙草消費稅 242、所得及財産稅 154、關稅 121等で支出は文部及宗務費 140、内務費 137、國防費112等を主とす。

【産業】 所謂農林國で農業は山地のため耕地は甚だ少いが農村電化によつてよく發達し、農民は國民の約四割を占む。主産物は燕麥1231千廳 (世界八位)、小麥 772千廳、ライ麥 525千廳、馬鈴薯1942千廳 (1934年)、蔬菜等が

ある。家畜は1933年牛3.1百萬頭、豚1.6百萬頭、
 森林地は全土の約五割三分に及び用材及パル材に富み之
 等は同國重要産業たる製紙製材工業の基幹をなしてゐる
 漁業も行はれ1933年の漁獲高25百萬クローナ。
 鑛産には良質の鐵鑛を始め銀、亜鉛、鉛、銅、石材等が
 ある。1934年の鐵鑛産額5253千噸で世界四位。工業は前
 記製紙製材工業を始め機械製造、製鐵、紡織工業等があ
 り水力發電業もよく發達してゐる。1934年のパルプ産額
 2815千噸で世界三四位。紙類 750千噸で同三、四位。

【貿易】	1932年	同33年	同34年
輸出	947	1 079	1 294(百萬クローナ)
輸入	1 155	1 096	1 299

主要輸出品はパルプ及紙 387、木材 217、金屬及同製品
 機械及同部分品 108等で輸入は綿絲及綿布 252、鑛物209
 穀類 158、金屬類 156等を主とす。相手國は英國（輸出
 332：輸入254）、獨逸（180：340）、丁抹（86：76）諾威
 （84：49）芬蘭等が主。

【金融及通貨】 瑞典國立銀行は紙幣發行權を有す。貨
 幣單位はクローナ Krona（複數 Kronor）で丁抹のクロ
 ーネと等價。クローナの對日平價比は0.53763圓。現在金
 本位制を停止してゐる爲め對外相場は低落し、最近は金
 比率で約44%減。

交通及通信」 鐵道延長は1933年末16.8千軒、自動車

數 141千臺(1935年初) 航空路2.6は千軒(1934年夏)、郵便
 局3.9千局、電信局3.9千局(1933年末)。

【國防】 陸軍は徵兵制により二十歳より四十二歳迄服
 役義務がある。現役は十五ケ年、其後は國民兵役とす。
 此のほかに教練指導に當る常任幹部兵 志願 がある。19
 33年の現勢力は約28千人、空軍は飛行機 167を有す。海
 軍は戰艦10、巡洋艦 3、驅逐艦13、潜水艦15等を有す。

【教育】 初等教育は七歳より十四歳迄を義務制とし非
 入學者は所定の課程を個人的に修むるを要す。1933年の
 兒童數 663千人。中等學校は同年 136、國民高等學校55
 師範學校 8、大學 2等がある。

諾威 (王國)

NORGE

【面積及人口】	千方軒	千人
本國	323	2 858 (1933年)
屬領	65	0.8

主要都市は首府オスロ人口 253千人、ベルゲン98千人、
 トロニエム54千人(1930年*)。

【政治】 古き王國で一時丁抹、瑞典等に合同されたが
 1905年現王を丁抹より迎え獨立す。現憲法は 1814 年の
 グルンドルフ基礎法に基く。國會は Storting と稱する特色ある一

院制で 150 名より成る。此の四分の一を以て第一議院を、残りは第二議院を組織し議案は兩院個々に審議するが異見ある場合は一堂に會し總投票數三分の二以上を以て決す。選挙は男女二十三歳以上有權の普選による。

國王ハアコン七世 Hakon VII (1872 年生誕、1905 年即位)。内閣は首相以下八相を以て組織す。

【財政】 1935 年度の豫算歳入出各 409 百萬クローナ。主要財源は關稅、所得及財産稅、酒稅及煙草稅等で支出は文部及宗務費、國防費、國債費等を主とす。

【産業】 農業は高山溪谷に阻まれ耕地甚だ少なく産物も燕麥(1934 年 176 千噸)、大麥(116 千噸)、馬鈴薯(801 千噸)、小麥等があるが不足を告げ毎年穀類小麥粉等を多量に輸入してゐる。家畜は 1934 年牛 1.3 百萬頭、緬羊 1.7 百萬頭のほか豚 550 千頭がある。

農業に比し林業の意義は大きい。森林地は全土の約二割四分を占め松、樺等に富みパルプ材によく之等製品の輸出額は同國輸出額の二割以上に及ぶ。漁業は古來漁業國と云はれた程に主要性を有し鱈、鯨、鯖、鮭等を多獲する。1933 年の漁獲高は 64 百萬クローナ。捕鯨もよく發展し鯨油の産が多い。

鐵産は黃鐵礦(1934 年 864 千噸)を始め鐵礦(474 千噸)、亜鉛(45 千噸)、アルミニウム(16 千噸世界四位)等がある。

工業はパルプ及製紙、製材、釀造、電氣化學工業が重要性を帯び其他紡織、機械製造等が行はる。1933 年のパルプ産額 855 千噸、紙類産額 351 千噸。

【貿易】 1934 年の輸出 578 百萬クローナ(前年 558)、輸入 735 百萬クローナ(同 665)。1933 年の主要輸出品はパルプ及紙類 128、魚類 112、金屬及同製品 86 等で輸入は鐵物 82、船車機械類 81、織物類 70、麵粉麥粉 58 等を主とす。相手國は英國(輸出 114 : 輸入 152)、獨逸 70 : 139) 米國 60 : 46)、瑞典、丁抹等を主とす。

【金融及通貨】 諾威銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はクローネ Krone (複數 Kroner) で之は 1875 年、丁抹、瑞典及諾威三國間に結ばれた同一貨幣制に基いてゐる。クローネの對日平價比は 0.53763 圓。現在金本位制を停止してゐる爲め對外相場は低落し、最近は金比で約 45% 減。

【交通及通信】 鐵道延長は 4 千軒(1933 年 6 月)。船舶(百噸以上)は 1935 年 6 月 1862 隻 3968 千噸で日本に亞ぎ世界四位を占む。自動車數は 1935 年初 59 千臺。航空路はオスロよりレフト・ハンザ會社線がある。郵便局約 4.4 千、電信局 3.4 千、無線電信局 10 等。

【國防】 陸軍は徵兵制で十八歳より五十五歳迄服役義務がある。二十一歳より三十三歳迄現役に、其後四十五

歳迄後備に其他は國民兵に編入される。1934年の常備兵力は6.7千人。海軍は戦艦 4、驅逐艦 3、潜水艦 9、水雷艇 17等を有し空軍は1931年當時飛行機 36を有す。

【教育】 初等教育は七歳 (都市は六歳半)より十四歳迄を義務制とす。1931年度の小學生徒 403千人。中等學校 135、師範學校 10等で大學はオスロに1校ある。其他農工の専門學校、特殊學校がある。

▶スピッツベルゲン及附屬諸島 面積65千方料、人口約0.8千人。1194年に發見され其後諾威、和蘭、英國等が領有を争つたが結局1925年諾威領となつた。石炭を主産し北極探險の根據地に利用される。

▶ヤンマイエン島及其他 ヤ島はグリーンランド、諾威間の大西洋上に位し1929年諾威領となる。其他のボウフェット島及ペータ島は南大西洋の孤島でボ島は1930年、ペ島は1931年の領有。

芬蘭 (共和國)

SUOMEN TASAVALTA

【面積及人口】 面積 388千方料、人口3534千人 (1933年)。主要都市は首府ヘルシンキ (ヘルシングフォルス) 人口 269千人、ツルク(オーボ)69千人、タンペレ58千人 (1933年)。

【政治】 1917年露西亞より獨立し1919年新憲法を制定し共和制を布く。國會は一院制で 200名より成り任期三年、二十四歳以上有權の男女普選による。大統領は直接選挙により任期六年。

大統領 スヴィンフヴド、Pebr Evind Svinhufvud (1931年2月選出)。内閣は首相以下十相を以て組織す。

【財政】 1935年の豫算歳入 33.6百萬マルカ、歳出3355百萬マルカ、主要財源は關稅 1383、直接稅 521、消費稅 328等で支出は國防費 521、文部及宗務費 470、農務費 363 國債費 261等が主。

【産業】 農林國である。農業は湖沼等のため耕地は甚だ少ないが人口の六割以上が農民によつて占められる。主産物はライ麥 395千噸、大麥 218千噸、燕麥 771千噸 馬鈴薯 1160千噸 (1934年 等で家畜には牛 1.7 百萬頭、豚 435千頭、種羊 973千頭を有し畜産品にバター等があり、1933年の産額 24千噸。

森林面積は約 252千方料で全土の六割五分を占め用材及パルプ材に富み之等及製品の輸出額は實に同國輸出額の約八割以上に及んでゐる。鑛産は甚だ貧弱で見るべきものはない。工業は林産品中心の製材製紙工業を第一とし其のほか製鐵、機械工業、紡織工業がある。1934年の化學パルプ産額は 1021千噸 (世界六位)、洋紙 421千噸。

【貿易】 1934年の輸出6217百萬マルカ(前年5298)、輸入4772百萬マルカ(同3928)。主要輸出品は木材3020、パルプ及紙2278、畜産品 399等で輸入は金屬類 681、織物類 455、植民地産品(珈琲、茶等) 401、機械類362等を主とす。相手國は英國(輸出2910:輸入1091)、獨逸(631:990)、米國(429:412)、瑞典(161:497)等を主とす。

【金融及通貨】 芬蘭銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はマルカ Markka で對日平價比は0.05053圓。現在金本位を停止してゐるため對外相場は低落してゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は5.4千軒(1933年末)。航空路約 390軒。郵便局3.3千局、電信局 465がある。

【國防】 陸軍は徴兵制で十七歳より六十歳迄服役義務がある。二十一歳より約一ヶ年在營し其後四十歳迄豫備役に、其後は國民兵に服す。1935年の常備兵約31千人、空軍は飛行機70、このほかに志願制による國民自衛團約十萬がある。海軍は海防砲艦 2、砲艦6、潜水艦 4、水雷艇7、等を有す。

【教育】 初等教育は七歳より十五歳迄義務制とす。1933年の小學校53千校、都市高等小學 1.5千級。同年の中等學校30、大學豫備學校 136、國民高等學校57で綜合大學 3がある。此のほか師範、商業、農業、工業等の諸學校がある。

ラトヴィア (共和國)

LATVIJAS REPUBLIKA

【面積及人口】 面積66千方軒、人口1939千人(1933年)。主要都市は首府リガ人口 378千人、リーパーヤ(リバウ) 57千人、ドヴィレスク43千人(1930年*)。

【政治】 1918年露西亞より獨立し1922年憲法を制定。共和制を樹立す。議會は一院制で 100名より成り任期三年、二十一歳以上有權の男女普選による。大統領は議會より絶對多數を以て選出し任期三年とす。

大統領 クヴィーシス Albert Kviesis (1933年 4月選出)。

内閣は首相以下九相を以て組織す。

【財政】 1934年度の豫算歳出入各 151百萬ラツト。主要財源は租税、專賣益金等で支出は國防費、文部費等を主とす。

【産業】 農業を主とし耕地は全土の約三割を占め、産物に亞麻纖維16千噸を始めライ麥 412千噸、燕麥 389千噸、大麥 18千噸、小麥 219千噸(1934年)を有し亞麻は産額世界五位である。家畜は1934年牛 1.2百萬頭、綿羊 1.2百萬頭、豚 686千頭を有し、バターは主要輸出品となつてゐる。森林地は全土の約二割五分を占め用材は同國

輸出の約三割を占むる重要品である。鑛産には見るべきものがない。工業は製材製紙を始め紡織、食品工業、醸造、金屬工業等がある。

【貿易】 1934年の輸出86百萬ラツト(前年82)、輸入95百萬ラツト、(同91)。1933年の主要輸出品は木材28、バター21、亞麻 3等で輸入は飲食料品、石炭、棉花等を主とす。相手國(1934年)は獨逸(輸出25:輸入23)、英國(30:21)、ソ聯邦、白耳義等とす。

【金融及通貨】 ラトヴィア銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はラツト Lat で瑞西法に相當し對日平價比は0.38710圓。現在金本位制を停止してあるが爲替管理によつてその對外相場の變動を防いである。

【交通及通信】 鐵道延長は1934年初2.9千軒 郵便局1.4千局、電信局1.2千局、無線電信局 4等がある。

【國防】 陸軍は徴兵制で二十一歳より五十歳迄服役義務がある。現役在營は歩兵一年、其他は一年三ヶ月とす。常備兵力は約25千人で航空隊一、飛行機約80を有す。海軍は潜水艦 2、其他艦船 4がある。

【教育】 初等教育は概ね官公立學校で行はれるが少數民族はその民族語による初等中等學校の設置を許されてゐる。1933年度の小學2057、此の内少數民族の小學校351。中等學校は 138、で此の内少數民族の學校56。綜合大

學 1、ほかに工業、美術、音樂等の學校がある。

エストニア (共和國)

EESTI VABARIIK

【面積及人口】 面積48千方軒、人口111.6千人(1934年3月)。主要都市は首府タリン(レヴァル)人口 135千人、タルトゥ(ドルパツト)76千人(1934年)。

【政治】 1918年露西亞より獨立し1920年憲法を制定、共和制を布く。1934年 1月憲法を修正し議會(一院制)の成員を 100名より50名に減じ任期三年を四年に改め、且つ任期五年の大統領を選出することを規定した。議會の選挙は従前通り普選により、亦大統領の選任を見る迄は首相(之を従來國首と呼んだ)が代理をなす。

首相兼假大統領 パエツ Konstantin Päts (1933年10月就任)。

【財政】 1935年度豫算歳入出各 66.5百萬クローン。主要財源は間接税及直接税、營業收入等で支出は軍事費、郵便電信費等が多い。

【産業】 農牧を主とす。耕地は全土の約二割四分、牧場及牧草地は同約三割七分を占む。主産物はライ麥 230千噸、燕麥 160千噸、大麥 115千噸、馬鈴薯 892千噸、亞麻纖維7.1千噸(1934年)等。家畜には牛 646千頭種羊

552千頭、豚 232千頭、家禽 1.2百羽等があり畜産品のバターは同國輸出額の約二割七分を占むる重要品である。林業は農業に並ぎ主要性があり、森林地は全土の約二割二分を占め用材は多く輸出される。

鑛産は僅かに油母頁岩(1933年500千噸)がある。工業は織物、製紙、製材、製油工業等が行はれる。

【貿易】 1934年の輸出69百萬クローン(前年46)、輸入55百萬クローン(同39)。主要輸出品は乳肉製品17、木材類13、纖維素及紙 7、織物10等で輸入は棉花 8、綿絲 7、化學製品 6、食料品等を主とす。相手國は英國(輸出28:輸入9)、獨逸(15:2)のほか、米國、ソ聯邦等を主とす。

【金融及通貨】 エストニア銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はエストニア・クローン Kroon (Ekr. と略記す)で瑞典のクローナと等價の建前だが1933年 6月33.5%の切下げを行ひ金本位を停止した。現在對外相場は爲替管理にも係はらず低落してゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は1.4千軒(1934年)。郵便局3.3千、電信局606(1933年)。

【國防】 陸軍は徴兵制で現役在營は一ケ年とす。1934年の常備兵力は10.6千人、空軍は飛行機68を有す。海軍は潜水艦 1、水雷艇 1、砲艦 4等がある。

【教育】 初等教育は義務制とす。1932年度の小學校は

1253。中等學校は69。綜合大學は 1。其他農、商、工業等の學校がある。尙同國はラトヴィア同様少数民族は初等中等教育を通じ各民族語による教育を受く。

リトワニア (共和國)

LIETUVA

【面積及人口】 面積56千方料、人口2451千人(以上メーメル地方を含む)(1934年)。主都はコウナス(コヴノ)人口 103千人 1934年)。ヴイルナ(1914年人口215千人)。コヴノは政廳所在地で實質上の首府だが同國はヴイルナ(隣接波蘭領内にあるもの)を首府として主張してゐる。

【政治】 1918年露西亞より獨立、1922年憲法を制定し共和制を布く。議會は一院制で 112名より成り任期五年男女二十四歳以上有權の普選による。大統領は一般投票により任期七年。

大統領 スメトナ Antanas Smetona (1932年就任)。

【財政】 1933年の歳入 257百萬リタス、歳出 250百萬リタス。主要財源は直接税(特に關稅)官業收入、間接税等で支出は遞信事業費、國防費、文部費等を主とす。

【産業】 農牧に並いで林業を主とす。耕地は全土の約五割、牧場及草地は同二割五分を占め、全人口の内、實に七割七分が農民である。主産物は亞麻纖維22千噸を始め

ライ麦 669千石、燕麥 380千石、小麥、大麥、馬鈴薯 2493千石(以上1934年)があり亞麻産額は世界三位を占む。家畜は1933年牛1.3百萬頭、緬羊1.3百萬頭、豚1.3百萬頭を有し畜産品は重要輸出品である。養鶏も比較的盛んである。

森林地は全土の約一割六分を占め松材に富み用材パルプ材として輸出される。鑛産は貧弱である。工業は食料品工業(バター、罐詰)を始め製材、紡織、金屬加工、製革等がある。

【貿易】 1934年の輸出 147百萬リタス(前年160)、輸入 139百萬リタス(同142)。主要輸出品は燻製鹽藏肉豚脂12、バター15、纖維素15、亞麻纖維11等で輸入は綿布 9、綿絲 8、鐵 7、石炭 7等を主とす。相手國は獨逸 輸出32:輸入39)、英國(63:35)が大部分を占め其他ソ聯邦、チエツコ等。

【金融及通貨】 リトワニア銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はリタス Litas で對日平價比は0.20062圓 現在金本位を維持し且つ爲替管理を行ふ爲め對外相場は安定してゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は1.9千軒(1933年末)。郵便局 150、電信局568(1930年)。

【國防】 陸軍は徴兵制で二十一歳より四十五歳迄服役

義務がある。現役は一年六ヶ月。1934年の常備兵力は19.5千人。空軍は七航空隊で飛行機約八十を有す。

【教育】 1933年度の小學校2557、中等學校11、ギムナジウム55、師範專門學校 9、綜合大學 1等がある。

○メーメル地方 面積2.9千方軒、人口 149千人(1934年)。バルト海に面する舊獨領地。大戰後ヴェルサイユ條約に従ひ一時聯盟が之を管理したが1924年の協約に基き之を自治體とし、且つメーメル港を國際港になすと云ふ條件でリ國に讓られたもので。リ國に取つては海口を求め爲めの垂涎の地であつた。併しナチス擡頭以來同地の回收運動、陰謀等が昂まり東歐に於ける不安の種となつてゐる。

波蘭 (共和國)

RZECZPOSPOLITA POLSKA

【面積及人口】 面積388千方軒、人口 33 024千人(1933年末)。主要都市は首府ワルソー人口 1179 千人、ロツズ 605千人、ルウオウ 316千人、ポスナニ(ポーゼン)247千人、クラコー221千人(1931年*)。移出民多く 1934年 42.5千人、前年35.5千人。

【政治】 往時獨立國だつたが十八世紀末、露墺境の三國に分割され其後1918年舊版圖を回復して獨立、共和制

を布いた。1921年憲法制定。議會は二院制で上院は111名、下院は444名より成り兩院とも男女普通選挙によるが、選挙資格は上院三十歳、下院二十一歳以上とす。大統領は兩院合同で選出し任期は七年。

大統領 モシツキー Ignace Moscicki (1933年5月再選)。

内閣は首相のほか陸軍、外務、大蔵、司法、内務、商工、農務、交通、社會、文部、遞信の各相より成る。

同國は最近獨裁的傾向強く昨年三月には議會は大統領に獨裁權を附與する法律案さへ可決してゐる。

【財政】 1935年度の豫算歳入1984百萬ツロテイ、歳出2133百萬ツロテイ。主要財源は大蔵省收入(租税等)、專賣益金、官業收入等で支出は陸軍省費、國債費、文部宗務費等々が主となつてゐる。

【産業】 歐洲屈指の農業國である。耕地は全土の約四割八分、牧場草地は同一割七分を占め、農民は全人口の六割五分に及んでゐる。産物は次の如くてライ麥、馬鈴薯は共に世界三位、燕麥は同六位、亞麻は同二位、大麻は同五位を占めてゐる。(單位千廳)。

1933年 同34年		1933年 同34年	
小麥	2 174...2 080	馬鈴薯	28 330...33 470
大麥	1 436...1 453	亞麻纖維	26.6...3.08
ライ麥	7 073...6 464	大麻纖維	10.4...10.4
燕麥	2 683...2 551	甜菜	1 852... ..

家畜は1934年6月末現在牛9.2百萬頭、豚7.1百萬頭、綿羊2.5百萬頭、馬3.8百萬頭、鶏約50百萬羽等を有し畜産品の産が多い。森林地は全土の約二割を占め松樅等に富み用材は多量に輸出される。

鑛産には石炭29.2百萬廳を始め鐵鑛247千廳、石油529千廳、亞鉛93千廳(1934年)、加里鹽、天然ガス等があり亞鉛産額は世界四位、石炭は同七位を占む。工業は紡織、製紙、製材、製糖、製鐵、製油等を主とし1934年の甜菜糖産額402千廳で世界七位、鉄鐵382千廳、鋼鐵856千廳。

【貿易】

	1932年	同33年	同34年	
輸出	1 083	960	975	(百萬ツロチ)
輸入	862	827	799	(")

1934年の輸出は用材180、石炭骸炭169、ベーコン47、ライ麥44、大麥35等を主とし、輸入は棉花113、羊毛82、金屬及同製品84、機械類56等。相手國は獨逸(輸出162:輸入108)、英國(192:86)、米國(23:121)、奧地利(57:27)、チェツコ、佛國等を主とす。

【金融及通貨】 波蘭銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はツロテイ Zloty でこの對日平價比は0.22506圓。現在佛國其他と所謂金ブロックを形成し金本位を維持してゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は20.4千軒(1933年末)。自動

車数は1935年初26千臺。航空路は4.2千軒。郵便局4.0千局、電信局4.9千局、無線電信局5。

【国防】陸軍は徴兵制で二十一歳より五十歳迄服役義務がある。現役二年、豫備十八年で後十ヶ年を義勇軍に編入す。常備兵力は1934年266千人、空軍は飛行機約一千を有す。尙政府は一昨年老小婦女子に對す補助軍務令を公布した。海軍は驅逐艦2、潜水艦3、水雷艇5、(1934年)がある。

【教育】初等教育は十六歳迄を義務制とす。1933年度の小學校27.3千校、中等學校783、師範學校198、各種職業學校743、綜合大學6、自由大學2、單科大學12、專門學校4がある。

瑞西 (聯邦共和國)

SCHWEIZ—SUISSE—SVIZZERA

【面積及人口】面積41千方軒、人口4135千人(1933年)。主要都市は首府ベルン人口144千人、チュリツヒ327千人、ジュネーヴ(ゼネヴァ)147千人、バーゼル194千人(1932年)。

【政治】1815年の巴里條約により永久局外中立國となり1.74年の憲法に従ひ聯邦共和制を布く。聯邦は二十二のカントン(獨立自治邦)より成る。議會は二院制で

Ständerat (上院)は44名より成り各カントンより二名宛選出す。Nationalrat (下院)は187名より成り任期四年、二十一歳以上有權の普選による。同國の特徴は法律が一度兩院を通過しても國民の要求次第によつて之を一般投票にかけ再審否を決めうることである。大統領は兩院合同で選出し任期一年とす。尙、各カントンは聯邦法律に抵觸せぬ範圍で独自の自法權を有す。

大統領 ミンガー Rudolf Minger. 内閣 聯邦委員會)は兩院が選出せる七名を以て組織し任期は三年。大統領は首相を兼攝する。

【財政】1934年の歳入453百萬法、歳出480百萬法。主要財源は大藏及關稅省收入377、郵便鐵道省收入9等で支出は國債費105、陸軍省費91、農工省費104等を主とす。

【産業】牧畜國であるが一方精密機械工業等も發達してゐる。農業は農耕作は餘り振はず耕地は全土の約一割で小麥138千噸、馬鈴薯780千噸、葡萄酒78千噸(1934年)等を産するに過ぎず、年々多くの穀類を輸入してゐる。之に反し酪農は盛んで牧場及牧草地は全土の約四割に及び家畜は1934年4月牛1.7百萬頭、豚1.0百萬頭等を有しバター、チーズ、煉粉乳類の産多く、之等は相當輸出される、森林地は全土の約二割を占むるが多くが保安林で

ある。

工業は世界的に有名な時計製造を始め機械、紡織、刺繡、化学工業、食料品工業(バター、チーズ、煉乳等)を主とす。時計類は産額の約九割が輸出され1933年の輸出11.9百萬個、前年9.2百萬個。鑛産に岩鹽、滿俺、鐵鑛等が僅少ある。

【貿易】

	1932年	同33年	同34年
輸出	801	852	844(百萬法)
輸入	1762	1594	1435()

1934年の主要輸出品は時計類109、綿製品105、機械93、絹製品92、染料66等で輸入は穀類115、鑛物117、鐵製品96、綿製品82、羊毛製品7等主とす。相手國は獨逸 輸出182:輸入389)、佛國(121:230)、伊太利(76:116)英國(83:91)等を主とす。

【金融及通貨】 國立銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位は金法でこの對日平價比は0.38710圓。現在佛國等と所謂金ブロックを形成し金本位制を維持し對外相場の安定に努めてゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は約5.1千軒。自動車數は1935年初88千臺。航空路約4.7千軒(1934年夏)。郵便局 4.0千局、電信局3.6千局(1933年)。

【國防】 陸軍は民兵制で二十歳より四十八歳迄服役義務がある。最初十二ヶ年を現役に、豫備後備に各八年服す。現役は最初の年に約九十日(兵科で多少差異あり)の教育を受くるが、昨年二月陸軍改革案が採用され教育日數は延長された、常備兵力は約46千人。空軍は一昨年の増加案に従ひ飛行機約二百を有す筈。

【教育】 初等教育は義務制だが州により年限を異にす1932年度の小學校4363 中等學校(上下級に分る)663、大學は1933年度 7校。此の外、農工商等の學校が多數ある。

リーヒテンstein (公國)

LIECHTENSTEIN

瑞西及奧地利兩國に介在する面積157方軒、人口12千人(1933年)の小國。首府フアツツ人口1.7千人。1566年形式上獨立したが事實は奧地利の屬國として存立し、完全に獨立したのは1918年。1921年憲法を制定し、一院制の議會を組織し、議員15名(任期四年)が普通選舉で選出されることになつた。

元首フランシス一世公 Francis I. 1935年の豫算歳入歳出各約1.4百萬法。貨幣單位は瑞西法を採用し、1924年以降同國と關稅同盟を結んでゐる。人口の大部分が農業に従ひ、主産物は穀類、葡萄酒、果實、木材、大理石等で牧牛は相當盛である。綿紡織、製革、製陶等の工業が

行はる。

奥地利 (聯邦國)

BUNDESSTAAT ÖSTERREICH

【面積及人口】 面積34千方料、人口6759千人(1934年3月*)。主要都市は首府ウイーン人口1874千人、グラーツ153千人、リンツ109千人、インスブルック61千人(1934年3月*)

【政治】 1918年奥匈國崩壊によつて獨立共和國を樹立翌年憲法を制定す。其後1934年新憲法を發布しファシツスト的獨裁を濃厚にした。即ち新法によれば奥地利は州を基とする職能代表的の聯邦國 (Bundesstaat) たること、法律の發案權は内閣が之を有し諮問機關として國政院、學藝院、經濟院、州院を置き、之を基礎に聯邦議會を設け法案の最終的決定機關(但し形式的)とし、大統領は市町村長會議によつて選出すること等が規定されてある。「國勢院」は大統領任命の有識者四十乃至五十名、「學藝院」は宗教及教育關係代表者三十乃至四十名「經濟院」は七職能組合の代表者七十乃至八十名、「州院」は首府及八州よりの代表者二名宛等より成り、聯邦議會は國政院より二十名、學藝院より十名、經濟院より二十名、州院より九名、計五十九名を以て構成する。

大統領 ミクラス Wilhelm Miklas (1931年10月再選)
内閣は首相以下副宰相、大藏、商務、國防、社會、内務司法、農村、外務、保安の各相より成る。

【財政】 1935年の豫算 881百萬志、歳出1994百萬志。主要財源は直接税、取引税、關稅、專賣益金等で支出は國債費、年金、社會副利費等を主とす。

【産業】 農業を主とす。耕地は全土の約二割三分を占め産物にライ麥 607千穂、燕麥 500千穂、小麥 360千穂大麥 295千穂、馬鈴薯 2795千穂 (1934年) 等があるが國民の食料に足らず穀類を多量に輸入してゐる。家畜は1930年調て牛1.5百萬頭、牡犢 767千頭。森林面積は全土の約三割七分を占め用材に富む。

鑛産は褐炭を始め石炭、鐵鑛、銅、鉛、亞鉛等があり褐炭産額は1934年2855千穂で世界五位、鐵鑛は 464千穂、工業は紡織工業が最も盛んで其他自動車機械製造、製糖家具製造、製革等が行はる。1934年甜菜糖産額 199千穂

【貿易】

	1932年	同33年	同34年
輸出	786	815	863 (百萬志)
輸入	1 400	1 191	1 154 ()

1934年の主要輸出品は木材及同製品94、鐵製品89、紙類87機械及器具55等で輸入は穀類 120、石炭泥炭 106、豚59棉花及綿布53、羊毛及同製品52等を主とす。相手國は獨

逸(輸出143:輸入205)、チェツコ(67:160)、洪牙利100:130)、ユーゴ國(53:98)、伊國等を主とす。

【金融及通貨】 國立銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位は志 Schilling で、この對日平價比は0.28229圓、現在金本位制は停止され爲替管理が行はれるが志の對外相場は低落してゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は6.7千軒(1933年)。自動車數は1935年初39千臺。航空路は2.8千軒(1934年)。郵便局約2.8千局、電信局3.7千局。

【國防】 サン・ジェルマン條約によつて徴兵制は禁止され且つ兵力も三萬を超えぬこと、空軍の編成、航空機の製造輸出入等も禁止されてゐるが、昨年四月同國は列國に對し上記禁止條項の廢棄を決し徴兵制を施行する旨を通告し、且つ六月には私設軍事團體を統一糾合し國防義勇軍を組織すべき布告を發した。常備兵力は1934年約21千人。海軍はない。

【教育】 初等教育は六歳より十四歳迄を義務制とするが十二歳以上は或程度迄は自由とす。1933年度の小學校5335、各種中等學校169、綜合大學3、商科大學8、師範學校36等のほか、工業、神學等の學校がある。

洪牙利 (王國)

MÁGYARORSZÁG

【面積及人口】 面積93千方軒、人口8837千人(1933年) 主要都市は首府ブダペスト人口1027千人、ゼゲチン(ゼゲド)137千人、デブレツセン121千人(1933年)。

【政治】 1918年の革命によつて舊奧洪國より分離獨立し翌年にはソヴェート政權の樹立さへ見たが結局1920年攝政統治による王政の復活が行はれた。議會は二院制で上院は244名より成り六選舉團體によつて選舉さる。下院は245名より成り普選によるが選舉權は男子二十四歳以上女子三十歳以上にある。

攝政 ホルテイ Nicholas Horthy de Nagybanya (1920年就任)

内閣は首相以下八相を以て組織す。

【財政】 1934年度豫算歳入1084百萬ペンゲ、歳入1151百萬ペンゲ。主要財源は大藏省收入681、鐵道省收入211 遞信事業收入93等で支出は鐵道省費200、年金150、内務省費126、國防省費87等を主とす。

【産業】 農業國で耕地は全土の約六割を占め且つ地味肥沃。産物に小麥1679千廳、大麥452千廳、ライ麥536千廳、燕麥218千廳、玉蜀黍169千廳、馬鈴薯2421千廳

甜菜 947千噸(1934年)等があり、家畜は牛 1.7 百萬頭、豚2.5百萬頭、綿羊1.0百萬頭(1934年)がある。葡萄酒も産し1934年 2.5 百萬頭。河川湖沼等に於ける水産も相當豊富である。

礦産には褐炭(1934年6199千噸)、石炭、ポーキサイト等があり褐炭は世界三位、ポーキサイトは埋藏量世界最大と云はれるが193 年の産額7千噸で世界五位。工業は農産品製造即ち製粉、醸造、製糖、製麻等を中心とし其他製鐵工業等が行はる。1934年の甜菜糖産額 108千噸、

【貿易】 1934年の輸出 405百萬ペンゲ(前年391)、輸入 345百萬ペンゲ(同313)。主要輸出品は小麦54、木材及同製品38、乳肉品40、電氣機械器具34等で輸入は肉類54、小麦44、家禽及鳥肉27、木材及同製品27等を主とす。相手國は埃地利(輸出96 : 輸入82)、獨逸(89 : 63)、伊國 33 : 41)、ルーマニア、英國、チェツコ等。

【金融及通貨】 洪牙利國立銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はペンゲ Pengö で、この對日平價比は0.35088圓、現在金本位は停止されてゐるが爲替管理によつて對外相場の低落を阻止してゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は8,7千軒(1932年度)。自動車數15千臺(1935年初)。航空路約0.9千軒(1934年)。郵便局約2 4千局、電信局約1.4千局。

【國防】 トリアノン條約によつて徵兵制は禁じられ、且つ兵力は三萬五千以下とされてゐるので、志願制による服役十二年が行はる、常備軍は1934年約35千人だがこのほか最低六年の服役義務ある憲兵、警官、税關監視員、河川監視員合計三萬二千の保持を認められてゐる。空軍及海軍はない。

【教育】 初等教育は義務制で六歳より十二歳迄小學校に、其後三年補習學校に學ぶ。1932年度の小學校6875、普通補習學校4631、實業補習學校1037。中等諸學校 121、女學校44。大學 4。このほか、農工商等の學校、師範學等校がある。

チェツコスロヴァキア (共和國)

CESKOSLOVENSKA REPUBLIKA

【面積及人口】 面積 140千人、15020千人(1933年)。主要都市は首府ブラグ人口 848千人、ブルノ 264千人、オストラワ 125千人、プラテイスラワ 124千人、ブルゼン 114千人(1930年*)。

【政治】 1919年舊埃洪國分裂と共に版圖内のボヘミアモラヴィア、シレジア、スロヴァキア、カルパチヤが獨立糾合し現在のチェツコ國を形成、1920年憲法を制定し共和制を布く。議會は二院制で上院は 150名より成り任

期八年、下院は300名より成り任期六年。選挙権は上院は二十六歳以上、下院は30歳以上二十歳以上の男女にある。大統領は兩院合同て選出し任期七年とす。

大統領 マサリツク Thomas Garrigue Masaryk (1927年再選)。

内閣は首相のほか外務、国防、大蔵、内務、保健、鐵道、社會、文部、農務、司法、遞信、商務、法制の各相より成る。

【財政】 1935年の豫算歳入7985コルナ、歳出7983百萬コルナ、主要財源(前年)は大蔵省収入6998で支出(同)は大蔵省費1996、國防費1227、文部省費925、年金890等を主とす。

【産業】 資源豊富で農業は集約化著しく進み農産物も相當輸出される。耕地は全土の約四割を占め、人口の約四割が農民である。産物は麥類を始め次の如くてライ麥は世界四位、馬鈴薯は同六位にある(單位千廳)。

1933年		同34年		1933年		同34年	
小麥	1 984	1 361	燕麥	1 577	1 179		
大麥	1 351	1 879	馬鈴薯	8 202	9 573		
ライ麥	2 086	1 523	甜菜	2 913	...		

このほか、玉蜀黍、ポップ、果實等の産がある。家畜は1934年初に牛4.4百萬頭、豚3.4百萬頭、馬701千頭、緬羊476千頭を有す。

森林にも富みその面積は全土の約三割三分に當る。鑛産は石炭類を第一に鐵鑛、黒鉛、銀、鉛、岩鹽等があり1934年の石炭産額10.8百萬廳、褐炭15.3百萬廳(世界二位)。工業は紡織、硝子製造、製糖、醸造、製鐵、機械製造等を主とし1934年甜菜糖産額557千廳で世界六位、鐵は銑600千廳、鋼361千廳。

	1932年	同33年	同34年
輸出	7 392	5 922	7 296 (百萬コルナ)
輸入	8 158	6 125	6 406 ()

1934年の主要輸出品は鐵製品699、硝子類597、綿絲及綿布375、毛絲及毛織物418等で輸入は羊毛602、棉花570、絹及絹製品282、機械類229等。相手國は獨逸(輸出1564:輸入1244)、奧地利(770:325)、米國(494:355)英國(461:332)等を主とす。

【金融及通貨】 國立銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はコルナ Koruna 亦はクラウンだが1929年と1934年の二回に涉り平價切下げを行つた。この對日新平價比は0.04953圓、現在金本位は停止されてゐるが爲替管理によつて對外相場の変動を防いでゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は13.9千軒(1932年)。自動車數は1935年初112千臺。航空路3.1千軒(1934年)。郵便局4.6千局、電信局4.0千局。

【國防】 陸軍は徴兵制で十七歳より六十歳迄服役義務

がある。現役は二年、其後四十歳迄第一豫備、五十歳迄を第二豫備とす。同國の特徴は入營期を年二回とすることと常備兵力も従つて多少の差異を見る。1934年平均兵力 122千人。空軍は飛行機 546 を有す。河岸警戒に警備船 1、武装モータ船 22 がある。

【教育】 初等教育は六歳より十四歳迄義務制とす。小學校は1933年15.2千校、中等教育はギムナチウム及リアル・ギムナチウム 349、商業學校 201、大學は 4、高等工業學校 4 のほか農、商、鑛の専門學校がある。

ユーゴスラヴィア (南スラヴィア) (王國)

KRALJEVINA YUGOSLAVIA

【面積及人口】 面積249千方料、人口14514千人 (1933年)。主要都市は首府ベルグラード人口239千人、ザクレツプ136千人、サボチカ100千人、サライエボ78千人 (1931年*)。

【政治】 1918年舊奥匈國崩壊と共に國內のスロヴェニア、クロアチア、ダルマチア、ボスニアが獨立し近隣のセルビア及モンテネグロと合同しセルブ・クロアト・スロヴェーナと稱する一國を形成したが其後1929年之をユーゴスラヴィア國と改稱した。議會は1931年の憲法に

従ひ二院制とし上院は 120 名より成り任期六年、下院は 305 名より成り任期四年、選舉團體が之を選出し選舉權は二十一歳以上の男子にある。

國王 ピーター二世 Petar II (1934年即位)。内閣は首相以下十三相を以て組織す。

【財政】 1934年度の豫算歳入出各 10171百萬チナール。主要財源(前年)は官業収入3448、間接税2880、直接税1808等で支出は陸海軍省費 2000、年金 916、文部省費 786等を主とす。

【産業】 農牧を主とし耕地は全土の約三割、牧場及草地は同約二割五分を占む。産物は小麥、大麻を始め大麥、燕麥、ライ麥、玉蜀黍、煙草、葡萄酒等があり1934年の小麥産額 1860 千廳、玉蜀黍 5154 千廳、大麻纖維38千廳 (世界二位)、葡萄酒3.9百萬頭、養蠶も行はれる。家畜は牛3.9百萬頭、豚2.7百萬頭、緬羊8.6百萬頭等を有す (1934年初)。森林地は全土の約三割一分を占め樺、ブナ等に富み用材は重要輸出品である。

鑛産は比較的豊富で石炭類、銅、鐵、金、クロム鑛、ボーキサイト等があり、1934年の褐炭 3926 千廳で世界四位、クロム鑛の47千廳、ボーキサイトの86千廳は何れも同五位、銅鑛662千廳同六位。工業は製粉を始め醸造、綿紡織、絨氈製造、製陶、製革、製鐵、製紙等がある。

【貿易】 1934年の輸出3878百萬チナール(前年3378)、輸入3573百萬チナール(同2883)。主要輸出品は木材及同製品838、玉蜀黍562、家畜類351、粗銅346で、輸入は綿織物811、毛織物313、鐵製品294、機械器具類16 應を主とす。相手國は伊太利(輸出798:輸入555)、奧地利(634 442)獨逸(598:497)、チエツコ(437:418)等を主とす。

【金融及通貨】 ユーゴスラヴィア國立銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はチナール Dinar で 1931年一度平價切下げが行はれてゐる。この對日平價比は0.03533圓。現在金本位制が停止され爲替管理によつて對外相場の變動を安定せんとしてゐるが相場は低落を見てゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は9.3千料(1932年)。自動車數は11千臺(1933年)。航空路は1.3千料(1934年)。郵便局約4.0千局、電信局1.9千局。

【國防】 陸軍は徴兵制で二十一歳より四十五歳迄服役義務がある。現役は十年で在營十八ヶ月、豫備八年、後備七年とす。1933年度の常備兵力は108千人。空軍は飛行機568を有す。海軍は巡洋艦2、水雷艇3、潜水艦4、水上飛行機59。

【教育】 初等教育は小學校及補習學校を通じ八ヶ年を義務制とするが上級學校へ進む者は補習學校を免ず。1933年度の小學校8619。中等學校は163、大學は3。この

ほかに職業及工業學校 531、中等職業學校、農業學校等がある。

○サロニカ自由地帯はギリシアの項参照。

ルーマニア (王國)

ROMÂNIA

【面積及人口】 面積29.5千方料、人口18792千人(1934年初)。主要都市は首府ブカレスト人口631千人、キシネブ117千人、チエルノウイツチ 111千人、ヤツシ103千人(1930年*)。

【政治】 1877年トルコより獨立し其後舊露領のベサラビア、奧洪領のブコヴィナ及トランシルバニアを併合し現在の王國となつた。1923年の憲法に従ひ議會を二院制とし上院は231名より成り任期四年、下院は387名より成る。二十一歳以上の納稅者を有權者とす。

國王 カロル二世 Carol II (1925年即位)。内閣は首相のほか十一相を以て成る。

【財政】 1935年の豫算歳入20451百萬レイ、歳出 21252百萬レイ。主要財源(前年)は直接稅1051、間接稅 8333、專賣益金4068等で支出は大蔵省費6841、陸軍省費5294、文部省費4090等とす。

【産業】 農業國だが寧ろ石油產出國として重要な地位

を占めてゐる。農業耕地は全土の約四割三分を占め穀類多く1934年の小麥産額2083千噸、大麥871千噸、燕麥563千噸、玉蜀黍は4846千噸で世界五位。家畜は比較的多く1932年現在牛4,2百萬頭、豚3.0百萬頭、綿羊12.3千頭、馬4.2百萬頭を有し羊毛産額は1933年25千噸(世界十位)。森林地は全土の約二割五分を占め用材は多く輸出される。鑛産は原油を始め天然ガス、褐炭、鐵鑛、銅鑛、岩鹽等があり1934年の原油産額8467千噸、前年7387千噸で世界四位を占む。工業は製粉、製糖、醸造等を主とし1934年の葡萄酒産額8.7百萬頭で世界五位。

【貿易】 1934年の輸出13613百萬レイ(前年14171)、輸入13096(同11742)。主要輸出品は原油及同製品7215、穀類及穀粉2379、木材及加工品1464で、輸入は織物3694、鐵及鐵製品1954、機械器具1385等を主とす。相手國は獨逸(輸出2257:輸入2031)、英國(1367:2116)、佛國(1322:1464)、奧地利(1222:1312)等を主とす。

【金融及通貨】 ルーマニア國立銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はレイ Leu(複數 Lei)で1929年一度平價切下げを行つてゐる。この對日平價比は0.01200圓。現在金本位は停止され爲替管理によつて對外相場の安定を計つてゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は11千軒(1933年)。自動車數

は33千臺(1935年初)。巴里、ブカレスト、トルコ間に定期航空路がある。郵便局6.4千局、電信局4.4千局。

【國防】 陸軍は徵兵制で二十一歳より五十歳迄服役義務がある。現役二年、豫備十八年とし其後九ケ年を民兵に編入す。常備兵力は1934年約141千人。空軍は13千人飛行機800を有す。海軍は驅逐艦4、砲艦4、潜水艦1、水雷艇3。

【教育】 初等教育は義務制とす。1931年度の小學校は14.6千校。中等學校は754、高等專門學校22、綜合大學4、商科大學2、農科大學2校がある。

ブルガリヤ(帝國)

BLGARIYA

【面積及人口】 面積103千方軒、人口6090千人(1934年末*)。主要都市は首府ソフィア人口287千人、フィリポポリス(プロウヂフ)100千人、ヴァルナ70千人、ルスチユク49千人(1934年末*)。

【政治】 1896年トルコより獨立を宣し1909年列國によつて承認さる。議會は一院制で227名より成り任期四年男子普通選舉による。このほか、領土變更、憲法改正、王位問題等の重要事項を決する「大議會」と稱する機關があり、員數は議會の二倍を有す。

帝王 ボリス三世 Boris III (1918年即位)。内閣は首相以下八相を以て組織す。

【財政】 1934年度の豫算歳入出各 5330百萬レヴァ。主要財源は間接税2172、直接税470等で支出は大蔵省2061、陸軍省費 927、文部省費 741、國民經濟省費523等を主とす。

【産業】 農業國で人口の約八割が農民にして耕地は全土の約三割六分を占む。産物は麥類を始め玉蜀黍、棉花、煙草、甜菜、果實のほかに繭もあり、煙草は重要輸出品である。1934年の小麥産額1132千噸、玉蜀黍820千噸、煙草15千噸で葡萄酒は3.1百萬頭、家畜は 1926年調で牛1.8百萬頭、豚1.0百萬頭、緬羊8.7百萬頭、家禽 10.1百萬羽を有した。

鑛産は褐炭 1934年1561千噸を主とし其他に鉛、輕銀等がある。工業は食料品、煙草、皮革製造等が行はれるが概して發展によく政府はその發達の爲め種々獎勵を行つてゐる。

【貿易】 1934年の輸出 2535百萬レヴァ(前年2846)、輸入2229百萬レヴァ(同2202)。輸出は煙草 1024、鳥卵341、玉蜀黍181、小麥 52を主とし輸入は織物757、金屬386、機械230、鑛油107。相手國は獨逸(輸出1083:輸入902)伊太利 233:176)、瑞西(122:132)、白耳義(89:167)、

莫地利等を主とす。

【金融及通貨】 ブルガリヤ銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位はレヴァ Leva でこの對日平價比は0.01449圓。現在金本位制を停止し爲替管理によつて對外相場の安定を計つてゐる。

【交通及通信】 鐵道延長は3.0千軒(1933年)。郵便局は583、電信局576(1932年)。

【國防】 1919年のヌイリ條約によつて徵兵制は禁止され兵力は二萬を超えぬこと、空軍の編成、戰艦及潜水艦の建造等が禁止されてゐる。常備兵力は1934年度21千人海軍は僅かに水雷艇4發動機船(があるのみ)。

【教育】 初等教育は七歳より十四歳までを義務制とす。小學校は1932年度5609。中等教育は豫備ギムナヂウム1945、ギムナヂウム105、各種職業學校322、綜合大學1、自由大學1、商科大學1等がある。

○カヴァナ廻廊はギリシアの項参照。

アルバニア (王國)

SHQIPERIA

【面積及人口】 面積28千方軒、人口1050千人(1933年)。首府チラナ人口31千人、スクタリ29千人(1930年*)。

【政治及財政】 1912年トルコより獨立を宣したが内亂

外冠續出し1917年伊國の後援によつて漸く獨立を確保した。其後1925年より1928年迄共和制を布いたが同年之を王制に革め大統領が王位に就いた。議會は一院制で議員は人口一萬五千人に付一名の割合で選出す。

國王 ツオゲー世 Zog I (1928年即位)。内閣は七相より成る。1934年度の豫算歳入18.5百萬金法、歳出 18.9 百萬金法。

【産業】 農牧を主とするが山地に阻まれ耕地甚だ少く農耕法も極めて原始的である。産物は煙草 (1934年 1.1千吨) を始め羊毛、毛皮、オリーブ油、乳肉製品。森林に富み、用材を出す。礦物埋藏は比較的豊富と云ふが殆ど開發されない。工業は製粉、オリーブ油製造、チーズ製造等の畜産品製造が主で而も多くが手工業の域を脱してゐない。

【貿易】 1933年の輸出5.7百萬金法(前年4.5)、輸入15.9百萬金法(同22.8)。輸出はオリーブ2.0、チーズ0.7、獸皮0.7等を主とし輸入は棉花及綿布3.9、砂糖0.7、石油1.5、珈琲0.5等が主。相手國は伊太利 輸出4.6 : 輸入6.7)が最も多く、其他米國、英國、南スラヴィア、チエツコ等。

【金融及通貨】 羅馬に本店を置くアルバニア銀行が紙幣發行權を有す。貨幣單位は瑞西と同じ金法で、この對日平價比は 0.38710圓。現在金本位を維持してゐる。

【交通及通信】 鐵道延長12千軒でこの他チラナーツラツオ間を敷設中、郵便電信局55、無電局3。航空路は0.6千軒がある。

【國防】 陸軍は徵兵制で十九歳より五十歳迄服役義務がある。現役在營は十八ヶ月。常備兵力は1934年約14千人。海軍は巡邏船2、沿岸警備船4等があるに過ぎぬ。

【教育】 初等教育は六等より十三等迄を義務制とす。小學校505、中等學校14、高等學校4、師範學校 3 等がある。

ギリシア (共和國)

HEILÂS

【面積及人口】 面積 30千軒、人口6620千人 (1933年)。主要都市は首府アテネ人口453千人、サロニカ237千人、ピレウス251千人(1928年)。移出民は比較的多く 1932年 19.7千人。

【政治】 1829年トルコより獨立し大戰後はその一部さへ獲得したが結局奪還された。其後1924年の革命によつて帝政より共和制に移り1927年には新憲法を制定し議會を二院とし上院は120名、下院は250名より成ることを定めたが昨年三月の内亂の結果は憲法に大改正が行はれ上院は廢止されることゝなつた。